

取扱説明書

ご使用のまえによくお読みください。

HONDA
本田技研工業株式会社
東京都港区南青山2-1-1

HONDA 

CR-X
del Sol

CR-X
del Sol

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、ホンダ
ベルノ店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SR2621
00X30-SR2-6210

© (C) 2009505S


HONDA

このたびはホンダ車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この本は、**CR-X del Sol** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。

安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前にかならずお読みください。

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明し、
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

●「安全ドライブのための必読6ポイント」は重要ですので、しっかりお読みください。

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。

これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

●その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

🚗 アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています)

📖 知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

- 運転はルールを守り、マナーよく。
 - ・シートベルトを着用しましょう。
 - ・法定速度を守りましょう。
 - ・子供やお年寄りをいたわりましょう。
 - ・駐停車は、ルールに従いましょう。
 - ・迷惑運転はやめましょう。
 - ・自然環境保護に気をくばりましょう。
- 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。
- 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。
- お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。
- ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

CONTENTS

◆ 安全ドライブのための必読6ポイント

◆ ルーフの取り扱い

1. 車を運転する前に

2. 車を運転するときに

3. 安全装備

4. ドライブを快適にする装備

5. 万一のとき

6. 車の手入れ

7. 車との上手なつきあいかた

- サービスデータ

- さくいん

1. お出かけまえに 10	2. お子さまに思いやりを 13	3. 正しい知識で最適運転 14	9
4. オートマチック車の注意ポイント 18	5. 駐車や停車はしっかりと 22	6. こんなことにも注意をしよう 24	
●トランストップ(電動オープンルーフ) 29			29
●マニュアルルーフ(手動オープンルーフ) 45			
●各部の開閉 54	●各部の調節 64	●シートベルト 67	53
●メーター 72	●表示灯 74		71
●警告灯 76	●スイッチの使いかた 81		
●エンジンのかけかた 87	●運転のしかた 89		
●SRSエアバッグシステム 102	●トラクションコントロールシステム(TCS) 105		101
●アンチロックブレーキシステム(ABS) 107	●ビスカスリミテッドスリップデフ(ビスカスLSD) 109		
●その他の安全装備 109			
●ヒーター・エアコン 112	●オーディオ 126	●室内装備品 129	111
●工具・スペアタイヤ・発炎筒 136	●故障したとき 138	●事故が起きたとき 140	135
●けん引 141	●バンクしたとき 143	●警告灯が点灯したとき 150	
●オーバーヒートしたとき 152	●電気系統が異常のとき 153	●こんなことでお困りのとき 160	
●点検・整備について 164	●お車を美しく保つために 165	●外装の手入れ 166	163
●内装の手入れ 171	●車にあった部品の使用 172		
●積雪・寒冷時の取り扱い 174			173
●こんなときは 181			
			184
			190

ビジュアル目次

トランストップ開閉スイッチ **トランストップ装備車** 30
アクセサリライトスイッチ **マニュアルルーフ装備車** 84

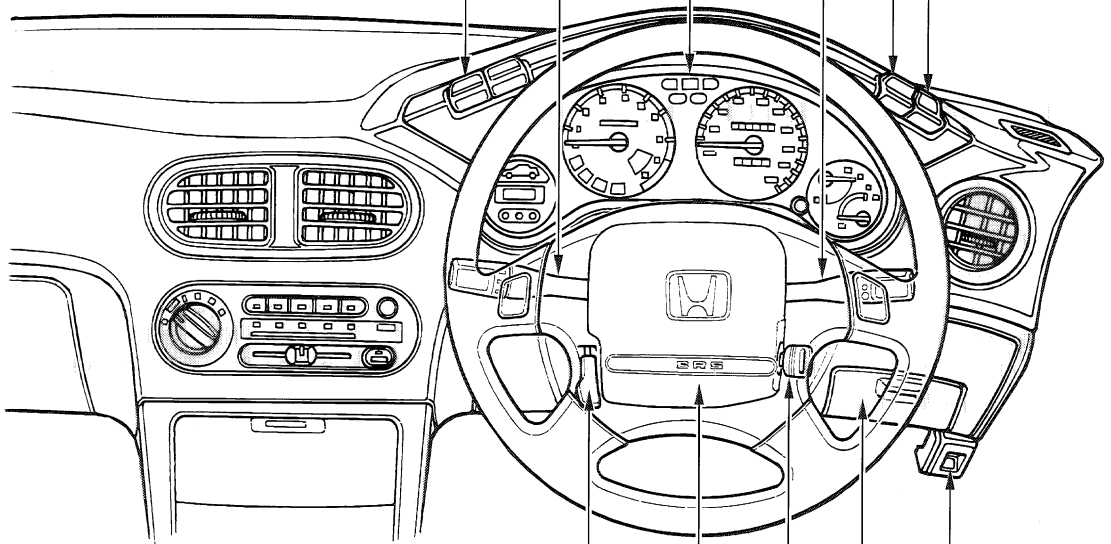
トラクションコントロールシステム(TCS)スイッチ **タイプ別注文装備** 106

ライト/方向指示器スイッチ 82、83

メーター 72
表示灯 74
警告灯 76

ワイパー/ウォッシャースイッチ 85

非常点滅表示灯スイッチ 84



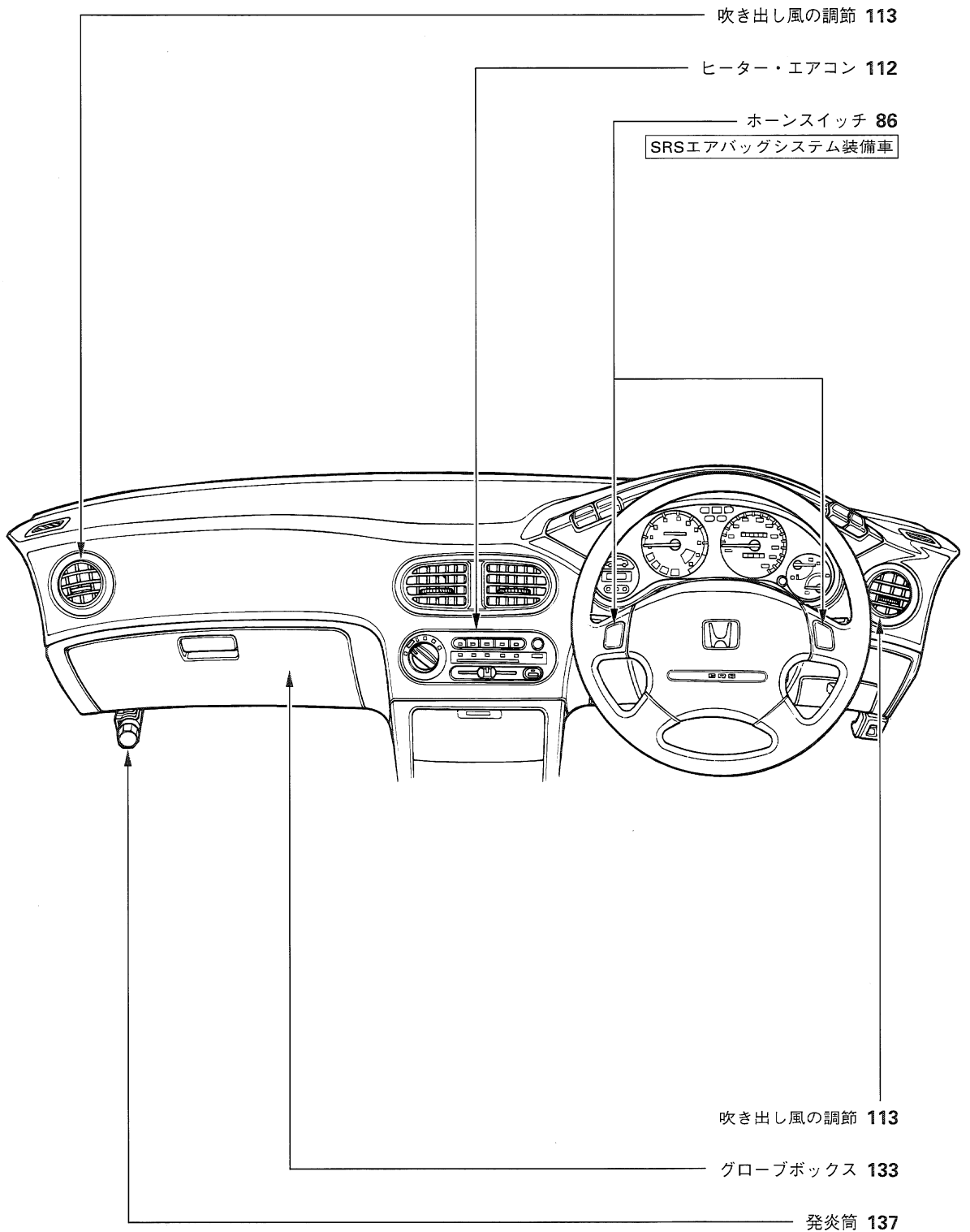
チルトステアリング 65

SRSエアバッグシステム **注文装備** 102

エンジンスイッチ 81

ヒューズボックス 154

ボンネット解除ノブ 56



ビジュアル目次

室内灯 130

ルーフの取り扱い

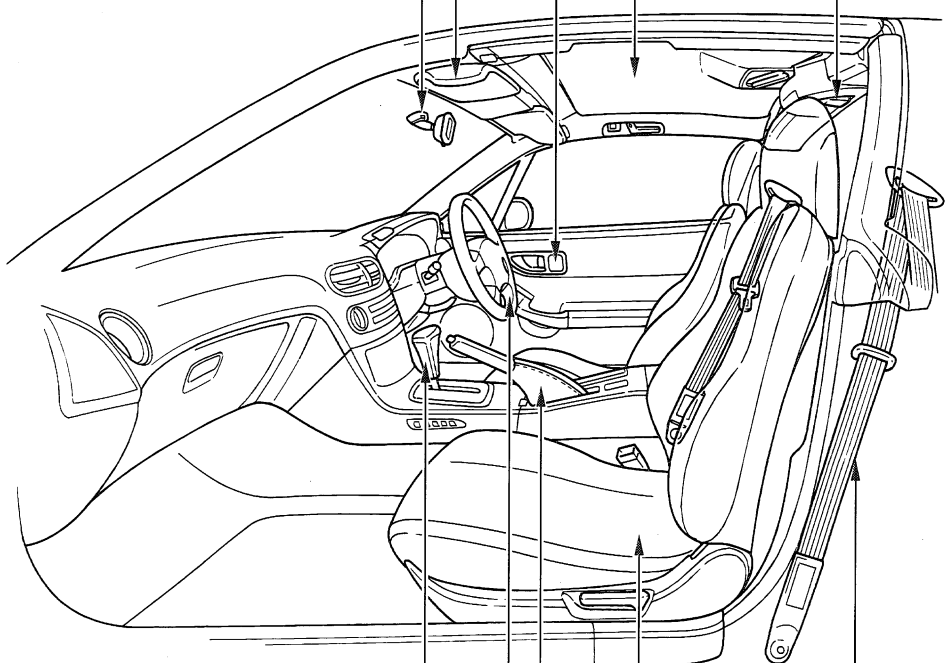
トランストップ(電動オープンルーフ) 29

マニュアルルーフ(手動オープンルーフ) 45

スポットライト 130

サンバイザー 132

ルームミラー 66



セレクトレバー オートマチック車 91

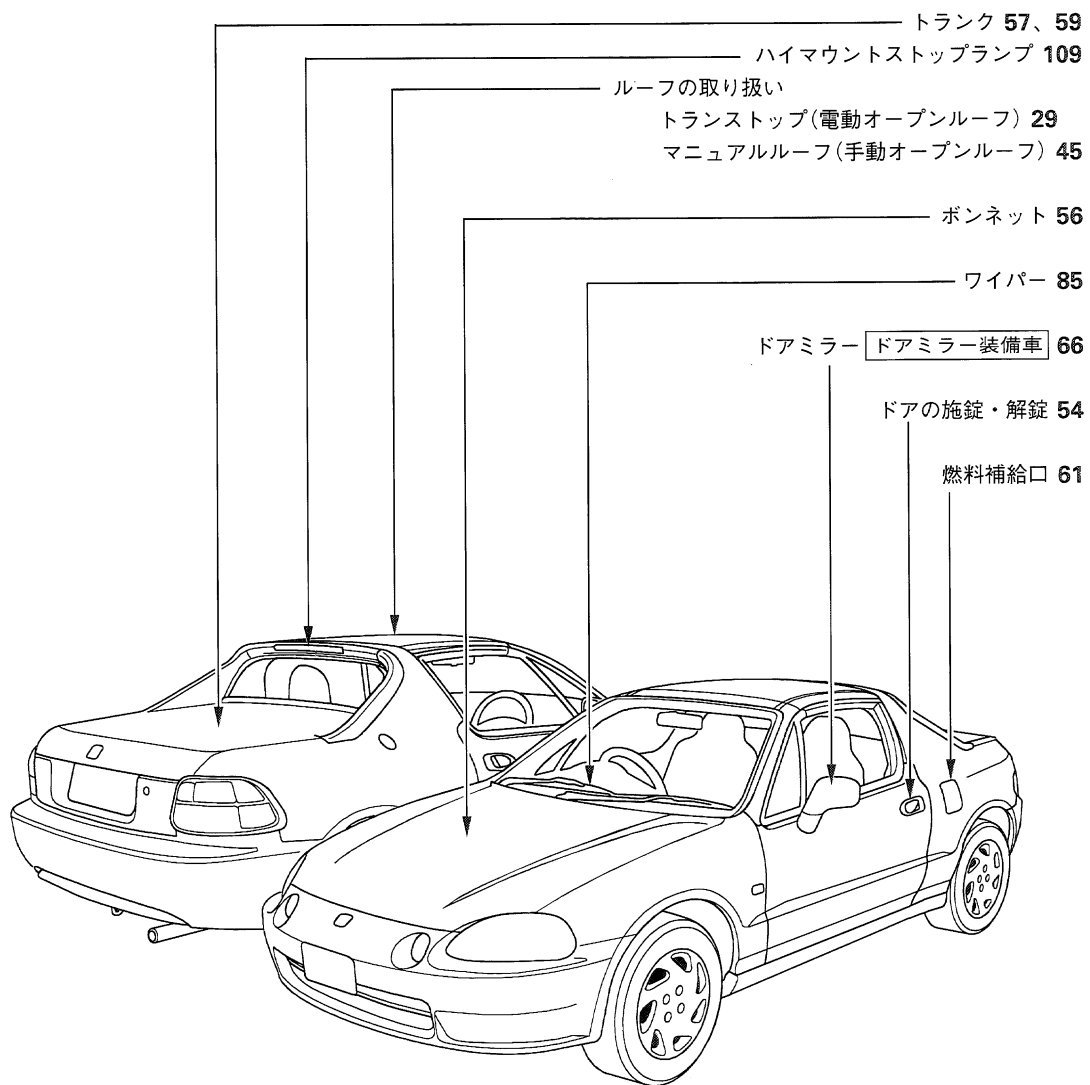
チェンジレバー マニュアル車 89

パワーウィンドースイッチ 62

駐車ブレーキ 87

シート 64

シートベルト 67



安全ドライブのための必読 6 ポイント

POINTS

ご使用の前に特に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。

お出かけまえに	10
お子さまに思いやりを	13
正しい知識で最適運転	14
オートマチック車の注意ポイント	18
駐車や停車はしっかりと	22
こんなことにも注意をしよう	24

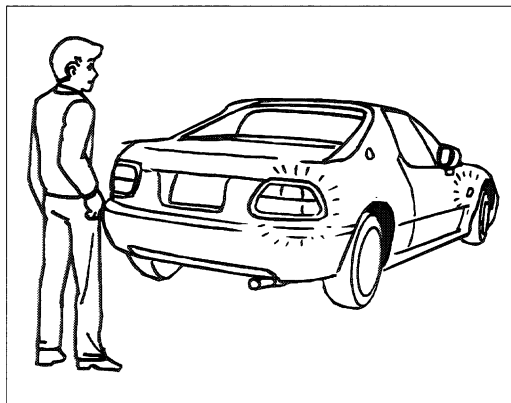
6

お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。

〈メンテナンスノート参照〉

- 安全・快適にお使いいただくために、ホンダの点検要領に従って必ず点検しましょう。
- 普段と違う点に気付いたら、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・)



- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<67ページ参照>

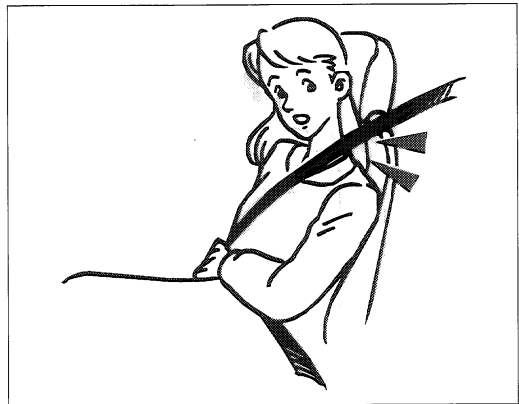
- 運転する人はもちろん、同乗する人にも着用させましょう。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



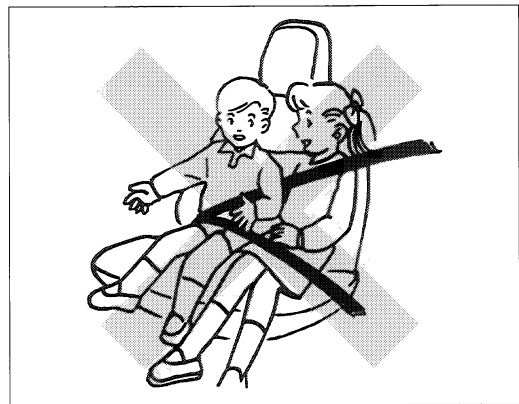
- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



安全ドライブのための必読 6 ポイント

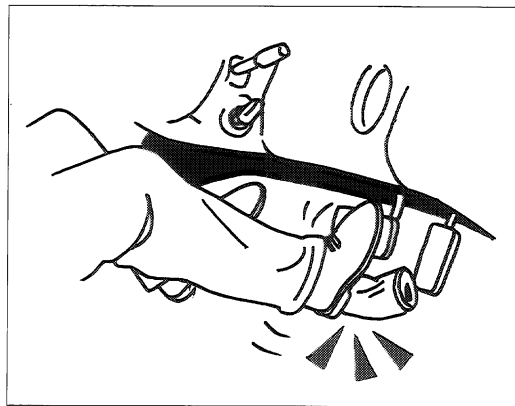
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

・引火、爆発のおそれがあります。



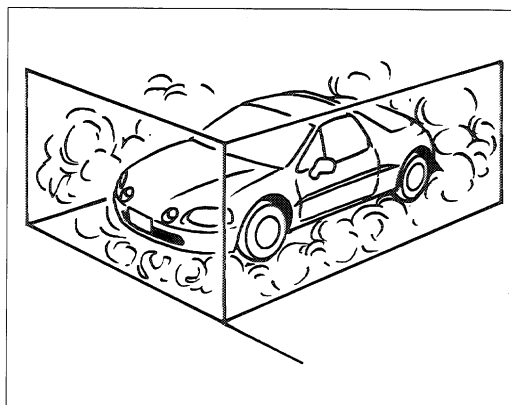
運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
 - ・ ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
 - ・ 車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気付いたらホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・ 排気管の腐食による穴や損傷による亀裂があると車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。



お子さまに 思いやりを

ドア、ウィンドー、ルーフ、シート
の操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。

〈62ページ参照〉

- 走行中、一時停止のときなど、窓やルーフから手や頭、物などを出さないよう、注意してください。
- ・思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

車から離れるときは、お子さまも
一緒に連れて。

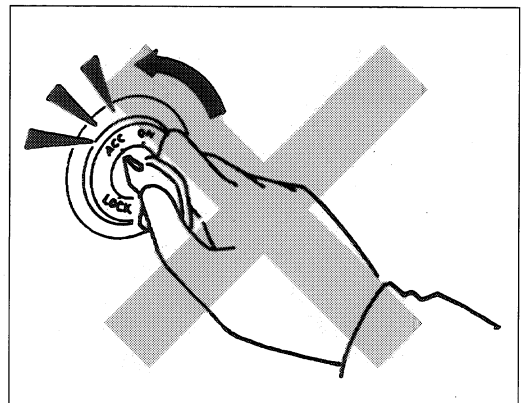
- お子さまだけを車内に残さないでください。
- ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
- ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。
- お子さまの首やあごにシートベルトがあたる場合や、腰骨にかからない場合はチャイルドシートなどを使用してください。シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

正しい知識で 最適運転

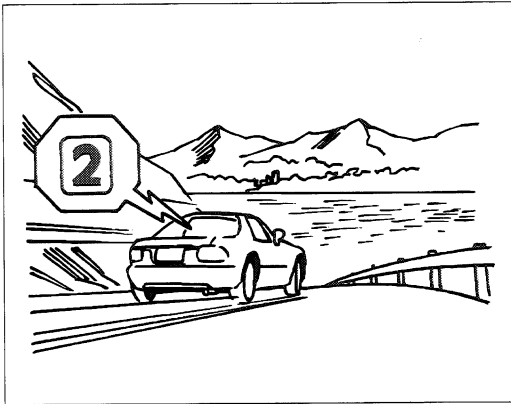
- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。
 - ・ ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“LOCK”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂では*エンジブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなる場合があります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジブレーキを併用してください。
オートマチック車は④または②を使ってください。特に強いブレーキ力が必要なときは、①を使ってください。

* エンジブレーキとは、走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力で、低速ギヤほどよくききます。

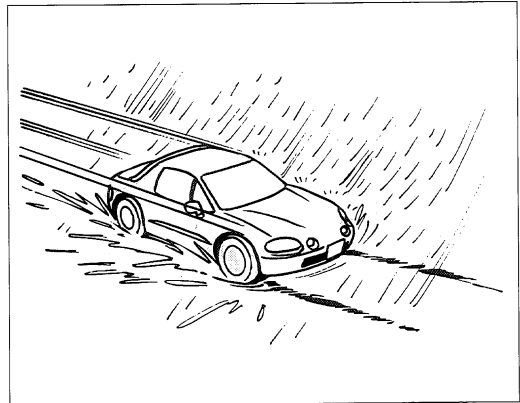


雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。
 - ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。
- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

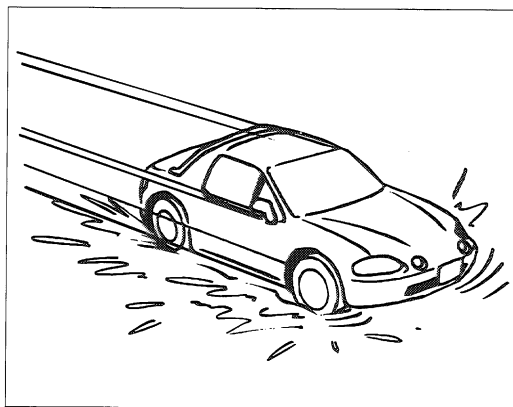
→181ページ



安全ドライブのための必読 6 ポイント

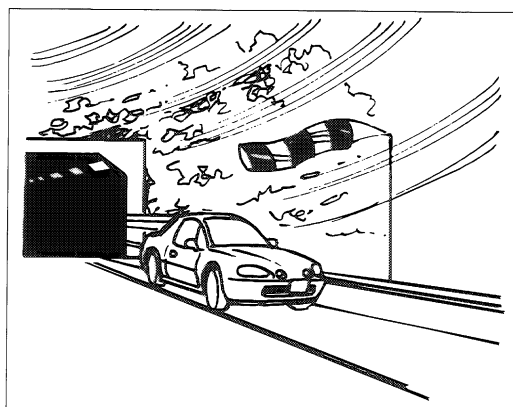
水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。
 - ・ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。



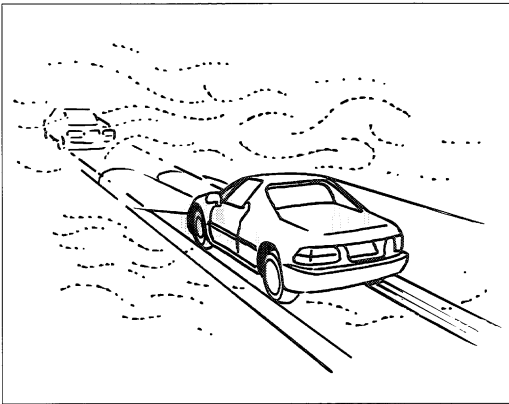
横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。
 - ・トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風が発生しやすいので十分注意してください。

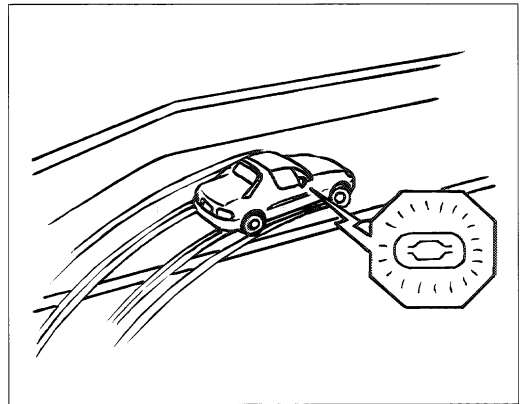


霧が出たときは。

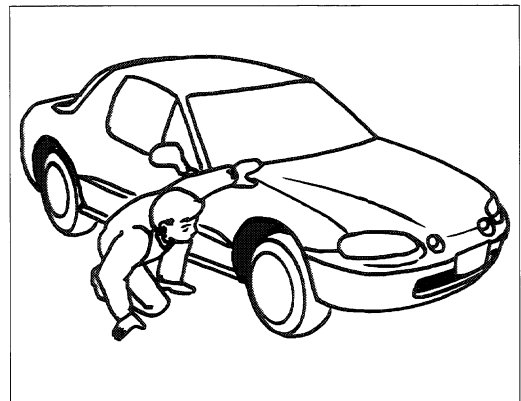
- 霧が出たときは、視界が悪くなりますので、前照灯を早めに点灯します。前照灯は必ず下向きにし、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。

**走行中異常があったら。**

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
<76ページ参照>
 - ・点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。



- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。
 - ・急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあります危険です。
- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。
 - ・ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。



オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

〈94ページ参照〉

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP以外に入っていると、動力がつかない状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

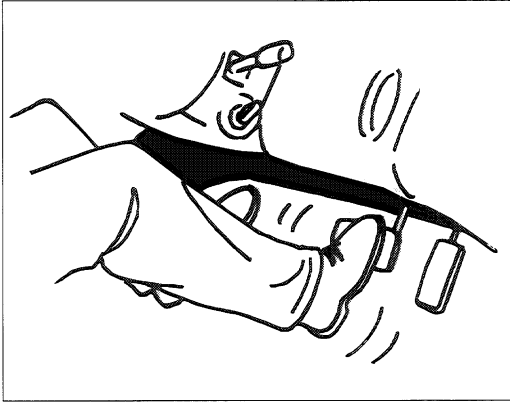
- DまたはRで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
 - ・ 不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

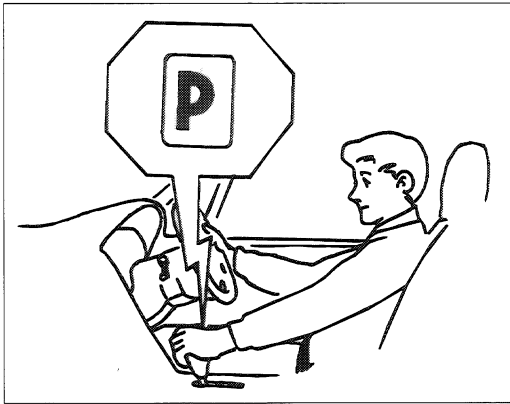
エンジンをかけるまえに。

- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。



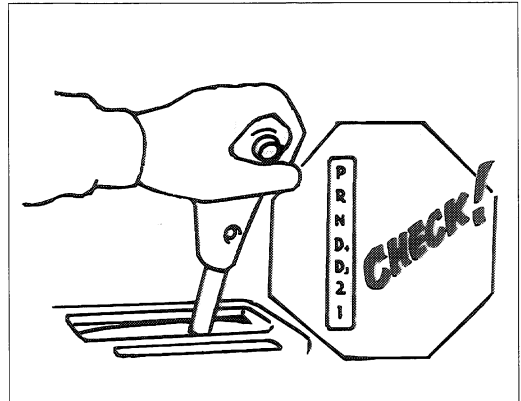
エンジンをかけるとき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。



スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。
 - ・急発進して思わぬ事故のもとになります。

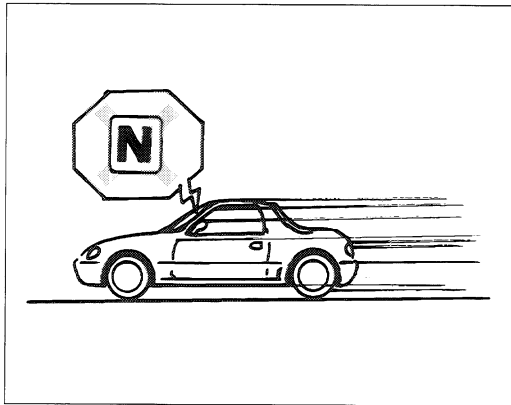


- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。
 - ・エアコン作動時と同じです。

安全ドライブのための必読 6 ポイント

走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。
 - ・ エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。アクセルペダルは、慎重に操作してください。また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。
- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。
 - ・ フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかり踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
 - ・ 万一、セレクトレバーがP以外入りのとき、思わぬ急発進のもとになります。

駐車するとき。

- 駐車するときは、セレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。
 - ・ 万一、セレクトレバーがP以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐ \square から \square にもどす習慣をつけましょう。
 - ・ちょっと後退したときなど、 \square に入れたことを忘れてしまうことがあります。
- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。
 - ・車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。
- 車が完全に止まらないうちに、 \square に入れないうちでください。
 - ・急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

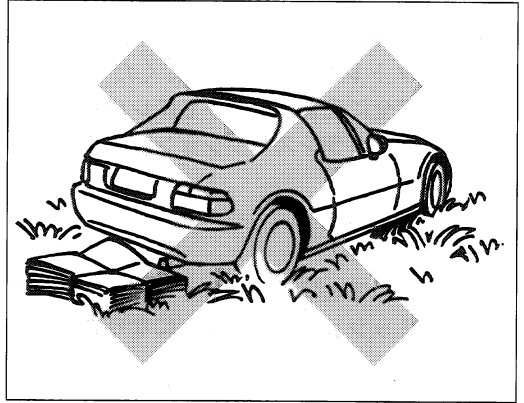
- ブレーキペダルを踏んでいないと、 \square からのセレクトレバー操作はできません。
 - ・ エンジンスイッチが、“ACC”または“LOCK”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
 - ・ セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- \square 以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。
 - ・ \square 以外では、キーが“ACC”から“LOCK”に回りません。
- \square に入れるとブザーが鳴ります。
 - ・ セレクトレバーが \square の時にブザーが鳴り、 \square に入っていることを運転者に知らせます。
 - ・ 車外の人には音が聞こえませんが、ご注意ください。
- 万一、 \square からセレクトレバーが操作できないときは：
 - ・ エンジンスイッチからキーを抜き、
 - ・ キーをシフトロック解除穴に差し込み、
 - ・ キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。



駐車や停車は
しっかりと

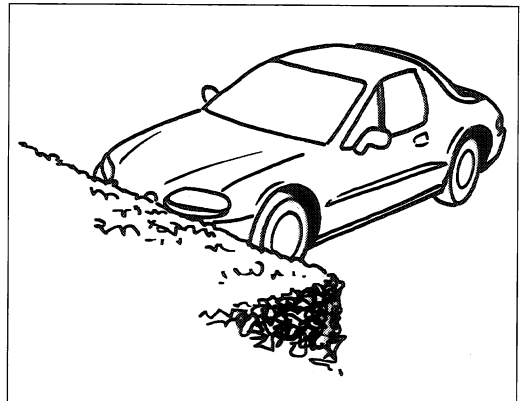
可燃物には注意を。

- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。
- ・ 排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



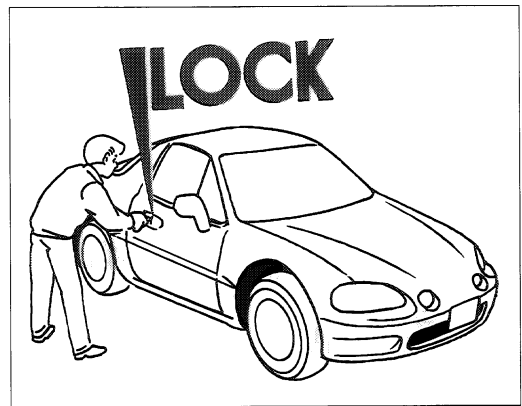
仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。
 - ・無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。
- さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ず駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。
- ・下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- 駐車ブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

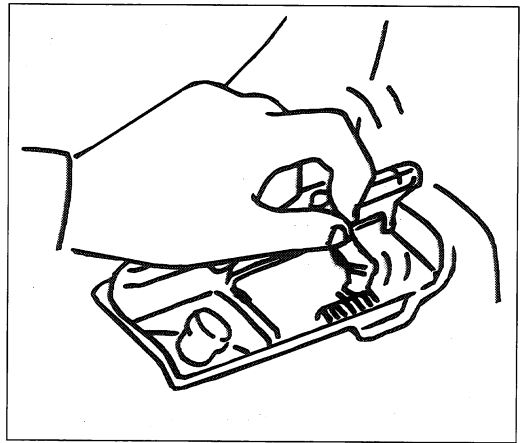
	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	P
下り坂	R	
平地		

さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも
注意をしよう

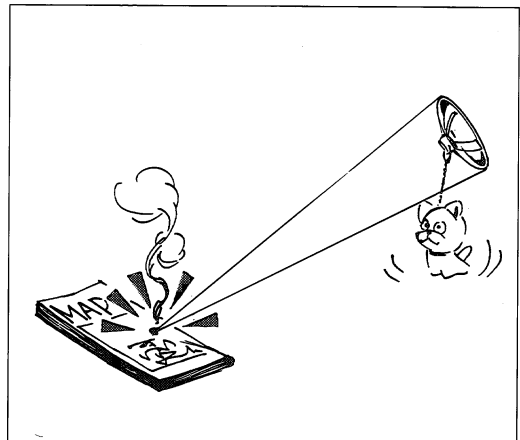
タバコの吸いがらは火を消して。

- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けしないでください。
 - ・運転をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

- ・炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。
- ・蒸気や熱湯が吹き出し危険です。

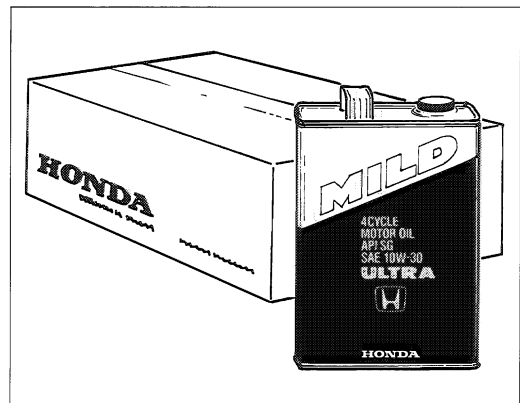


ハンドルをいっぱい回した状態をつづけない。

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。
- ・パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

改造はしない。

- ホンダ純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
- ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ・ホンダが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

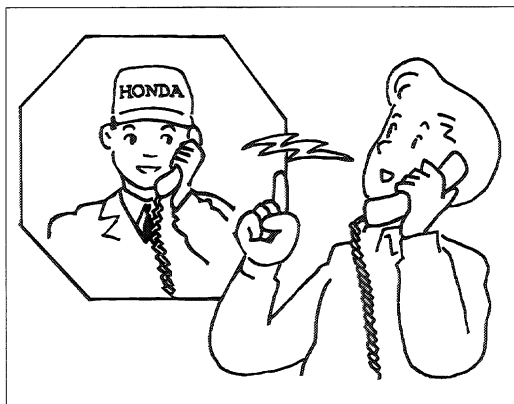


- ホイールは、CR-X専用品をご使用ください。
- ・専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。
- ホンダベルノ店にご相談ください。

安全ドライブのための必読 6 ポイント

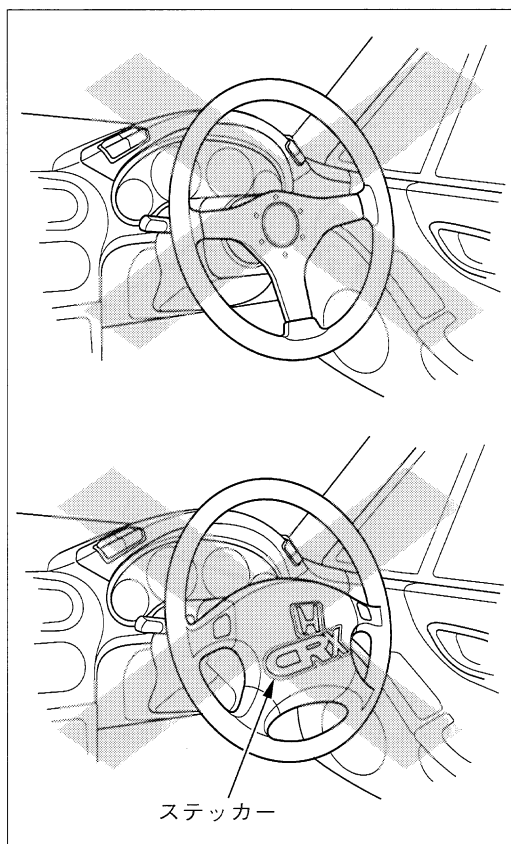
●無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

- ・装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



●SRSエアバッグシステム装備車は、ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

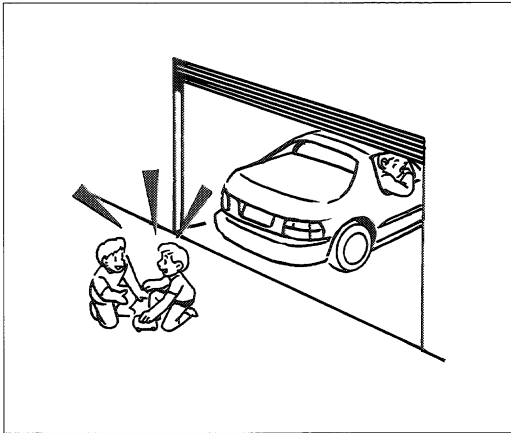
- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・ハンドルまわりの修理をする場合は、必ずホンダベルノ店にご相談ください。



発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。
- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。
 - ・バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。

ルーフの取り扱い

トランストップ(電動オープンルーフ)

各部の名称30

開閉のしかた

開閉操作を行う前に31

開けかた32

閉めかた34

こんなときは36

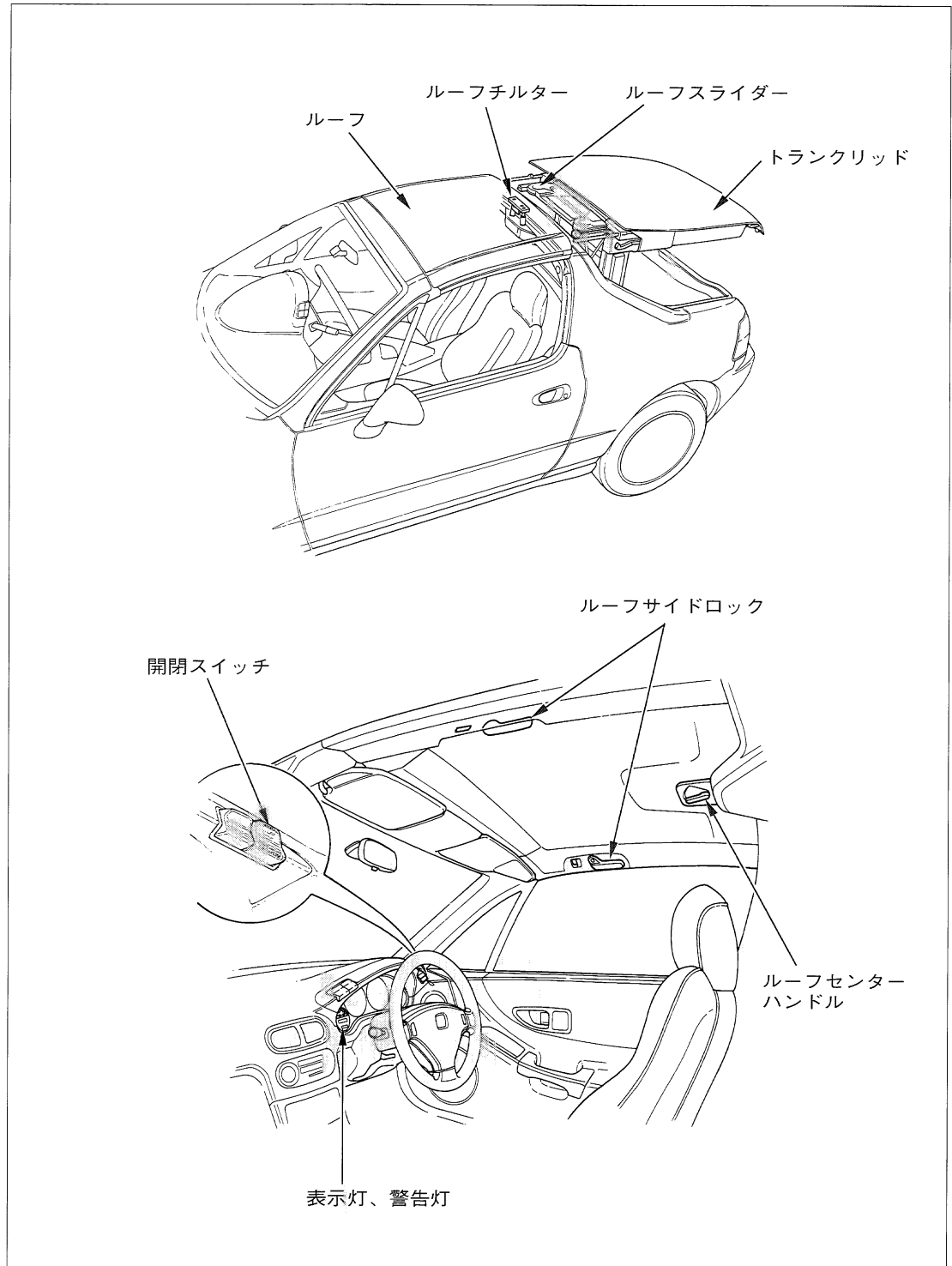
表示灯、警告灯37

作動しないとき

困ったときの手引き38

手動で動かすとき40

各部の名称



開閉のしかた

開閉操作を行う前に

トランストップの開閉操作を安全、確実に行っていただくため、操作を行うまえに必ず下記のことを確認してください。

- 駐車ブレーキがかかっている。
- 停車状態(車速 0 km/h)である。
- 後部ウィンドーが完全に閉まっている。
- エンジンがかかっている。

なお、キーを使ってトランクを開けているときは、トランストップの操作ができません。トランクが完全に閉まっている(トランク開閉警告灯が消灯している)ことを確認してから行ってください。

トランク開閉警告灯 →79ページ

⚠ 注意

- 車は、駐停車禁止区域外の平坦で安全なところに停車し、操作を行う前に必ず周囲の安全を確認してください。
- 信号待ちの時など、他の交通の妨げとなるおそれのある場合には、開閉操作を行わないでください。開閉操作の途中では通常走行ができないようになっており、また操作を行うのに約1分かかるので、万一の場合思わぬ事故の原因になるおそれがあります。
- 車庫や屋内では操作をしないでください。操作はエンジンをかけたまま行うので、換気の悪いところでは一酸化炭素中毒のおそれがあります。

🏠 知識

- オートマチック車は、安全のためセレクトレバーがPの状態で行ってください。

● 作動中のブザーについて

開閉操作を行っている途中で、以下のブザーが鳴ります。

ピーピー(毎秒2回の周期の音)

今行っている操作が終了したことを知らせています。開けかた、閉めかたの順に従って次の操作を行ってください。

ルーフサイドロックが完全にロックされていないときにも鳴り、戻し忘れを警告します。

ピピピ(毎秒6回の周期の音)

ルーフセンターハンドルを切り換えたとき、開閉スイッチを作動途中で離したときに鳴ります。そのまま開閉スイッチを押せば鳴り止み、作動が開始されます。

ピー(連続音)

トランクリッドが閉まるとき、開口部の高さが約17cmのところから、閉まるまで鳴ります。ピー音が鳴っているときは、トランクまわりの安全を十分確認しながら操作を行ってください。

また、トランクが閉まっていないときや、ルーフサイドロックが完全にロックされていないときに走り出したときにも鳴ります。

ピッ

ルーフを閉める操作をはじめたときに鳴ります。

開けかた

- ① 駐車ブレーキをかけ、エンジンを始動します。
- ② 後部ウィンドーおよびトランクが閉まっていることを確認します。
- ③ ルーフセンターハンドルが“CLOSE”側になっていることを確認します。

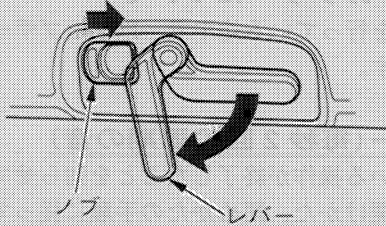
操 作

ルーフ開閉状態

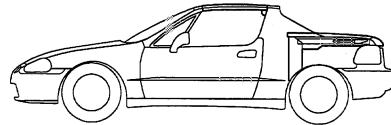
ブザー

ルーフサイドロックを左右共解除します。

1



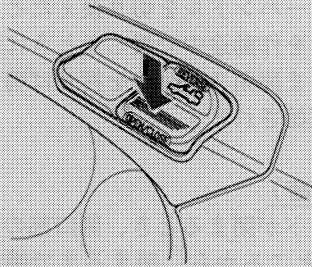
ノブを矢印のほうへ押しながら、レバーを下げます。



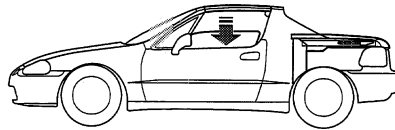
ピーピー
(毎秒2回)

開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し、そのまま押し続けます。

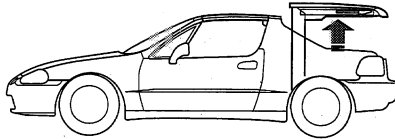
2



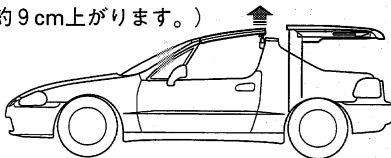
ドアウィンドー下降



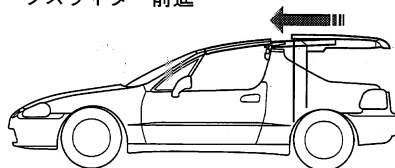
トランクリッド上昇



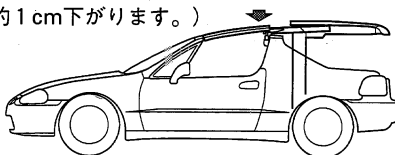
ルーフフィルター上昇
(約9cm上がります。)



ルーフスライダー前進



ルーフフィルター下降
(約1cm下がります。)

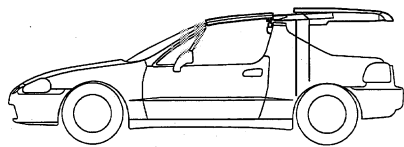
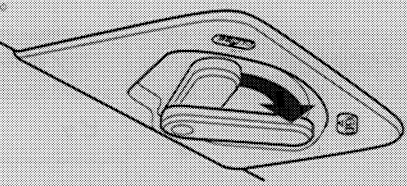


ピーピー音が鳴るまで押し続けます。

ピーピー
(毎秒2回)

開閉スイッチから手を離して、ルーフセンサーハンドルを“OPEN”に合わせます。

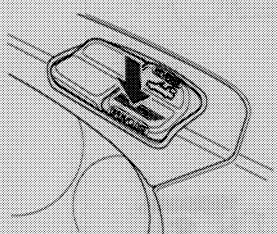
3



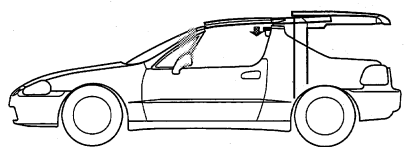
ピピピ
(毎秒6回)

開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し、そのまま押し続けます。

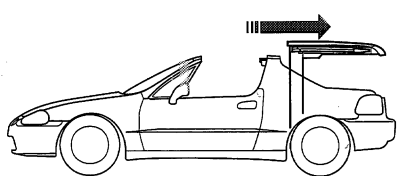
4



ルーフチルター下降
(下端まで下がります。)

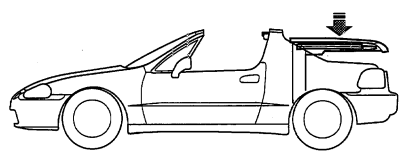


ルーフスライダー後退



トランクが閉まるまで、トランクまわりの安全を十分確認しながら操作を行ってください。

トランクリッド下降(トランクの開口部の高さが約17cmになるところで停止します。)

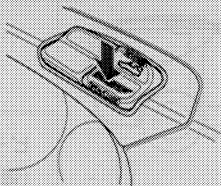


ピーピー
(毎秒2回)

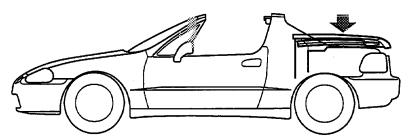
ピーピー音が鳴るまで押し続けます。

スイッチから手を離して、再度開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し続けます。

5



トランクリッド下降(トランクの開口部の高さが約5cmになるところで停止します。)



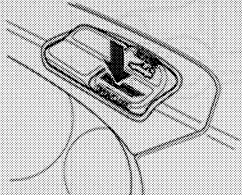
ピー
(連続音)

ピーピー音が鳴るまで押し続けます。

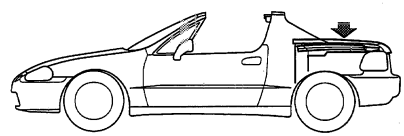
ピーピー
(毎秒2回)

スイッチから手を離して、再度開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し続けます。

6



トランクリッド下降(トランクが閉まるまで下がり、施錠されます。)



ピー
(連続音)

ピー音が鳴り止むと操作完了です。

閉めかた

- ① 駐車ブレーキをかけ、エンジンを始動します。
- ② 後部ウィンドーおよびトランクが閉まっていることを確認します。

操 作

ルーフ開閉状態

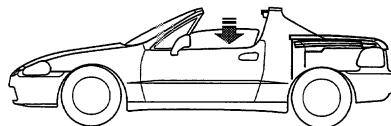
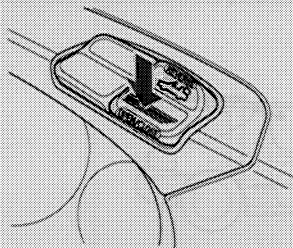
ブザー

開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し、そのまま押し続けます。

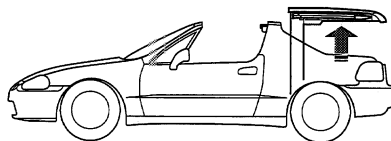
ドアウィンドー下降

ピッ

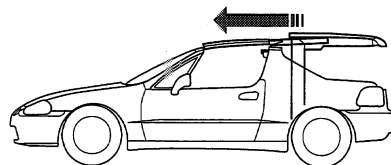
1



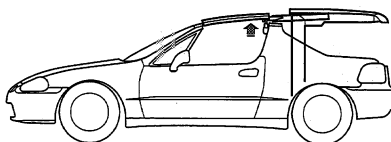
トランクリッド上昇



ルーフスライダー前進



ルーフフィルター上昇
(約 8 cm 上がります。)

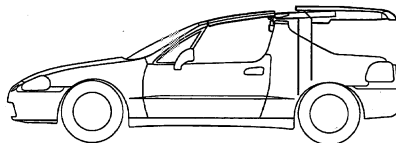
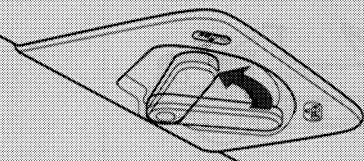


ピーピー音が鳴るまで押し続けます。

ピーピー
(毎秒 2 回)

開閉スイッチから手を離して、ルーフセンターハンドルを“CLOSE”に合わせます。

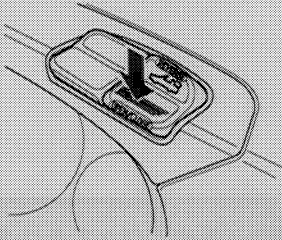
2



ピピピ
(毎秒 6 回)

開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し、そのまま押し続けます。

3

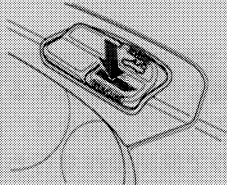


トランクが閉まるまで、トランクまわりの安全を十分確認しながら操作を行ってください。

ピーピー音が鳴るまで押し続けます。

スイッチから手を離して、再度開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し続けます。

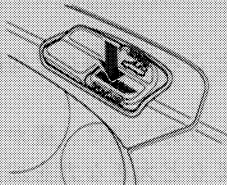
4



ピーピー音が鳴るまで押し続けます。

スイッチから手を離して、再度開閉スイッチの“OPEN/CLOSE”側を押し続けます。

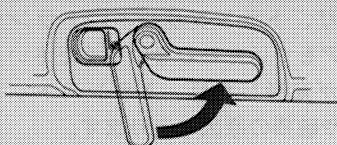
5



ピーピー音が鳴るまで押し続けます。

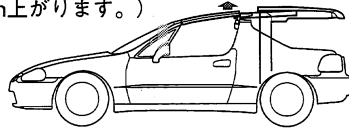
ルーフサイドロックを左右共ロックします。

6

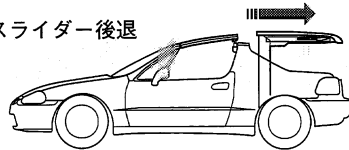


トランクが閉まったあと、レバーをノブの赤色のマークが消えるまで確実に押し上げます。

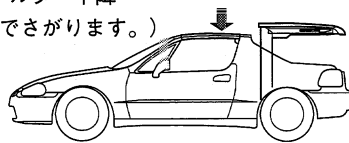
ルーフチルター上昇
(約1cm上がります。)



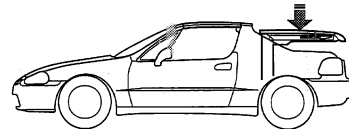
ルーフスライダー後退



ルーフチルター下降
(下端までさがります。)

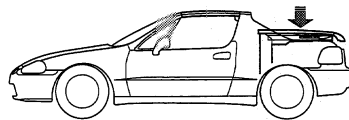


トランクリッド下降(トランクの開口部の高さが約17cmになるところで停止します。)



ピーピー
(毎秒2回)

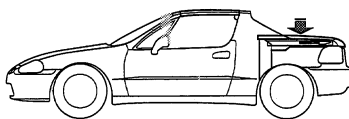
トランクリッド下降(トランクの開口部の高さが約5cmになるところで停止します。)



ピー
(連続音)

ピーピー
(毎秒2回)

トランクリッド下降(トランクが閉まるまで下がり、施錠されます。)



ピー
(連続音)

ピーピー
(毎秒2回)

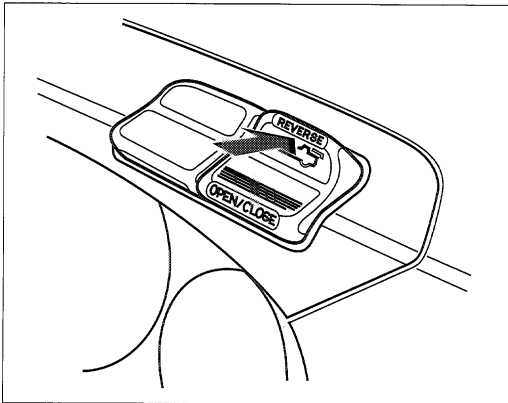
ロックするとピーピー音が鳴り止み、操作完了です。

こんなときは

●開閉の途中で作動を止めたいとき
開閉操作は、スイッチを押している間だけ電動で作動します。

開閉の途中で作動を止めるときは、開閉スイッチから手を離せばその状態で停止します。このとき、ピピピ音(毎秒6回)が鳴ります。

●開閉の途中で元の状態に戻したいとき、逆方向に作動させたいとき
開閉操作を途中で止めて元の状態に戻したいとき、逆方向に作動させたいときは、開閉スイッチの“REVERSE”側を押します。



開けかた、閉めかたの手順を参考にして最後まで確実に操作してください。

●操作完了後、走り出すとき

安全上の配慮から、開閉操作の途中(トランクが閉まっていないとき)は、通常走行ができないようになっています。(走り出すとピー音が鳴り、エンジンの回転数が1,000rpmを越えると燃料供給が停止されます。)

必ず、操作が完了したことを確認してから走り出してください。

⚠警告

- 開閉操作中は、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ルーフなどにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。
思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗アドバイス

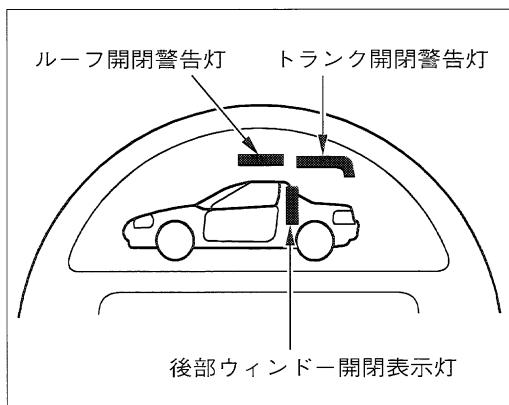
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は、故障の原因となるので開閉操作を行わないでください。
- 次のようなときは、開閉操作を行わないでください。ルーフがはずれたり、正常に作動しない場合があります。
 - ・強風するとき
 - ・段差のあるところや坂道など勾配があるとき
- ルーフやトランクの上には、腰かけたリ荷物に乗せるなど大きな力を加えないでください。トランストップの故障や破損の原因となります。
- ルーフパネルにスキーキャリアなどをつけたり、トランクリッドにトランクキャリアをつけたりしないでください。ルーフが変形したり、トランストップの故障や破損の原因となります。

知識

- ルーフ開閉時トランクリッドがルーフより高い位置まで上がるので、開閉操作はトランクの上側に障害物のないところで行ってください。
- ルーフサイドロックやルーフセンターハンドルは、最後まで確実に操作してください。
最後まで操作しないとロックや解除が完全にされず、作動に支障をきたします。
- トランクの開口部の高さが約17cmの位置から開るときに、開閉スイッチを押し続けず途中で作動を止め再操作した場合は、トランクが約5cmの高さで停止せずにそのまま閉まることがあります。
- ルーフ開閉操作中は、パワーウィンドーおよびキーを使ったトランクの開閉はできません。
- 走行を開始するときは、ルーフサイドロックとルーフセンターハンドルが確実にロックされていることを確認してください。また、走行中は、ロックを解除しないでください。
ロックされていないと、ルーフがはずれるおそれがあります。
- 車から離れるときや洗車のときは、ルーフやトランクが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ、トランク上の水を除去してから行ってください。また、積雪時にはルーフ、トランク上の雪を除去してから行ってください。
室内やトランク内に水や雪が入るおそれがあります。

表示灯、警告灯

セーフティインジケーターがメーター内に組み込まれており、開閉操作中は警告灯が点灯します。



後部ウィンドー開閉表示灯

後部ウィンドーが開いているときに点灯します。

知識

- この表示灯が点灯しているときは、ルーフおよびトランクの開閉操作ができません。

ルーフ開閉警告灯

ルーフサイドロックが完全にロックされていないときに点灯します。
エンジンスイッチを“ON”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。
エンジンスイッチを“ON”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

作動しないとき

困ったときの手引き

故障かなと思ったら、まず次のことを確認してください。

症 状	お調べいただくところ
開閉スイッチを押しても動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車ブレーキがかかっていますか。 ・ エンジンがかかっていますか。 ・ 後部ウィンドーは完全に閉まっていますか。 (メーター内の後部ウィンドー開閉表示灯で確認してください。) ・ トランクが完全に閉まっていますか。 (メーター内のトランク開閉警告灯で確認してください。) ・ ルーフサイドロックを解除していますか。
(ルーフを開けるとき) トランクは上昇するが、そのあと途中で作動が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルーフセンターハンドルを“CLOSE”側にしてありますか。 (“CLOSE”側にしてから開閉スイッチを押してください。)
(ルーフを閉めるとき) 操作を終了しても、ピーピー音が鳴り止まない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルーフサイドロックが左右共完全にロックされていますか。 (メーター内のルーフ開閉警告灯で確認してください。)
開閉スイッチを押し続けていてもトランクが閉まる途中で動かなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全上の配慮からトランクの開口部の高さが約17cmのところと約5cmのところで作動が停止するようになっています。 (安全確認をしてから開閉スイッチを押してください。)
開閉スイッチ操作中にスイッチから手を離すとピーピー音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作動が途中で停止していることを知らせるためにピーピー音が鳴ります。 (そのまま開閉スイッチを押してください。)

症 状	お調べいただくところ
開閉操作を完了してもドアウィンドーが開いたままになっている	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーフの開閉操作は、ドアウィンドーが開いたまま作動が完了します。 (パワーウィンドーのスイッチでドアウィンドーを閉めて下さい。)
開閉操作の途中で作動が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車ブレーキを解除していませんか。 (駐車ブレーキをかけてから再び操作を行ってください。) ・エンジンを切っていないか。 (エンジンをかけてから再び操作を行ってください。)

以上のことを確認してもトランストップが正常に作動しない場合は、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

開閉操作の途中の場合などは、応急処置として手動で操作を行ってください。

手動で動かすとき →40ページ

手動で動かすとき

手動で操作するときは、トランク、ルーフチルター、ルーフスライダーのそれぞれのモーターをレンチで回して動かします。

トランストップの閉めかたの手順を参考にし、最後まで確実に操作してください。

閉めかた →34ページ

知識

- 応急処置後はホンダベルノ店で点検を受けてください。
- 手動でルーフを操作したときは、パワーウィンドーおよびキーを使ったトランクの開閉ができなくなることがあります。

この場合パワーウィンドーを動かすには、エンジンルーム内のヒューズボックスにある“BACK UP (バックアップ) 7.5A”のヒューズを抜けばパワーウィンドースイッチで操作できます。

ヒューズボックス →154ページ

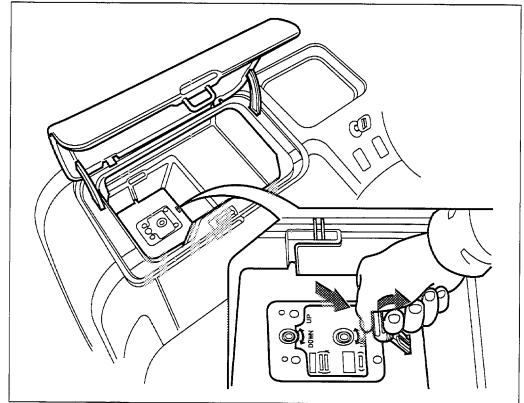
●工具

それぞれ専用のレンチを使って行います。

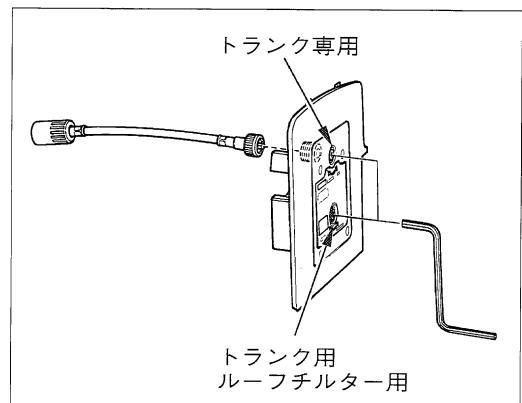
工具 →137ページ

トランク、ルーフチルター用 レンチ

運転席後方のパーソナルボックス内にあるレンチを使います。



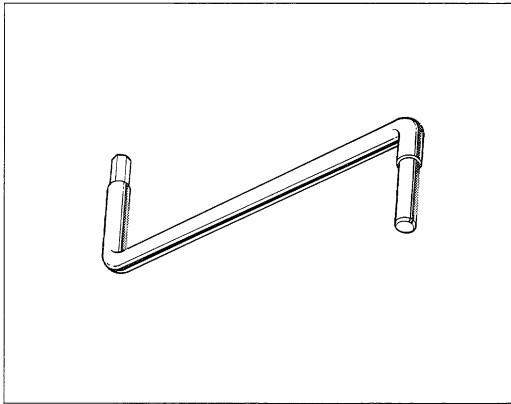
レンチには、ハンドルとケーブルがセットされていますので、下図のように取り付けます。



ハンドルは、通常下側のトランク用、ルーフチルター用に取り付けて操作してください。ただし、トランクを開閉していてハンドルがから回りするときは、上側のトランク専用のほうで操作してください。

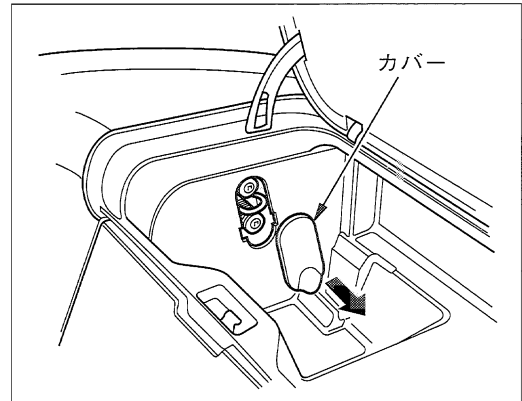
ルーフスライダー用レンチ

工具袋内のレンチを使います。



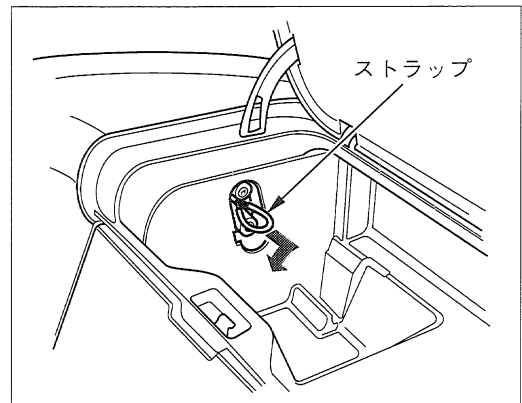
●トランクの開閉

運転席後方のパーソナルボックス内の側面のカバーを外します。



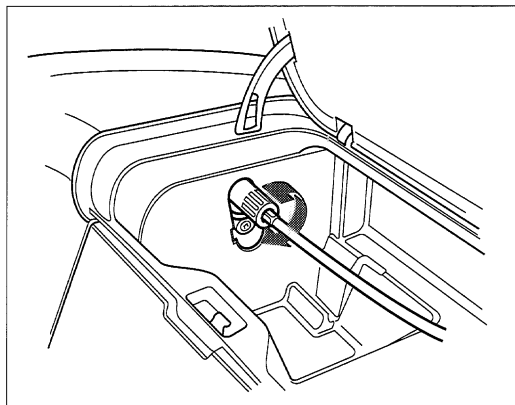
トランクの解錠

ストラップを引いて90°回し解錠します。

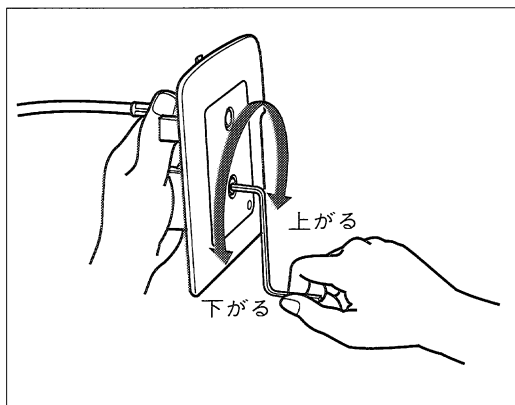


トランクリッドの昇降

①レンチを上側の穴に差し込み最後まで確実に締め付けます。



②レンチのハンドルを回して昇降させます。右にまわすとトランクリッドが上がり、左にまわすと下がります。



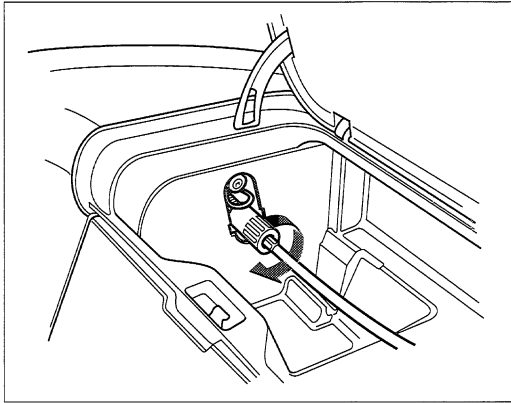
ハンドルがから回りするときは、トランク専用に取り付けて操作してください。この場合は、左にまわすとトランクリッドが上がり、右にまわすと下がります。

知識

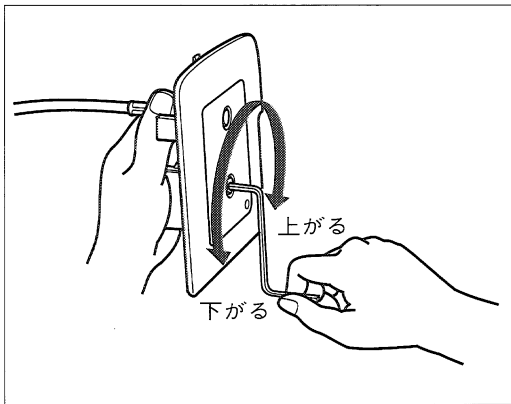
- トランクリッドが上がりきった後や下がりきった後に、ハンドルを回しつけないでください。ハンドルが、手を離れたときに逆側に急回転することがあります。
- トランクリッドを下降させるときは、ルーフスライダーが完全に後退していることを確認してから行ってください。
- トランクを閉めるときは、トランクリッドが下がりきるまで降ろしてください。下がりきっていないと、走り出したときに通常走行ができません。
- 手動でトランクを閉めた場合は、施錠されずトランク開閉警告灯が点灯したままになります。

●ルーフチルターの昇降

- ①運転席後方の小物入れ内の側面のカバーを外し、レンチを下側の穴に差し込み最後まで確実に締め付けます。



- ②レンチのハンドルを回して昇降させます。右にまわすとルーフチルターが上がり、左にまわすと下がります。

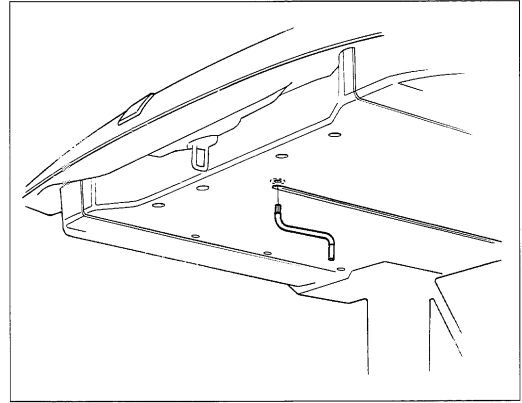


📖 知識

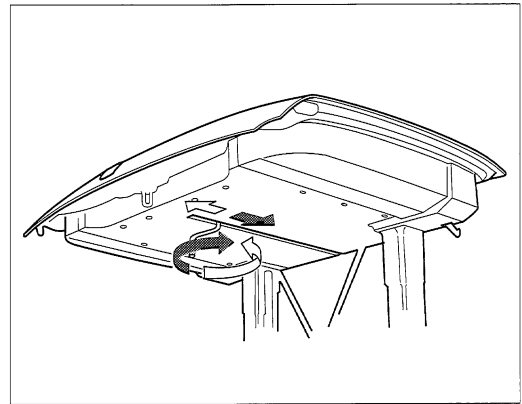
- ルーフチルターが上がりきった後や下がりきった後に、ハンドルを回しつけないでください。ハンドルが、手を離れたときに逆側に急回転することがあります。

●ルーフスライダーの前進、後退

- ①トランクリッドをいっぱいまで上昇させ、レンチをトランクリッド下側の溝の中の六角穴に差し込みます。



- ②レンチを回して前進または後退させます。右にまわすとルーフスライダーが前進し、左にまわすと後退します。



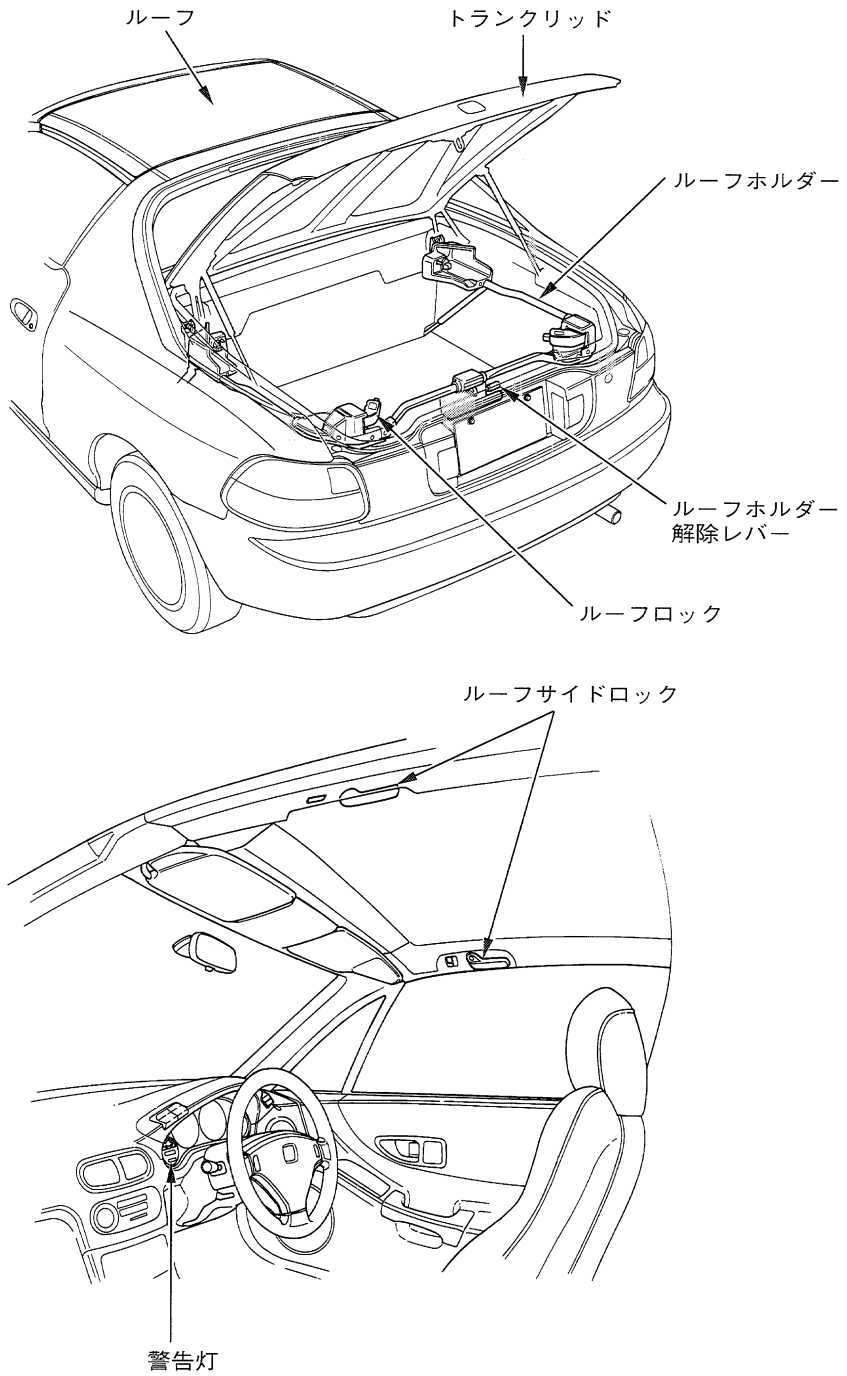
各部の名称

ルーフの取り扱い

マニュアルルーフ(手動オープンルーフ)

各部の名称	46
脱着のしかた	
取り外しかた	47
取り付けかた	49
ルーフホルダーの閉閉	50
ルーフサイドロック戻し忘れ警告	51

各部の名称



脱着のしかた

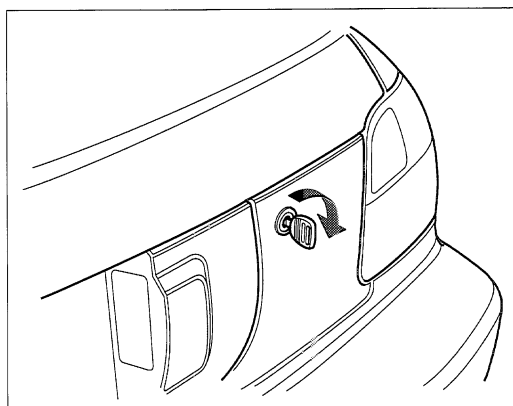
マニュアルルーフの脱着は、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキを確実にかけてから行ってください。

⚠ 注意

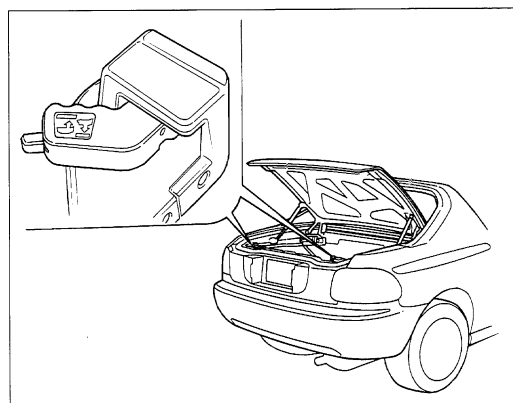
- 車は、駐停車禁止区域外の平坦で安全なところに停車し、操作を行う前に必ず周囲の安全を確認してください。

取り外しかた

- ①運転席および助手席のウィンドーをいっばいに下げます。
- ②トランクを開けます。
 - ・キーを確実に差し込んで矢印の方向に回し、解錠します。

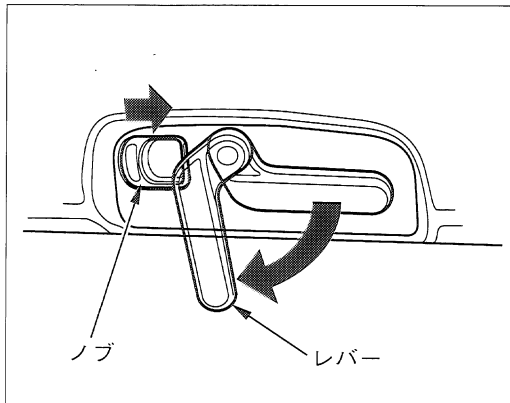


- ・トランクリッドを開きます。ルーフホルダーが固定され、ルーフロックが解除(図の状態)されていることを確認します。

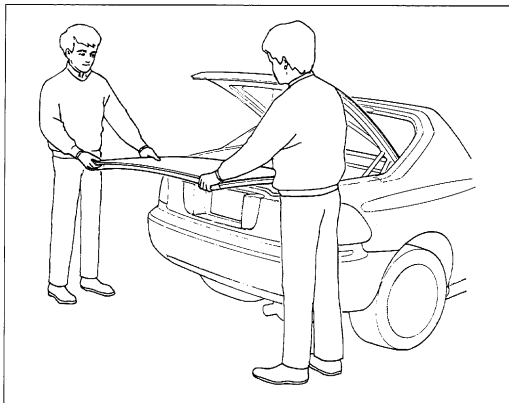


ルーフの取り扱い

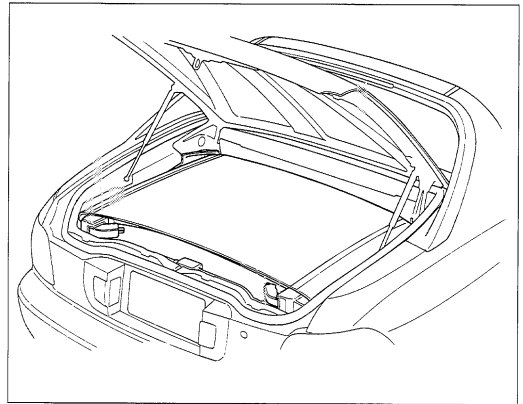
- ③ルーフを車体から取り外します。
- ・ルーフサイドロックを左右共解除します。レバーは、ノブを矢印のほうへ押しながら下げます。



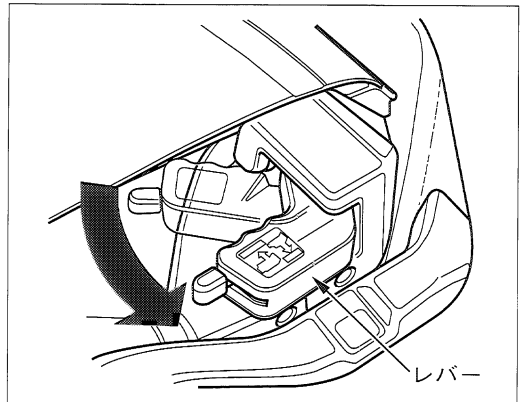
- ・ルーフを持ち上げ、トランク後方まで移動します。



- ④ルーフをトランクに収納します。
- ・ルーフをルーフホルダーにセットします。



- ・ルーフロックのレバーを手前に引いて、確実に固定します。



- ⑤トランクを閉めます。

⚠ 注意

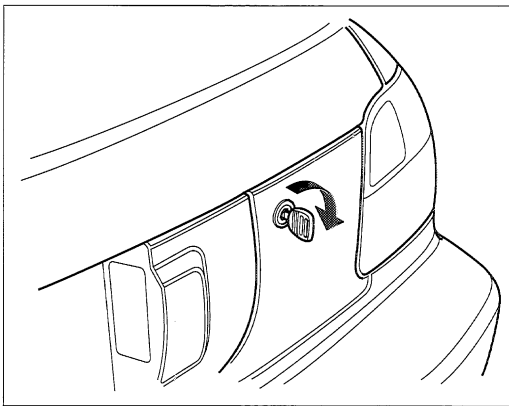
- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。

📖 知識

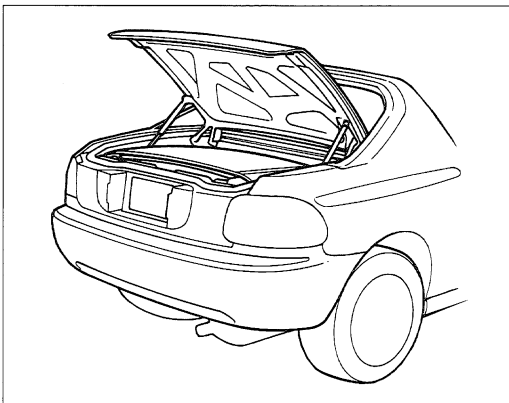
- ルーフの上には、物などを置かないでください。

取り付けかた

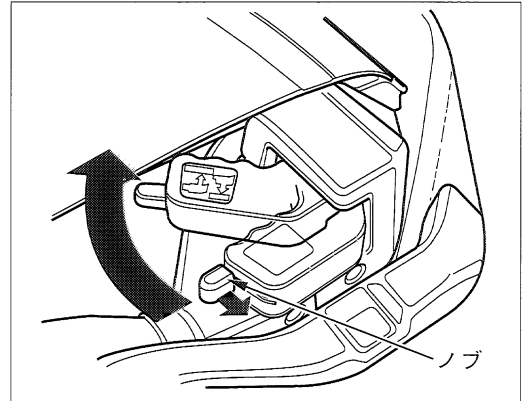
- ①運転席および助手席のウィンドーをいっばいに下げます。
- ②トランクを開けます。
 - ・キーを確実に差し込んで矢印の方向に回し、解錠します。



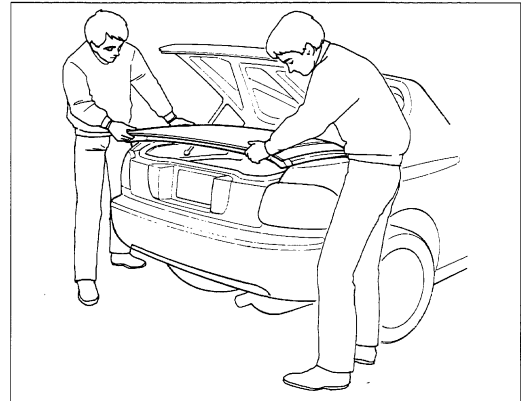
- ・トランクリッドを開きます。



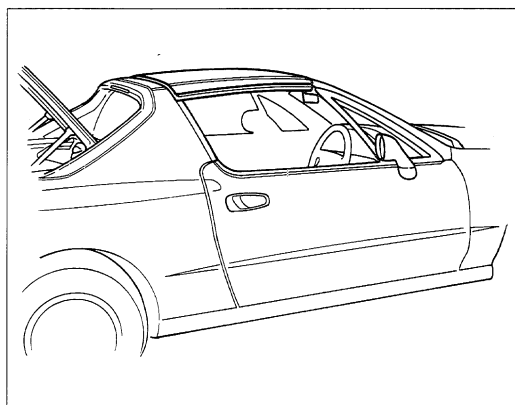
- ③ルーフをトランクから取り出します。
 - ・ルーフロックのノブを手前に引いて、ロックを解除します。



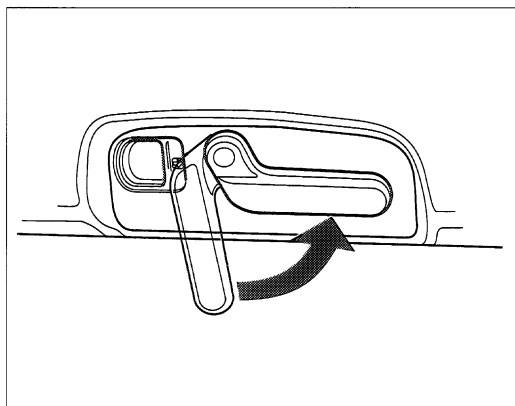
- ・ルーフをルーフホルダーから取り外します。



- ④ルーフを車体に取り付けます。
- ・ルーフサイドロックが解除されていることを確認してから、ルーフを車体へセットします。



- ・ルーフサイドロックを左右共ロックします。ノブの赤色のマークが消えるまで、レバーを確実に押し上げます。



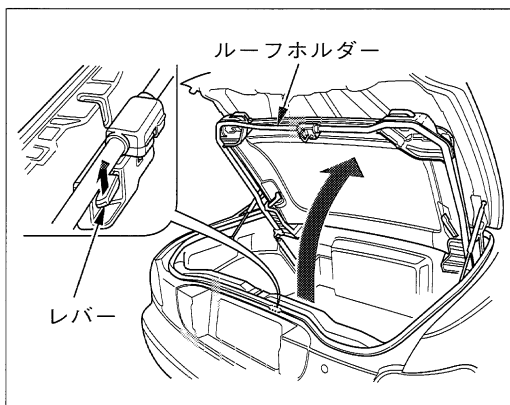
- ⑤トランクを開めます。

⚠ 注意

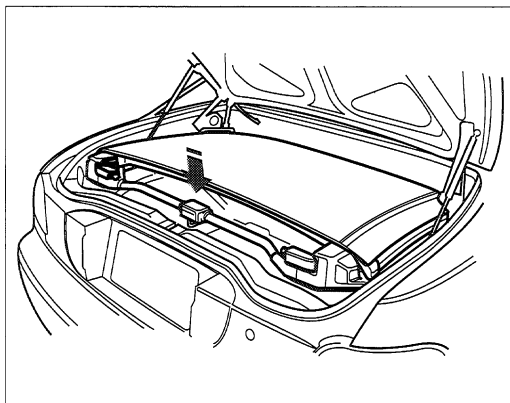
- トランクを開めるときは手などをはさまないように注意してください。

ルーフホルダーの開閉

ルーフホルダーを持ち上げるときは、レバーを引き上げながら行います。



元に戻すときは、下に押しつけければ自動的に固定します。

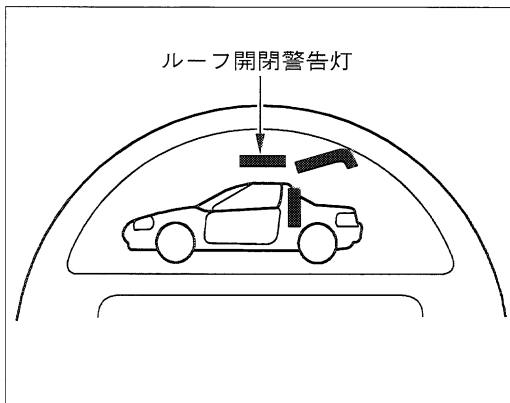


📖 知識

- ルーフをトランクに収納しているときでもルーフホルダーを持ち上げることにより、トランク内の荷物の出し入れができます。
- ルーフを収納していないときは、手でルーフホルダーを押さえながら持ち上げてください。
- トランクを開めるときは、必ず先にルーフホルダーを固定してください。

ルーフサイドロック 戻し忘れ警告

ルーフサイドロックが完全にロックされていないとセーフティインジケーター内のルーフ開閉警告灯が点灯します。またそのまま走り出すと、約10秒間警告音(連続音)が鳴ります。(警告音はエンジンをかけて最初に走り出したときのみ鳴ります。)



警告灯が点灯しているときは、必ず最後まで確実にロックしてください。

🎓 知識

- ルーフを取り外したときに、ルーフをトランク内へ収納していなければ、警告灯が点灯します。またそのまま走り出すと、約10秒間警告音(連続音)が鳴ります。(警告音はエンジンをかけて最初に走り出したときのみ鳴ります。)

⚠️ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ルーフ上には、腰かけたり荷物を乗せるなど大きな力を加えないでください。破損の原因となります。
- ルーフパネルには、スキーキャリアなどをつけないでください。ルーフが変形したり、ルーフサイドロックが破損するおそれがあります。

知識

- 風の強いときにルーフを脱着する場合は、十分注意してください。風にあおられることがあります。
- ルーフを脱着、収納するときは、ルーフを車体に当てたり、手をはさまないようにしてください。
- 走行を開始するときは、ルーフサイドロックが確実にロックされていることを確認してください。また、走行中は、ロックを解除しないでください。ロックされていないと、ルーフがはずれるおそれがあります。
- 車から離れるときや洗車のときは、ルーフやトランクが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ、トランク上の水を除去してから操作を行ってください。また、積雪時にはルーフ、トランク上の雪を除去してください。室内やトランク内に水や雪が入るおそれがあります。

1

目次

車を運転する前に

各部の開閉

キー	54
ドアの施錠・解錠	54
ボンネット	56
トランク	57・59
燃料補給口	61
パワーウィンドー	62

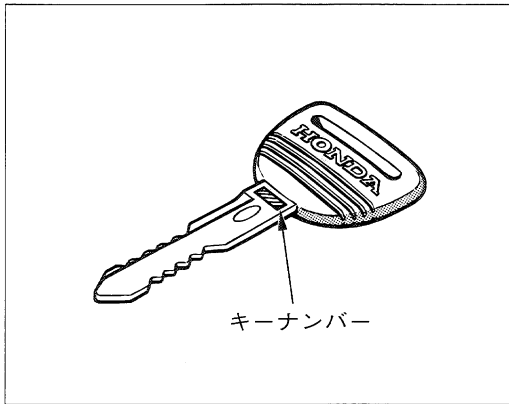
各部の調節

シート	64
チルトステアリング (上下調節式ハンドル)	65
バックミラー(後写鏡)	66
シートベルト	67

各部の開閉

キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアやパーソナルボックスの施錠・解錠、トランクの解錠に使えます。(トランストップ装備車は、トランクの開閉、施錠もこのキーで行います。)



知識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、ナンバーをホンダベルノ店へご連絡いただければ、購入することができます。

ドアの施錠・解錠

注意

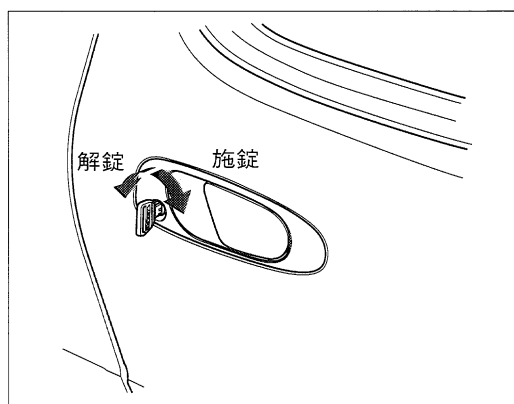
- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは走行中にドアが開き、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。

●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。

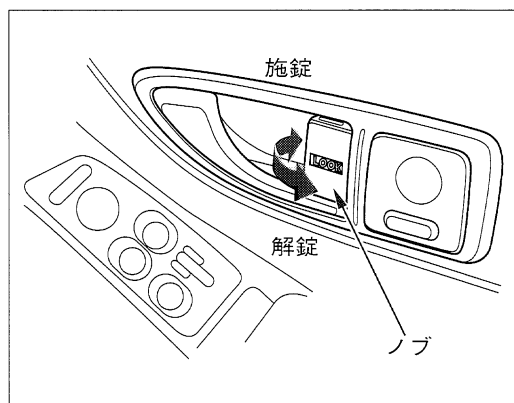


パワードアロック

運転席ドアを施錠(解錠)すると助手席ドアも同時に施錠(解錠)します。

●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かすことにより、施錠(解錠)できます。



パワードアロック

運転席ドア部のノブを操作すると助手席ドアも同時に施錠(解錠)します。

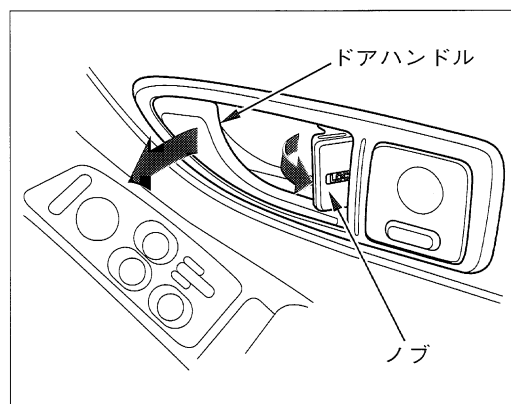
●キーを使わないで施錠する場合

知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

ドアハンドルを引いたままノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めると、施錠できます。



運転席ドアを施錠すると、助手席ドアも同時に施錠されます。

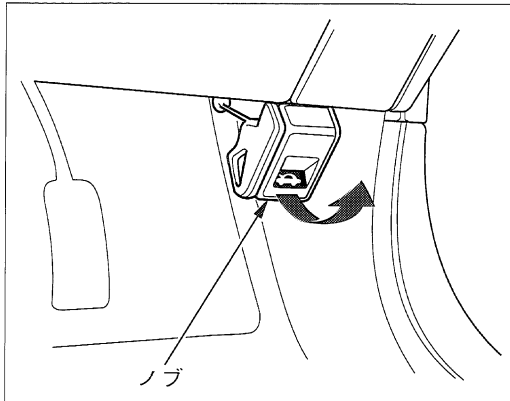
助手席ドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めると、施錠できます。

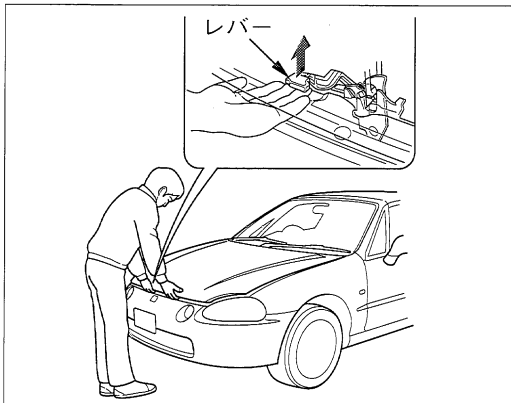
ボンネット

●開けかた

運転席足元のノブを引きます。



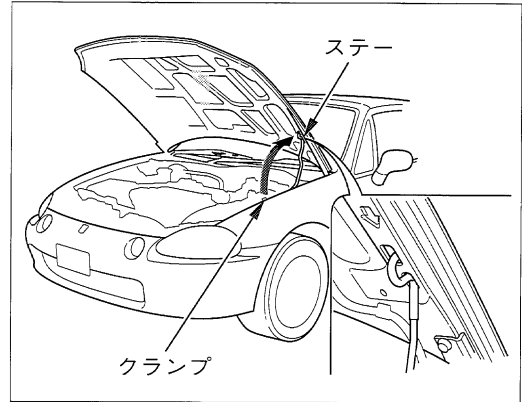
ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを押し上げながら開けます。



🎓 知識

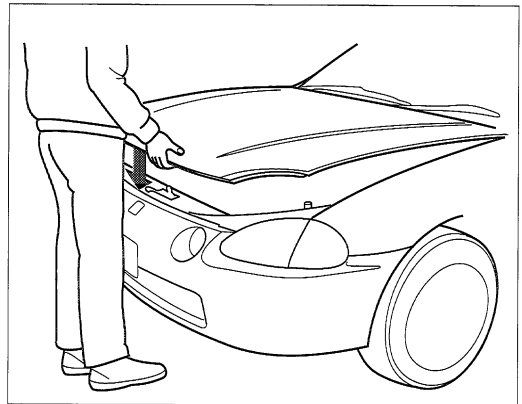
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などはさまないように注意してください。

🎓 知識

- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないまま走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

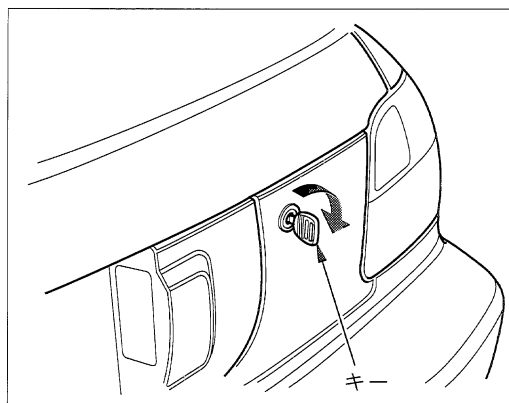
トランク

トランストップ装置

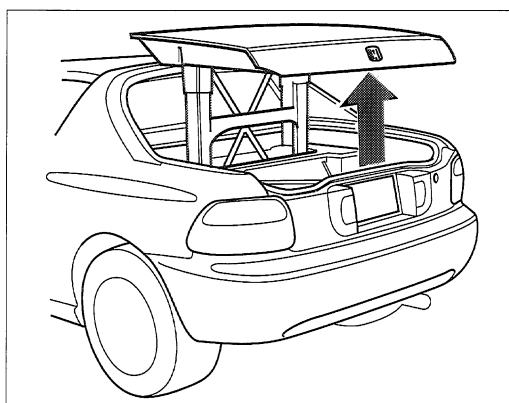
トランクは、後部ウィンドーが閉まっているときに開閉できます。

● 開けかた

キーを確実に差し込んで右に回し、トランクが上昇を始めるまでそのまま保持します。



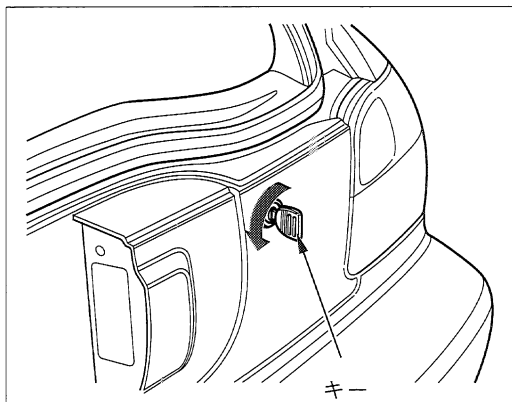
トランクは自動でいっぱいまで上がります。



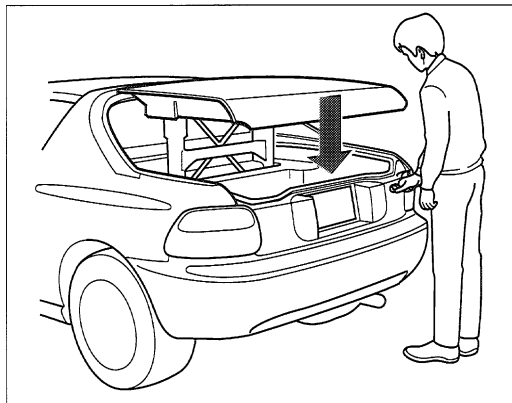
トランクを途中で止めるときは、キーを左にまわします。

●閉めかた

キーを確実に差し込んで左へ回します。



キーを回して保持している間だけトランクが下がります。



トランクを閉めるときは、下端まで下がったあと施錠音をするまでキーを回して保持してください。

⚠注意

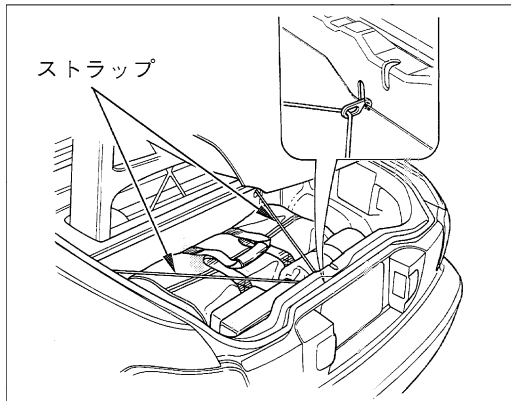
- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- トランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

📖知識

- 安全上の配慮から、トランクが閉まっていないときは通常走行ができないようになっています。(走り出すとピー音が鳴り、エンジンの回転数が1,000rpmを越えると燃料供給が停止されます。)必ず、トランクを閉めてから走り出してください。

●荷物を積むとき

トランク内に荷物を積むときは、ストラップの高さを越えないように積んでください。



🚗 アドバイス

- ストラップの高さを越えて荷物を積んだり、トランク奥の可動部に物を置いたりしないでください。トランクが閉まらなくなり、故障や荷物の破損の原因となります。
- トランクの上には、腰かけたり荷物を乗せるなど大きな力を加えないでください。故障や破損の原因となります。

●正常に作動しないとき

万一、電動でトランクが閉まらなくなった場合は、応急処置として手動で操作を行ってください。

手動で動かすとき →40ページ

📖 知識

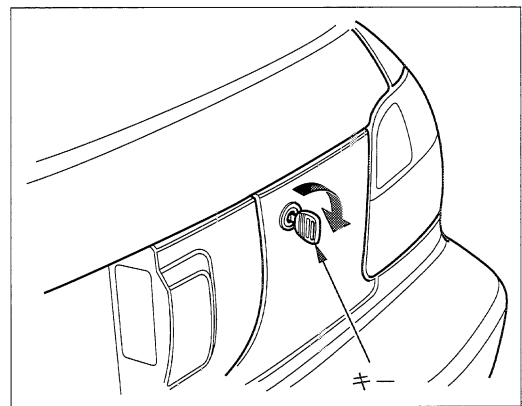
- 応急処置後はホンダベルノ店で点検を受けてください。

トランク

マニュアルルーフ装備車

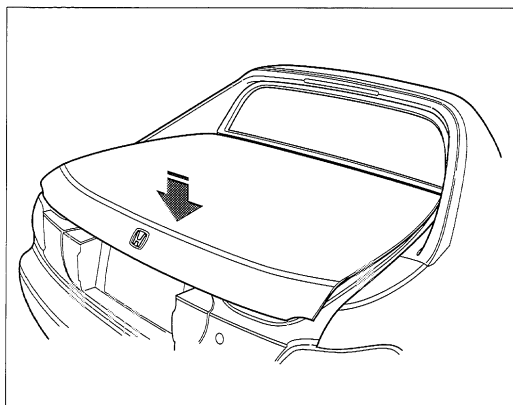
●解錠

キーを確実に差し込んで矢印の方向に回すと解錠できます。



●施錠

トランクを閉めれば施錠できます。



⚠注意

- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- トランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

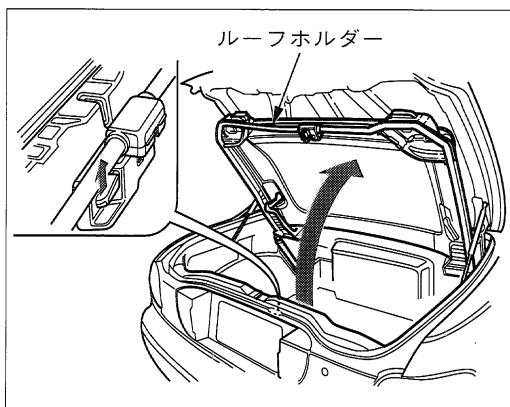
🎓知識

- トランクを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- トランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
 - ・キーをトランク内に置き忘れないようにしてください。
 - ・トランク上面を強く押さえしないでください。

●荷物の出し入れ

トランク内にルーフを収納しているときに荷物の出し入れをする場合は、ルーフホルダーを持ち上げて行ってください。

ルーフホルダーの開閉 →50ページ



荷物は、ルーフやルーフホルダーに当たらないように積んでください。

🎓知識

- ルーフを収納していないときは、手でルーフホルダーを押さえながら持ち上げてください。
- トランクを閉めるときは、必ず先にルーフホルダーを固定してください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

使用燃料:

SiR ……………無鉛プレミアムガソリン
(無鉛ハイオク)

VXi ……………無鉛ガソリン

タンク容量: 45 ℓ

警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・エンジンは必ず止めてください。
 - ・たばこを吸うなど火気を近づけないでください。

アドバイス

- 有鉛ガソリンを使うと、触媒装置などを損ないます。また、粗悪ガソリンや不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

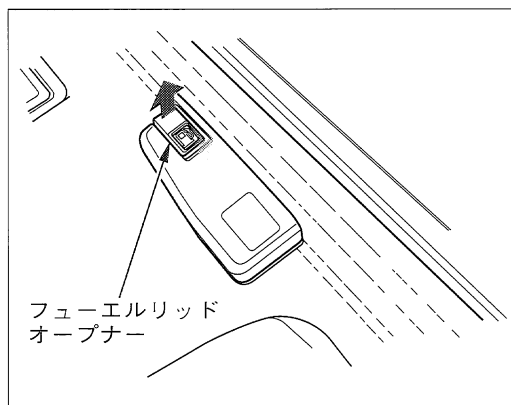
知識

SiR

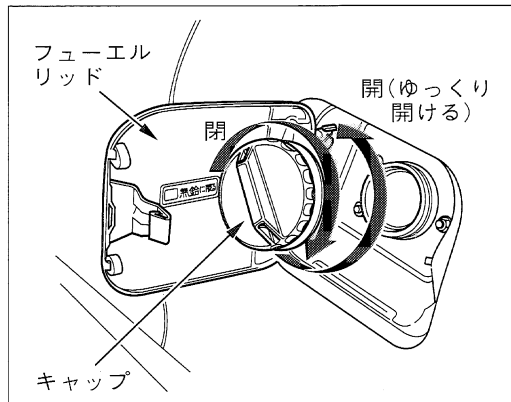
- 無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。

●フューエルリッドの開けかた

運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げるとリッドが開きます。



●キャップの開閉



●閉めるとき

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

知識

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生するおそれがあります。
- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれたりすることがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“ON”のとき使えます。

●運転席ウィンドーの開閉

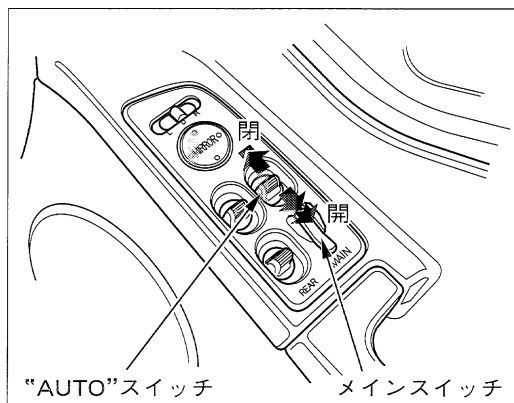
パワーウィンドーのメインスイッチが“ON”でも“OFF”でも作動します。

“AUTO”(自動)スイッチを軽く押すと、押している間のみウィンドーは作動します。

“AUTO”スイッチを強く押すと、手を離してもウィンドーは自動で全開または全閉されます。

自動開閉中にウィンドーを停止させるには、ウィンドーの作動方向とは逆へ瞬間的にスイッチを操作します。

押し続けると逆方向にウィンドーが作動します。



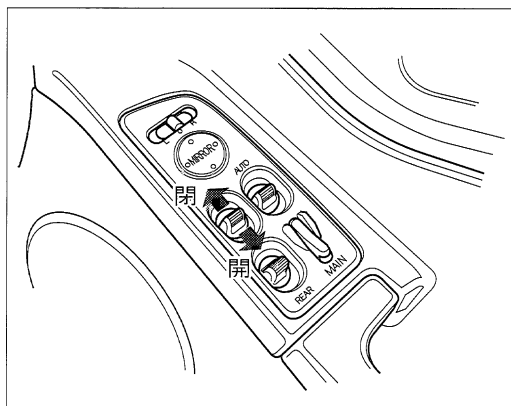
●助手席ウィンドーの開閉

運転席ドアスイッチまたは助手席ドアに取り付けられているスイッチで操作します。

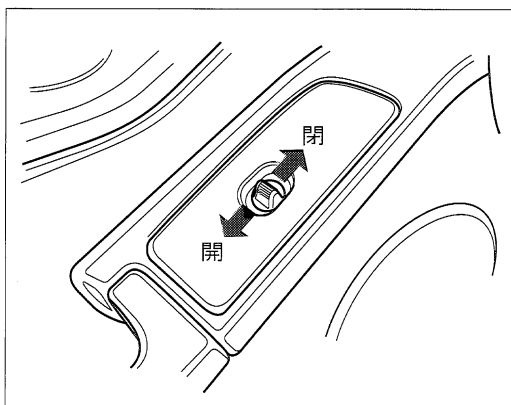
助手席ドアウィンドーを開閉するときは、メインスイッチを“ON”にしないと作動しません。

スイッチを操作している間ウィンドーが作動します。

運転席ドアスイッチ



助手席ドアスイッチ

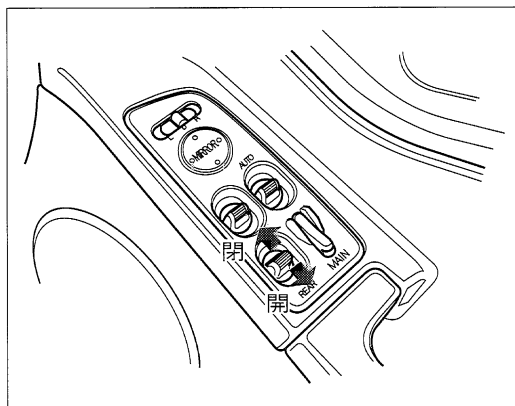


●後部ウィンドーの開閉

運転席ドアスイッチで操作します。

後部ウィンドーを開閉するときは、メインスイッチを“ON”にしないと作動しません。

スイッチを操作している間ウィンドーが作動します。



⚠警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。

ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。

特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 後部ウィンドーから荷物を飛び出して載せるようなことはしないでください。万一の場合、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

📖知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

●トランストップ装備車

ルーフの開閉操作を行っているときは、パワーウィンドーは動かさせません。

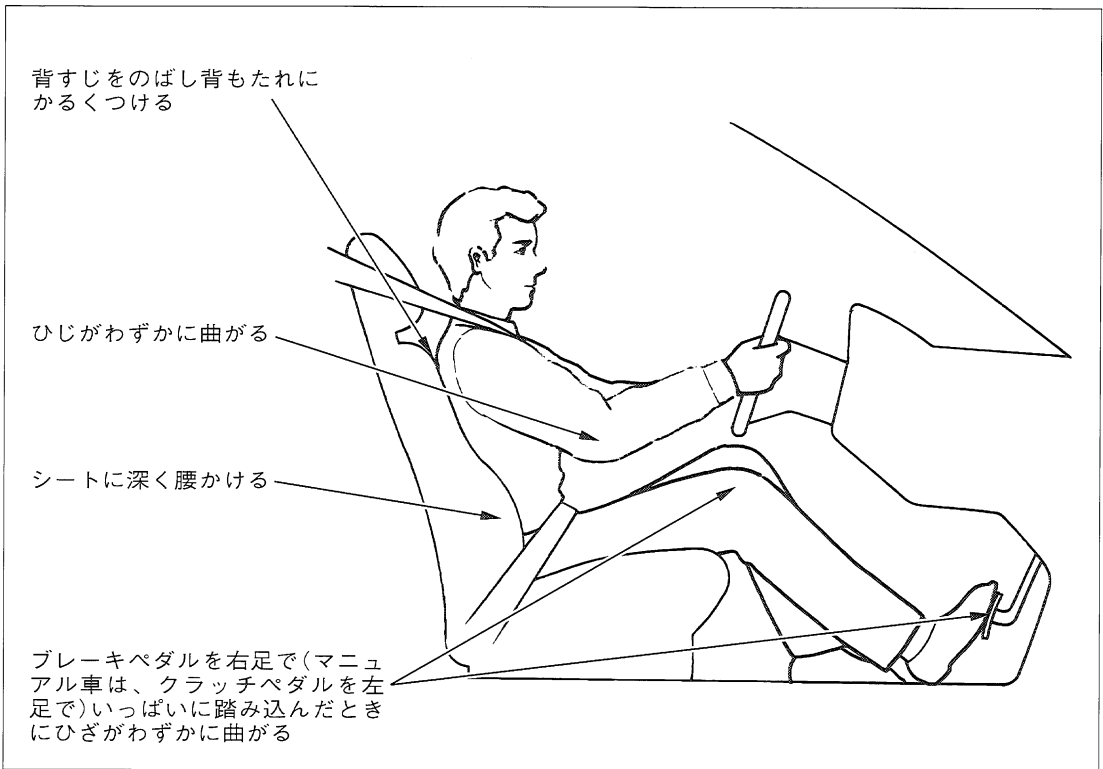
各部の調節

シート

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

●正しい運転姿勢

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



⚠ 警告

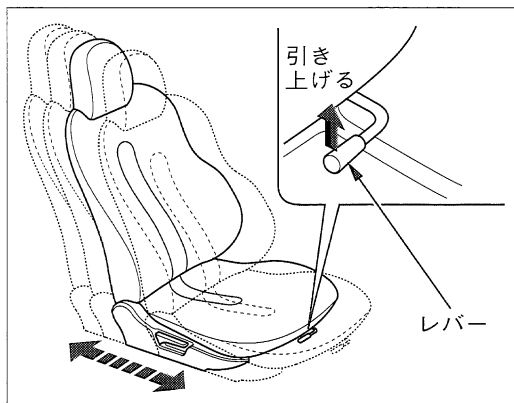
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。衝突したときなどに、シートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、固定されていることを確認してください。

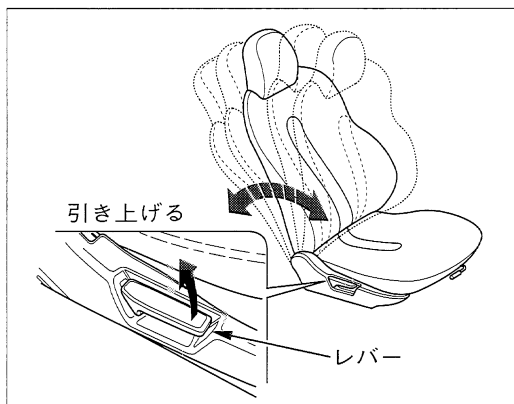
●前後位置の調節

レバーを引き上げながら、前後にシートを動かして調節します。



●背もたれの調節

レバーを引き上げながら、背もたれの角度を調節します。



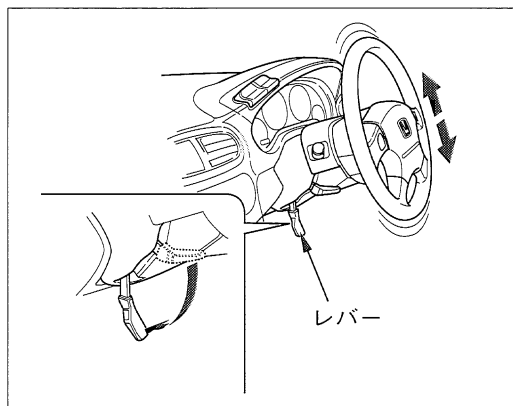
⚠注意

- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。

チルトステアリング (上下調節式ハンドル)

ハンドルコラムの左にあるレバーを押し下げます。レバーを押し下げている間、ハンドルの高さを変えることができます。

ハンドルを適切な高さにしたら、そのままハンドルを押さえながら、レバーを元の位置まで確実に引き上げ、ハンドル高さを固定します。



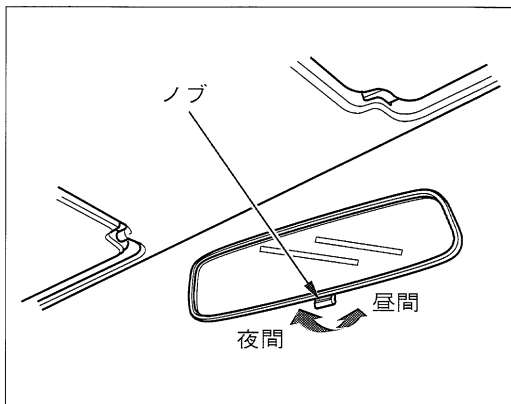
⚠注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

バックミラー(後写鏡)

●ルームミラー(防眩式室内後写鏡)

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにノブを夜間の位置に切り換えるとライトの反射が弱くなります。



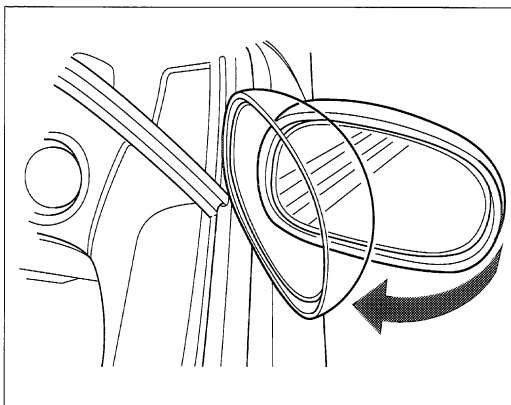
角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

●ドアミラー

ドアミラー装備車

格納

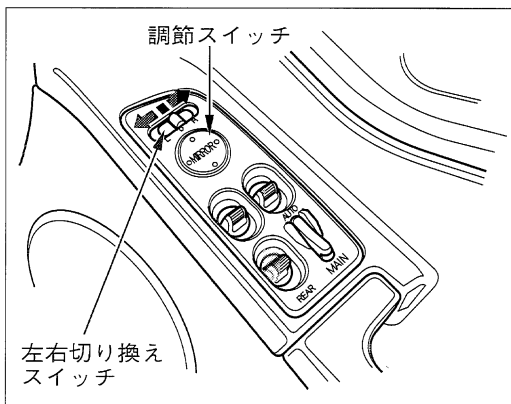
ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときなどに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。



角度調節

エンジンスイッチが“ON”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。



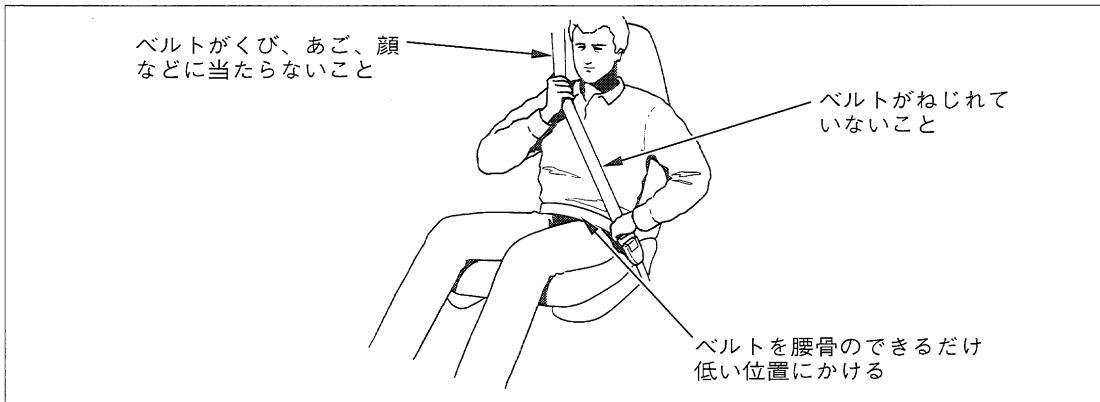
直接手でミラーを動かして角度を調節することもできます。

知識

- ミラーを倒したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。法律でも義務づけられています。



⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
衝突したときなどに、シートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。

⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。
ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたのベルトの着用は、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師にご相談ください。

●三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

シートベルト警告灯、ブザー

エンジンスイッチを“ON”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。運転席シートベルトを着用しないでエンジンスイッチを“ON”にすると、ブザーが約6秒間鳴ります。

●お子さまを乗せるときは

お子さまにもシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートのご使用をおすすめします。

📖 知識

- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。ご使用に際してはシートメーカーの取扱説明書を十分ご確認ください。

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。
- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

- ①正しい運転姿勢でシートにすわります。
(→64ページ)
- ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。

- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させます。



- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



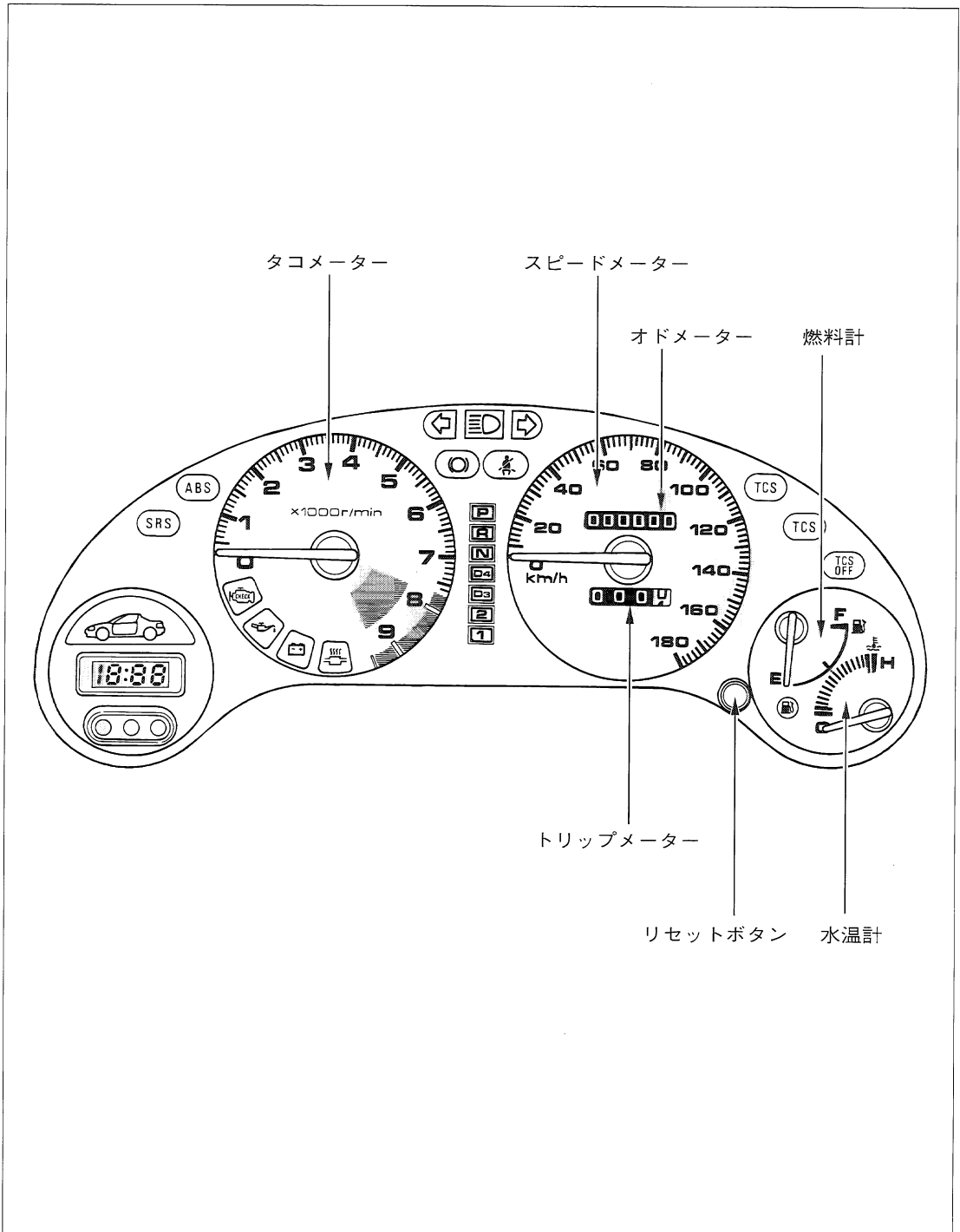
2

車を運転するときに

メーター	72
表示灯	74
警告灯	76
セーフティインジケータ	79-80
警告灯の電球切れの点検	80
スイッチの使い方	
エンジンスイッチ	81
ライトスイッチ	82
方向指示器スイッチ	83
非常点滅表示灯スイッチ	84
アクセサリライトスイッチ	84
ワイパー/ウォッシャースイッチ	85
ホーンスイッチ	86
エンジンのかけかた	
エンジンをかける前に	87
エンジンのかけかた	88
運転のしかた	
チェンジレバーの操作	89
セレクトレバーの操作	91
オートマチック車の運転のしかた	94

メーター

イラストは代表例を掲載していますので、タイプによって装備は異なります。



スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ	限界回転数(rpm)	
VXi	7,200	
SiR	MT	8,200
	AT	7,700

MT: マニュアル車

AT: オートマチック車

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

区間距離を知りたいときは、リセットボタンを押して“0”に戻して使います。

燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく常に燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →61ページ

知識

- 燃料補給後、エンジンスイッチを“ON”にしてから正しい量を示すまで、しばらく時間がかかります。

水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は目盛の赤いマークの左側をさすのが正常です。

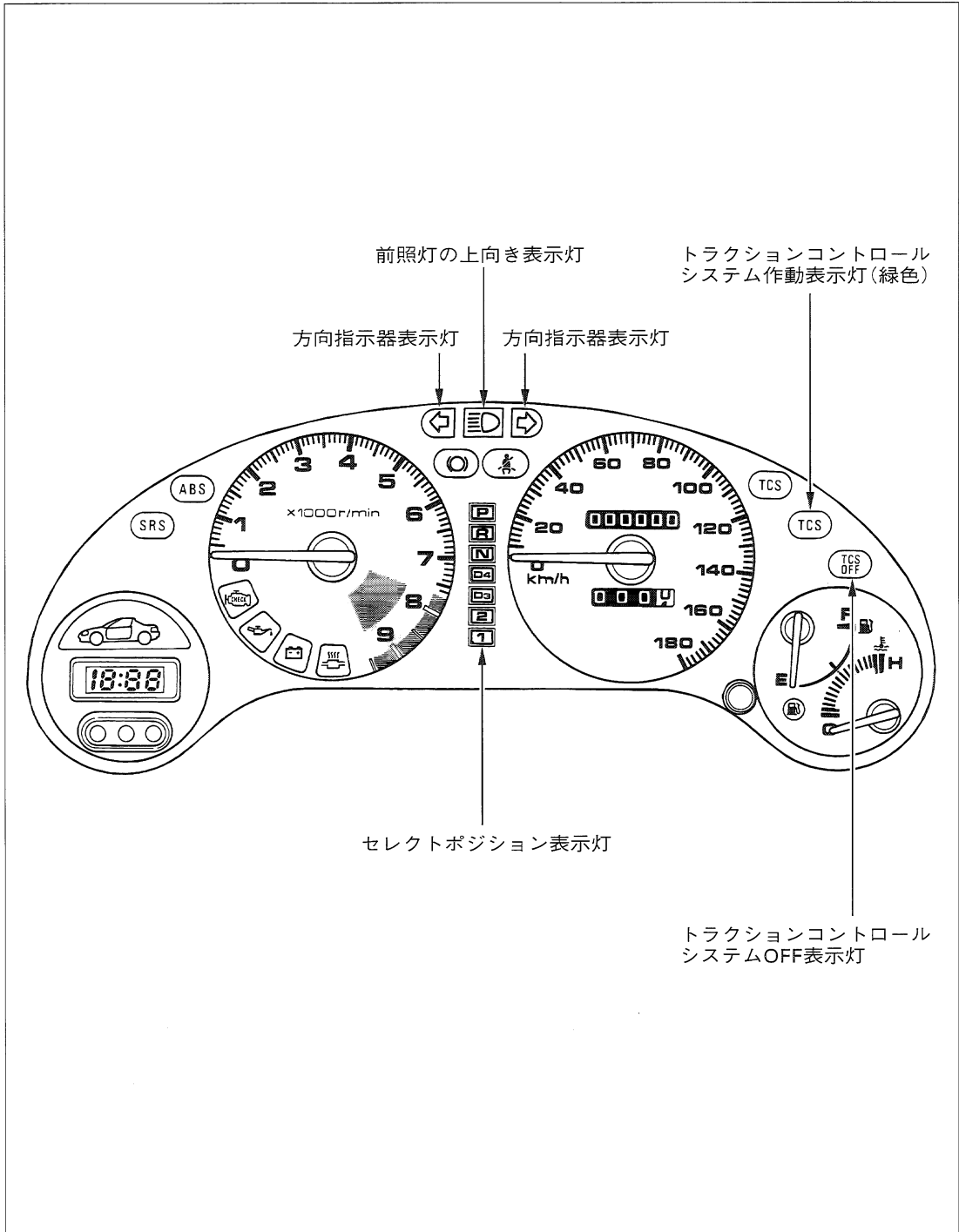
アドバイス

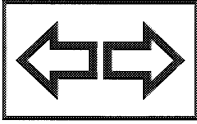
- 針が赤いマークに入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。
- そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。
- オーバーヒートしたとき

→152ページ

表示灯

イラストは代表例を掲載していますので、タイプによって装備は異なります。





方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅が異常になります。

電球(バルブ)の交換 →156ページ

電球(バルブ)のワット数 →184ページ

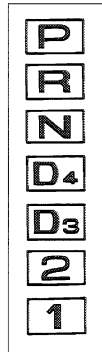


前照灯の上向き(ハイビーム)表示灯

前照灯が上向きのとくに点灯します。

セレクトポジション表示灯

オートマチック車



使用中のセレクトレバー位置が表示されます。



(緑色)

トラクションコントロールシステム(TCS)作動表示灯

TCS装備車

→105ページ



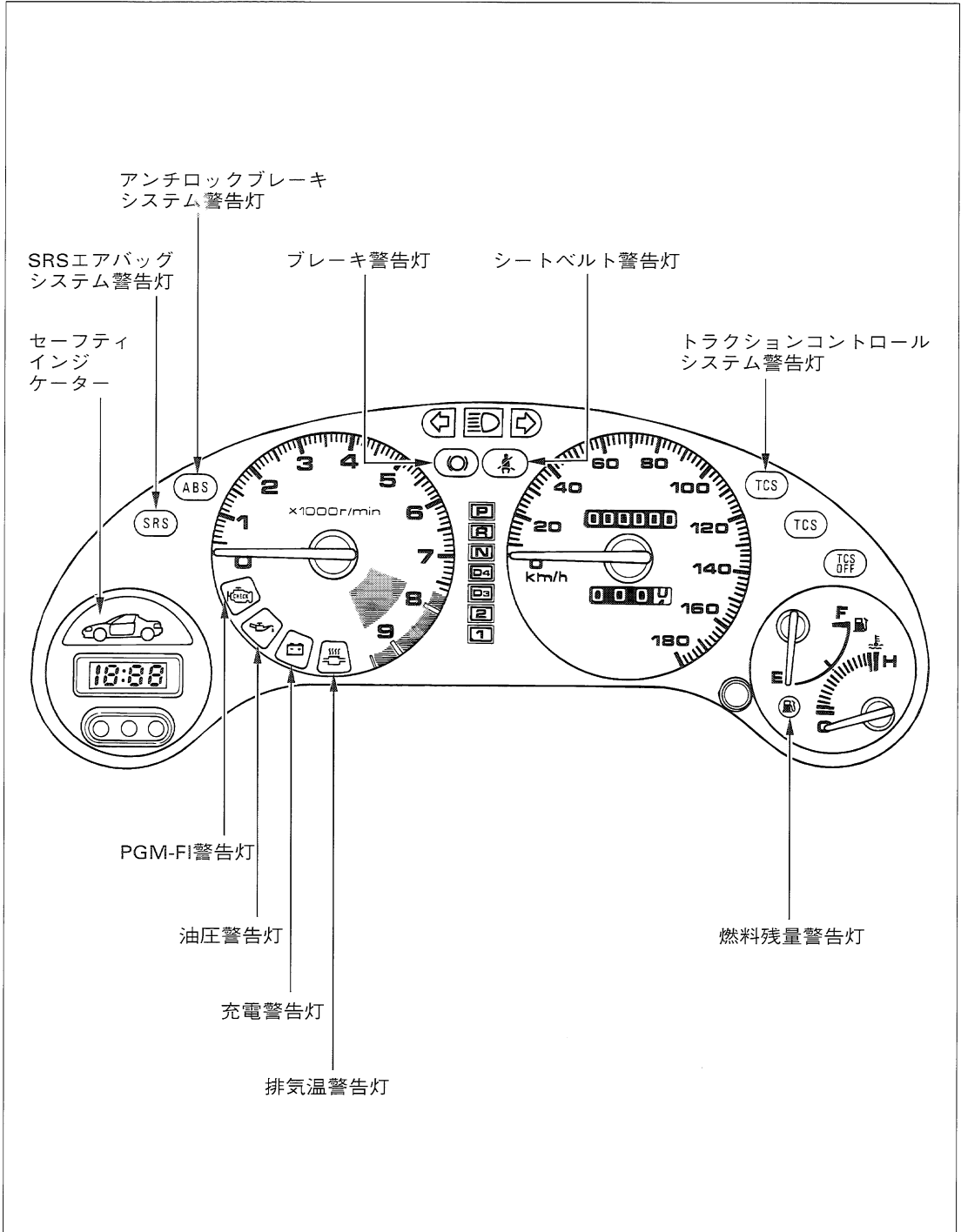
トラクションコントロールシステム(TCS)OFF表示灯

TCS装備車

→106ページ

警告灯

イラストは代表例を掲載していますので、タイプによって装備は異なります。



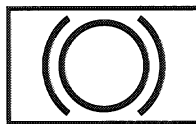


油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

アドバイス

- エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。
エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。
- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

駐車ブレーキレバーが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。

アドバイス

- 走行中点灯したときや駐車ブレーキを解除しても消灯しないときは、ブレーキ液量を点検し、下限より下がっていたらただちにホンダベルノ店へご連絡ください。
- ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、駐車ブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。

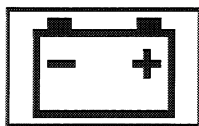


PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

アドバイス

- 運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

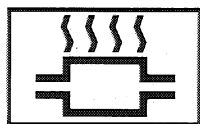


充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。
(排気温警告灯も同時に点灯します。)

アドバイス

- 運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチを“OFF”にして、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



排気温警告灯

触媒装置の温度が異常に高いときに点灯します。

知識

- 充電警告灯が点灯すると排気温警告灯も同時に点灯します。この場合は充電系統の異常を知らせています。

走行中に点灯したときは、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。

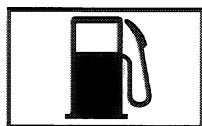
アドバイス

- 警告灯が点灯した状態で運転は続けしないでください。触媒装置を焼損することがあります。
- 走行中に一度点灯した警告灯は、触媒装置の温度が下がっても修理するまで消灯しません。
触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのホンダベルノ店まで走行し点検を受けてください。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“ON”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。運転席シートベルトを着用しないでエンジンスイッチを“ON”にすると、ブザーが約6秒間鳴ります。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が6.5ℓ前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →61ページ

SRS

SRSエアバッグシステム警告灯

SRSエアバッグシステム装備車

→104ページ

TCS

(オレンジ色)

トラクションコントロール
システム(TCS)警告灯

TCS装備車

→107ページ

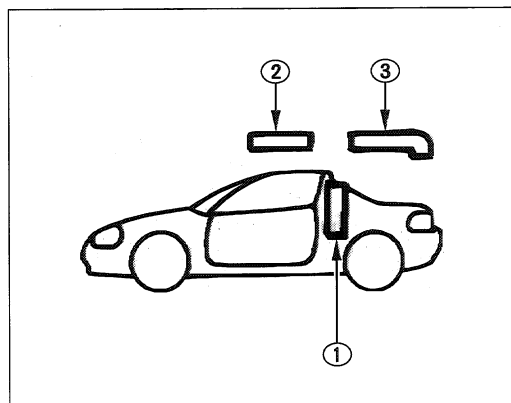
ABSアンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯

ABS装備車

→108ページ

セーフティインジケータ

トランストップ装備車



①後部ウィンドー開閉表示灯

後部ウィンドーが開いているときに点灯します。

🎓 知識

- この表示灯が点灯しているときは、ルーフおよびトランクの開閉はできません。

②ルーフ開閉警告灯

ルーフサイドロックが完全にロックされていないときに点灯し、警告音(ピーピー音)が鳴ります。

③トランク開閉警告灯

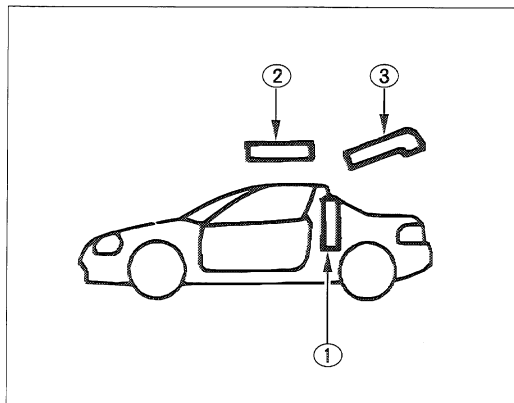
トランクが完全に閉まっていないときに点灯し、警告音(ピーピー音)が鳴ります。

🚗 アドバイス

- 警告灯が点滅しているときは、トランストップの故障のおそれがありますのでホンダベルノ店で点検を受けてください。

セーフティインジケータ

マニュアルルーフ装備車



①後部ウィンドー開閉表示灯

後部ウィンドーが開いているときに点灯します。

②ルーフ開閉警告灯

ルーフサイドロックが完全にロックされていないときに点灯します。

ルーフサイドロック戻し忘れ警告

→51ページ

③トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。

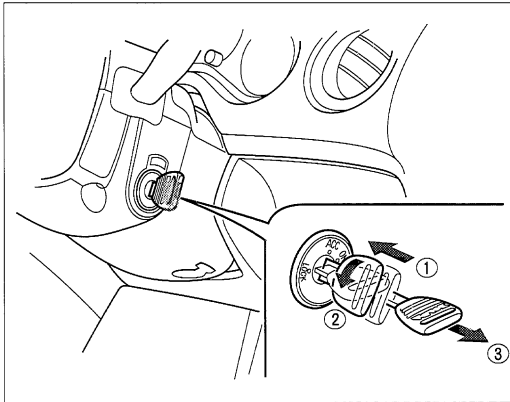
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“ON”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(駐車ブレーキレバーを完全に戻すと消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- 排気温警告灯
(エンジン始動後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約6秒後消灯)
- トラクションコントロールシステム(TCS)警告灯
(エンジン始動後消灯)
- アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯
(エンジン始動後消灯)
- セーフティインジケータ内の警告灯
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



“LOCK”

キーを抜き差しする位置です。

“ACC”でキーを押し込んで“LOCK”まで回してキーを抜けば、ハンドルは固定されます。

⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。
- マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“LOCK”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

“ACC”

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

🎓 知識

- “LOCK”から“ACC”にキーが回らないときは、ハンドルを左右に動かしながらキーを回せば容易に回ります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“LOCK”にしてください。

“ON”

運転するときの位置です。

🎓 知識

- エンジンを止めた状態で“ON”のまま、長時間放置しないでください。バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。

“START”

エンジン始動位置です。

始動したら、キーから手を離してください。自動的に“ON”に戻ります。

● キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

● キーインターロックについて

オートマチック車

キーを抜くときは、セレクトレバーを④に入れます。

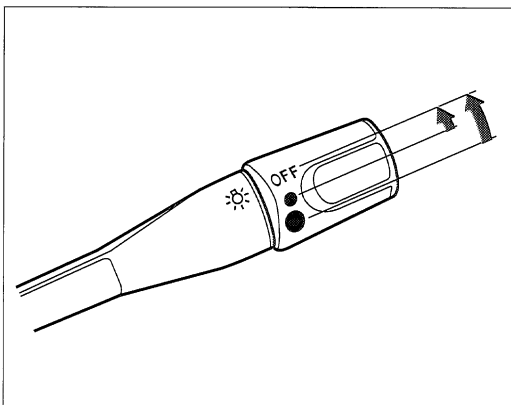
🎓 知識

- セレクトレバーが④以外の場合は、エンジンスイッチが“LOCK”まで回らないので、キーを抜くことができません。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



ライト名 スイッチ位置	前照灯	計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯
OFF	—	—
●	—	点灯
●	点灯	点灯

🎓 知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

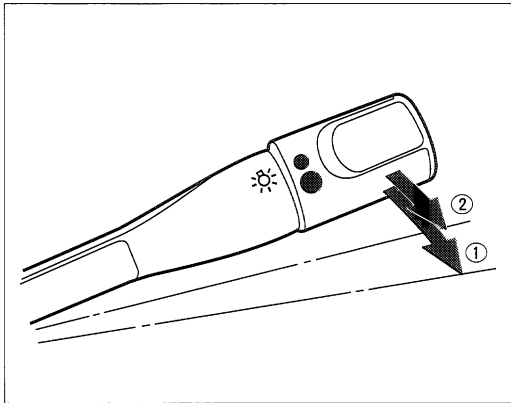
エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

●前照灯の上向き(ハイビーム)と
下向き(ロービーム)の切り換え

レバーを①の位置まで引くと上向き下向きの切り換えができます。遠くまで照らしたいとき上向きにします。表示灯が点灯して上向きであることを知らせます。

前照灯の上向き(ハイビーム)表示灯

→75ページ



🎓 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図

レバーを軽く②の位置まで引いたり離したりすると、前照灯の上向きが点滅します。先行車に合図を送るときなどに使います。

ライトスイッチの位置に関係なく使えます。

🎓 知識

- 前照灯が上向き(ハイビーム)のときは作動しません。

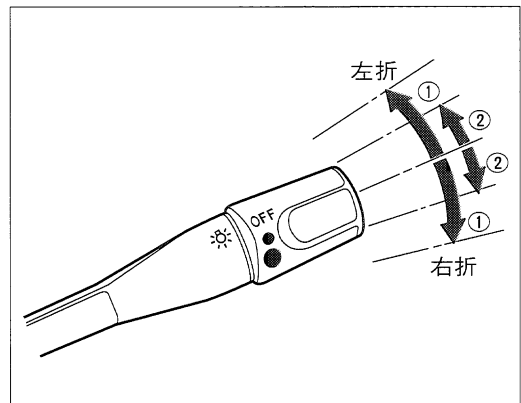
方向指示器スイッチ

エンジンスイッチが“ON”のとき使えます。

ふだんは①の位置で使います。

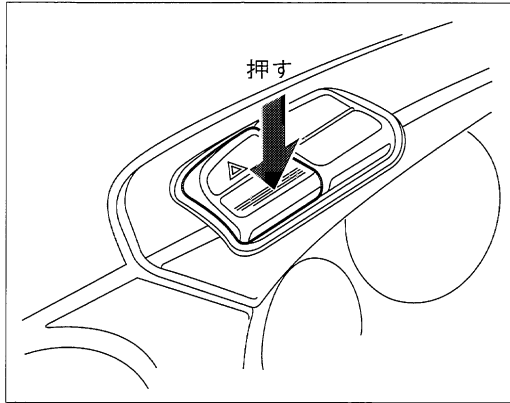
この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。

車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



非常点滅表示灯スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。
故障でやむをえず路上駐車するとき使います。



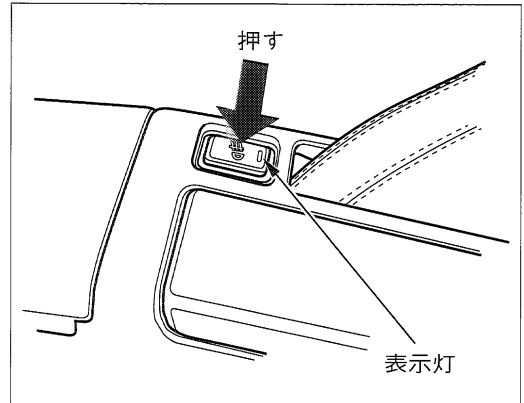
知識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

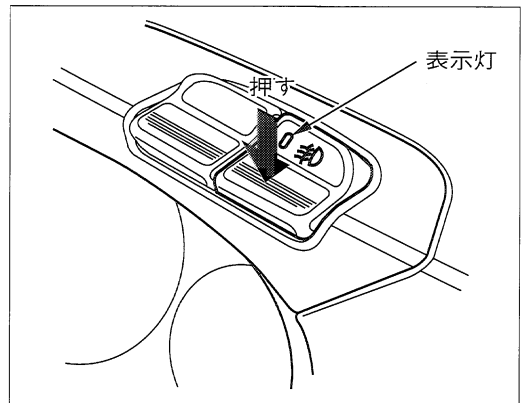
アクセサリライトスイッチ

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを押すとアクセサリライトが点灯します。同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと消灯します。

トランストップ装備車



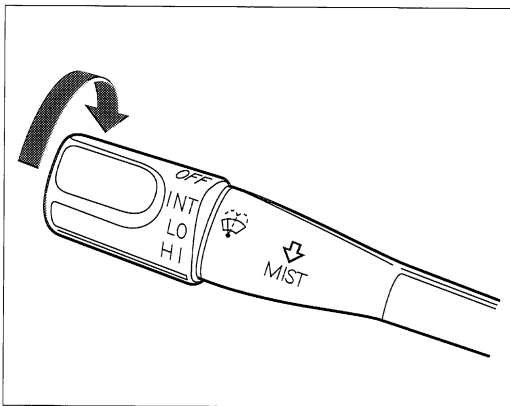
マニュアルルーフ装備車



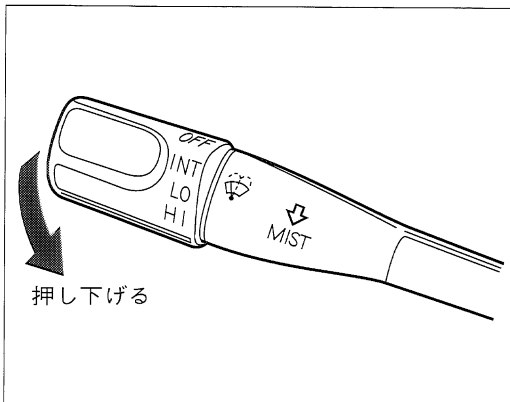
ワイパー／ウォッシャー スイッチ

エンジンスイッチが“ON”のとき使えます。

●ワイパースイッチ



- OFF……………停止
- INT(間欠) ……雨量の少ないとき
- LO(低速) ……普通雨量のとき
- HI(高速) ……雨量の多いとき

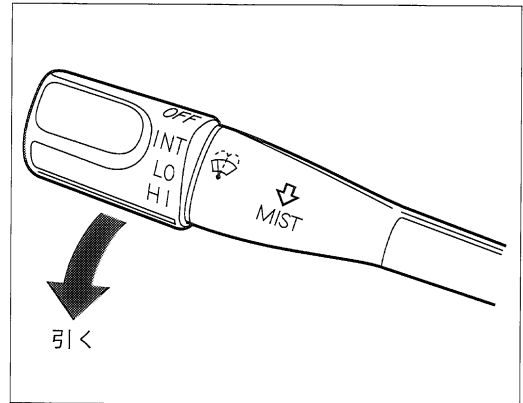


* MIST(ミスト) ……レバーを押し下げている間、HI(高速)で作動します。

* MISTとは、英語で“もや、霧”という意味です。

●ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。



知識

- ウォッシャー液を噴射してからワイパーを動かしてください。空ぶきはガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャー液がないままで動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターで前面ガラスを暖めてください。凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →116、123ページ

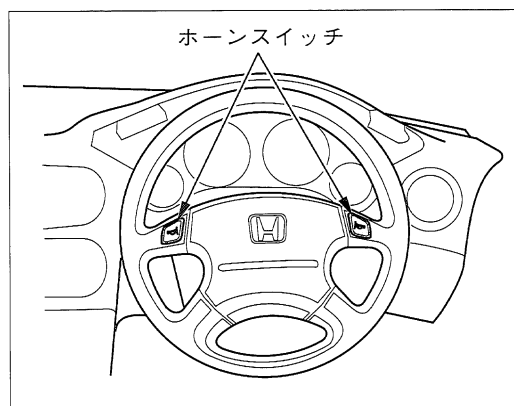
- 寒冷時ウォッシャー液を噴射するときは吹きつけられた液が凍結しないように先にヒーターを使って前面ガラスを暖めてください。

デフロスター →116、123ページ

ホーンスイッチ

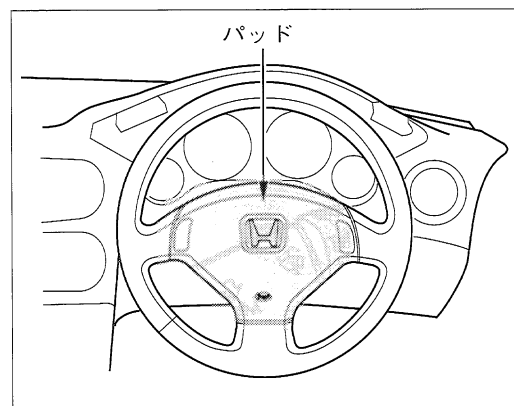
SRSエアバッグシステム装備車

ハンドルにあるスイッチを押すとホーンが鳴ります。



SRSエアバッグシステム非装備車

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。

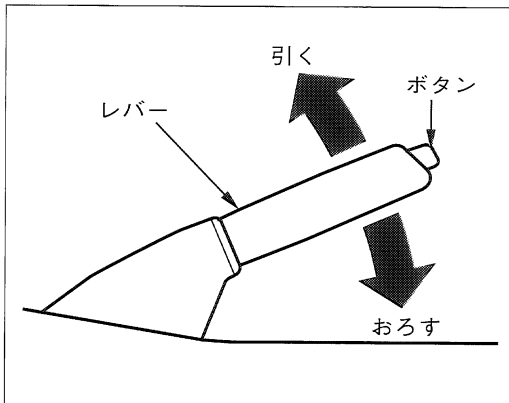


エンジンのかけかた

エンジンをかける前に

●駐車ブレーキ

ボタンを押さずにレバーをいっばいに引くと、後輪ブレーキがききます。戻すときはレバーを軽く引き上げながら、レバー先端のボタンを押し込み、そのまま下に完全におろします。



⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効が悪くなるおそれがあります。

🎓知識

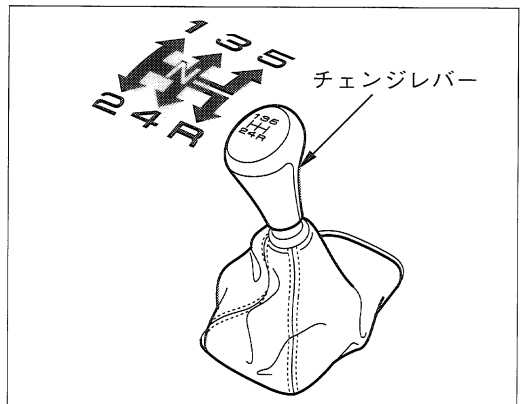
- 駐車するときは、車が動き出さないように必ず駐車ブレーキをかけてください。
- 寒冷時の駐車ブレーキの取り扱い
→179ページ

●チェンジレバー／セレクトレバー

マニュアル車

駐車ブレーキをかけ、チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

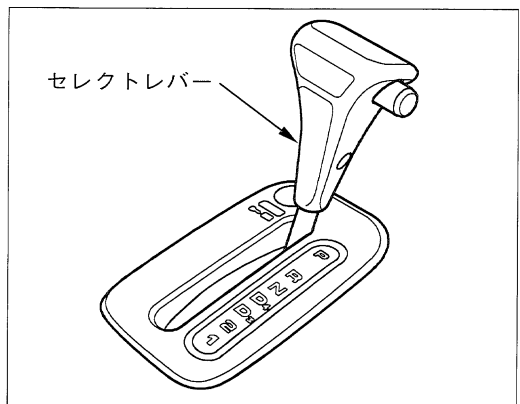
チェンジレバーの操作 →89ページ



オートマチック車

駐車ブレーキをかけ、セレクトレバーが④の位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →91ページ



エンジンのかけかた

警告

- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。
車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

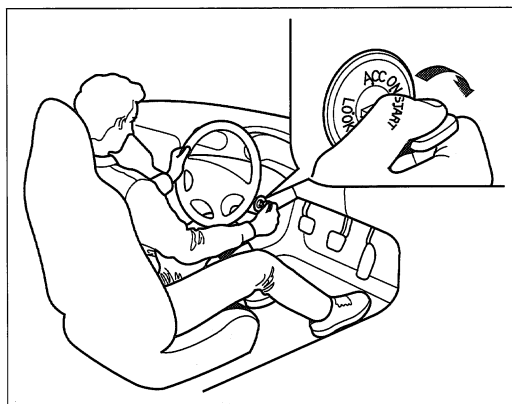
アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダベルノ店で点検を受けてください。

知識

- 消費電力の大きいライト類、ヒーター・エアコンのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- 寒い日や数日以上運転しなかったときは、エンジン保護のため必ず暖機が完了して(水温計の針が動き出して)から走行してください。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。
15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“ACC”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。

- ① アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



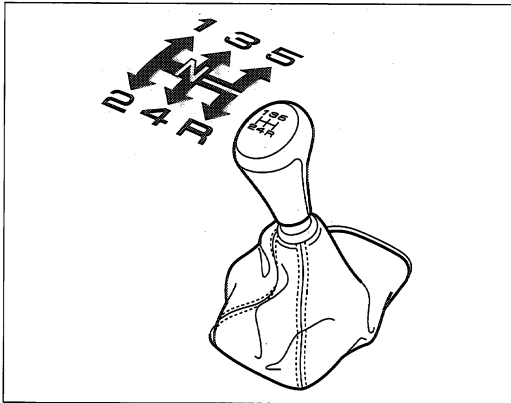
- ② エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- ③ エンジン始動後は、PGM-FIの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

運転のしかた

チェンジレバーの操作

マニュアル車

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

Rに入れるとき

誤操作を防ぐために、5からRへは直接入れられません。一度Nへ戻してからRに入れてください。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバー位置	速度範囲
1	0 ~ 50km/h
2	15 ~ 90km/h
3	20 ~ 130km/h
4	35km/h ~
5	40km/h ~

注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ	限界回転数(rpm)
VXi	7,200
SiR	8,200

知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジン保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作

オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

P パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“LOCK”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R リバース

車を後退(バック)させる位置。
ブザーが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためNで行ってください。)

D₄ ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)

D₃

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

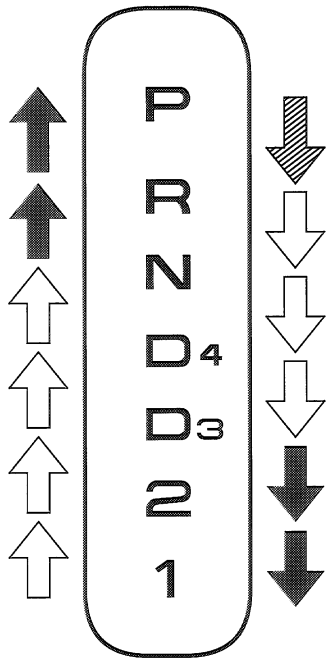
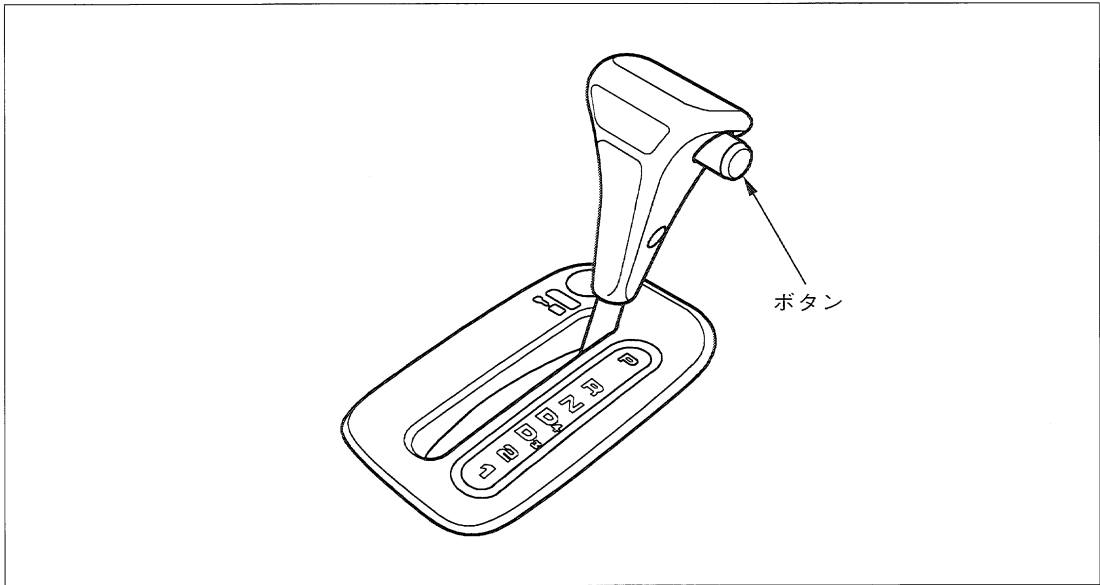
2 セカンド

エンジンプレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままに変速されません。)

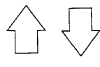
1 ロー

強力なエンジンプレーキが必要なときに使う位置。
(1速のままに変速されません。)

●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

🏠 知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- のときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”のときは、ブレーキペダルを踏んでもから他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反してに入れてしまうおそれがあります。

↑↓の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速度範囲	変速範囲
D ₄	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 速
D ₃	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 速
2	0 ～ 100km/h	2 速固定
1	0 ～ 60km/h	1 速固定*

*:急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため50km/h以上でDへ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓 知識

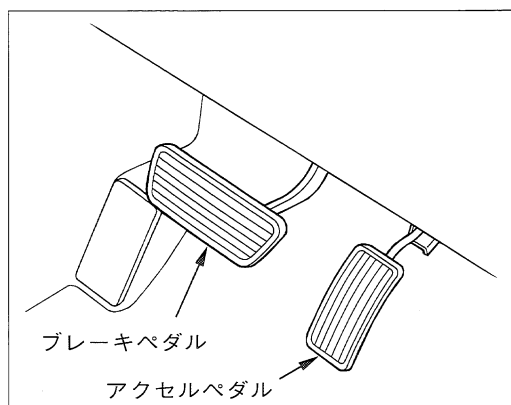
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジン保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

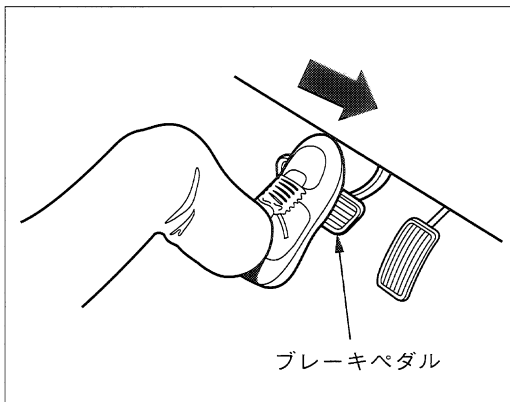
エンジン始動

- ① 駐車ブレーキがかかっていることを確認。
- ② セレクトレバーがPに入っていることを確認。

知識

- Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

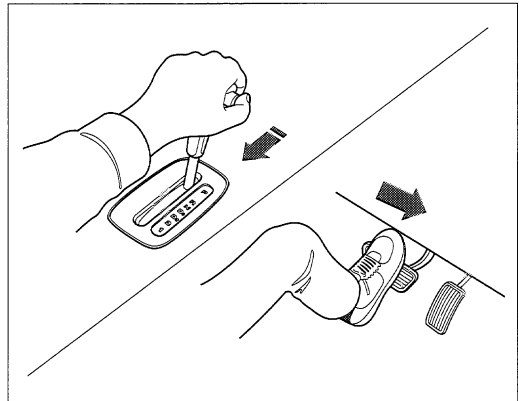


知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ① 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はD(またはS)、後退はRに入れる。



注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因となります。

知識

- セレクトレバーをP/N以外に入れると、クリープ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- ②レバーの位置を目で再確認。
- ③駐車ブレーキをもどす。
- ④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→77ページ)
- ⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

🎓 知識

- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。

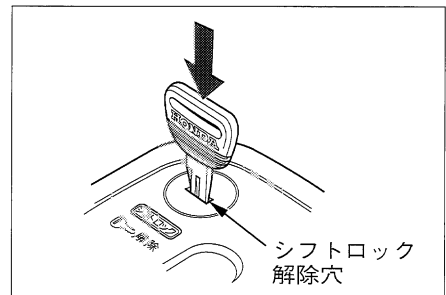
急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・駐車ブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・駐車ブレーキをもどして発進。

🎓 知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでもPから他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



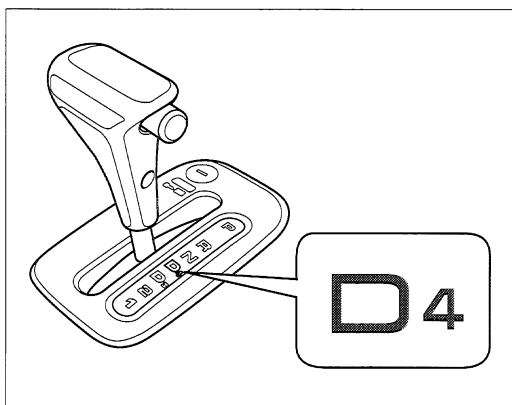
走行

走行中はセレクトレバーを④にしないでください。

知識

- ④にするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため、思わぬ事故の原因になります。また④にしても燃費の差はありません。

通常走行



セレクトレバーを④にして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

注意

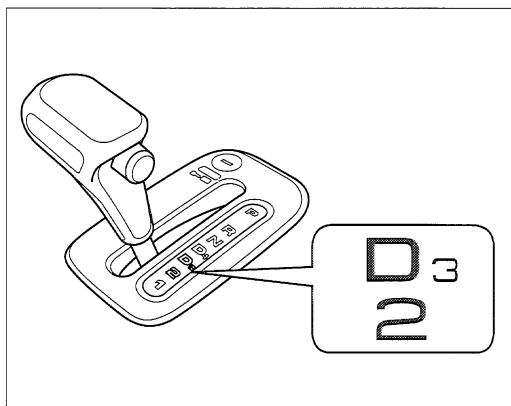
- 高速走行中に②または①に入れしないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーを④または②にしておく、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。



下り坂走行


下り坂を④のまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーを④または②にします。

さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、①にします。


注意

- フットブレーキを使いすぎるとブレーキが過熱して、ききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。


停車


- ① のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じて駐車ブレーキをかける。

アドバイス


- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で  以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

知識


- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、駐車ブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが  以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。
- セレクトレバーが中立の位置にあってもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを  に入れる。

注意

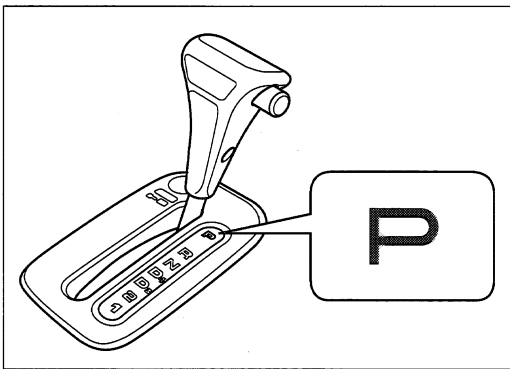
- 停車中、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが  以外のおき、思わぬ急発進の原因になります。

知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが  にあることを確認してください。

駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、駐車ブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリーブ現象で車がひとりに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

ほかに気をつけたいこと

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

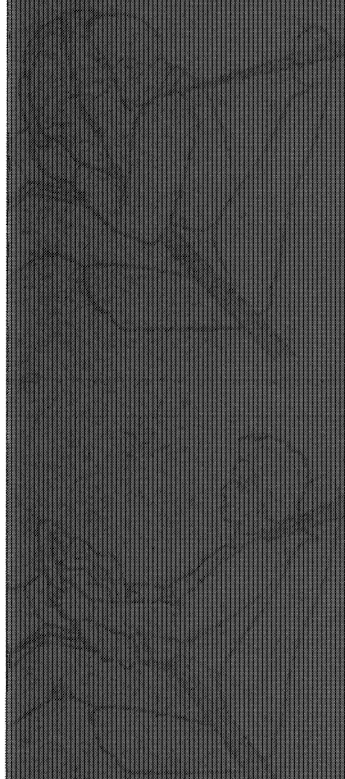
車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

3

安全装備

SRSエアバッグシステム	102
トラクションコントロールシステム (TCS)	105
アンチロックブレーキシステム (ABS) ...	107
ビスカスリミテッドスリップデフ (ビスカスLSD)	109
その他の安全装備	109



SRSエアバッグシステム (運転席用シートベルト 補助乗員保護装置) 注文装備

SRSエアバッグシステムは、エンジンスイッチが“ON”のとき、前方向からの衝突によりSRSユニット内の2個のセンサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり怪我をするような場合)を感知するとシステムが作動し、エアバッグが膨らんで運転者の顔面への衝撃を緩和する構造になっております。

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。

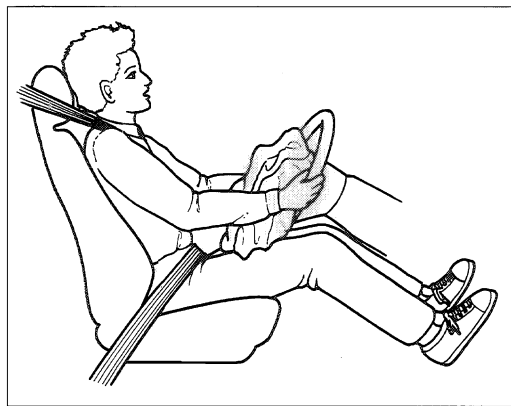
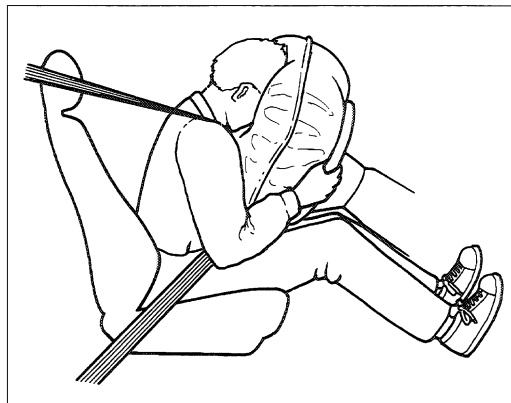
SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。

*SRS：サブリメンタルレストRAINTシステム
(Supplemental Restraint System)の略で
補助拘束装置の意味

⚠ 警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトをしていないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

エアバッグの効果を十分に発揮させるため、正しい運転姿勢になるようにシートを調節してください。



次のような場合、エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がありません。

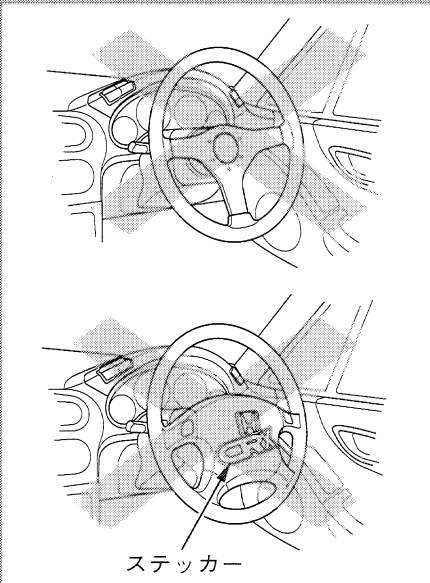
- ・横方向、後部からの衝突
- ・転覆
- ・シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突

また、次のような衝突の場合、システムが正常であっても作動しないことがあります。

- ・出会い頭、電柱、立木などへの衝突
- ・トラックなどへの潜り込み
- ・部分的な衝突や斜め方向からの衝突

⚠ 注意

- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



ステッカー

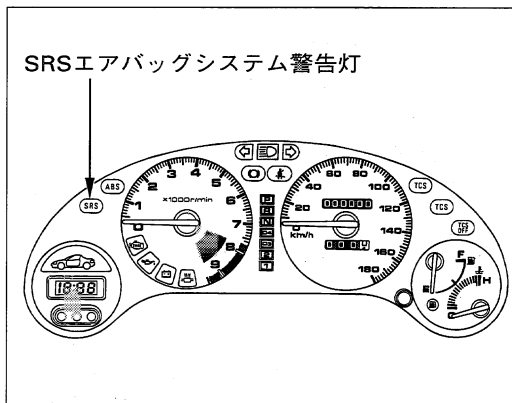
- エアバッグの取りはずし、分解などはしないでください。不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

📖 知識

- 膨らんだエアバッグはすぐにしぼみません。視界を妨げません。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。
- ステアリングパッド内にSRSユニットを内蔵しているため、ハンドルに衝撃を与えないでください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダベルノ店で交換してください。
- ハンドルまわりの修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“ON”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“ON”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
- 必要なときにエアバッグが膨らまないおそれがあります。

●定期点検について

SRSエアバッグシステムは、性能を維持するため、定期的に点検が必要です。点検は、お車を最初に登録してから10年後に1回目を、その後は5年ごとに受けてください。

トラクションコントロールシステム(TCS)

タイプ別注文装備

トラクションコントロールシステムは、滑りやすい道などでの駆動輪(前輪)の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする装置です。

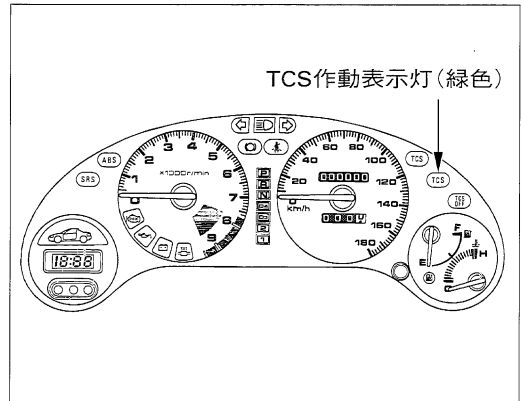
この装置は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。

知識

- TCSには、積極的にブレーキをかける機能はありません。
TCS装備車であってもカーブ等の手前では十分に速度を落としてください。
- TCS装備車であっても雪道、凍結路を走るときは、タイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着し、ひかえめな速度で運転してください。

●トラクションコントロールシステム(TCS)作動表示灯

メーター内に組み込まれており、TCSが作動中に点滅します。



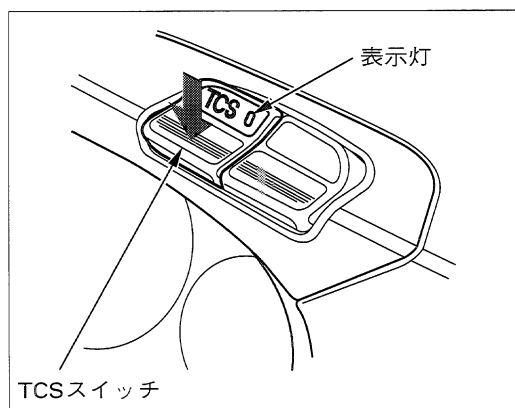
エンジンスイッチを“ON”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

知識

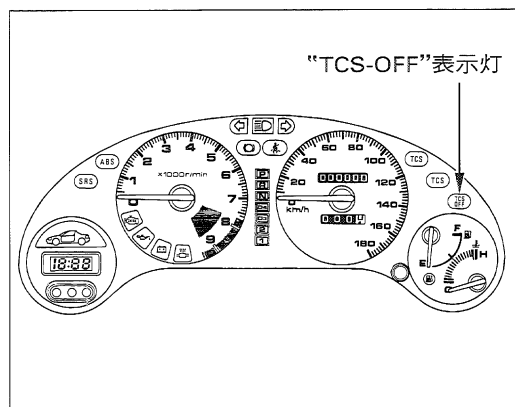
- TCSが作動していても、これを過信して無理な運転はしないでください。

●トラクションコントロールシステム(TCS)スイッチ／OFF表示灯

エンジン始動後、スイッチを押すとTCSが“OFF”になり、スイッチ内の表示灯は消灯します。



同時にメーター内に組み込まれた“TCS-OFF”表示灯が点灯します。



もう一度押すと、TCSが“ON”になり、スイッチ内の表示灯は点灯します。

同時にメーター内の“TCS-OFF”表示灯は消灯します。

スイッチを押すごとに“OFF”↔“ON”をくり返します。

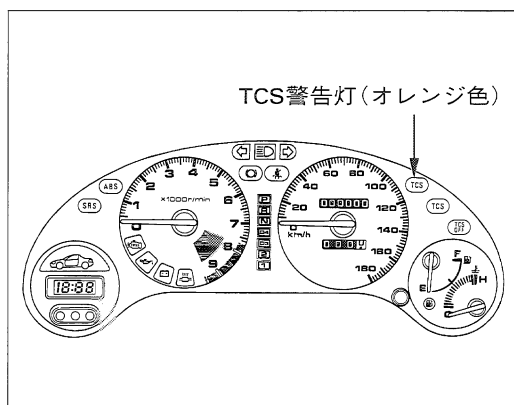
“TCS-OFF”表示灯はエンジンスイッチを“ON”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

知識

- TCSが作動中にはスイッチを操作しても“OFF”にすることはできません。
- エンジン始動時、エンジン冷却水の温度が非常に低い時には自動的に“OFF”になることがあり、メーター内の“TCS-OFF”表示灯が点灯しますが異常ではありません。
この場合、エンジンを暖機している間に自動的に“ON”になります。

●トラクションコントロールシステム(TCS)警告灯

メーター内に組み込まれており、TCSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“ON”にしたとき点灯し、エンジン始動後に消灯するのが正常です。

🚗 アドバイス

- 運転中に点灯した場合はいったん安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
エンジン再始動後、一度点灯し、その後消灯していれば正常です。
消灯しないときや走行中再び点灯するときは、通常走行には支障はありませんが、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

注文装備

アンチロックブレーキシステムは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはアンチロックブレーキシステムが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

📖 知識

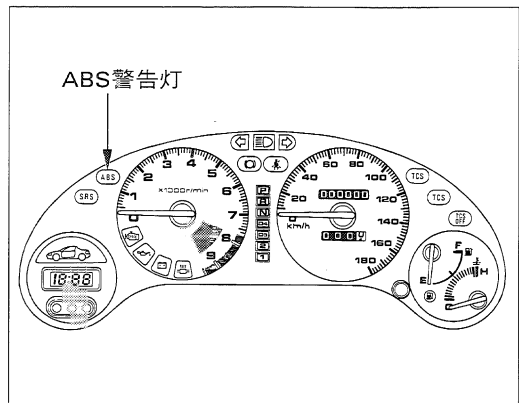
- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。
このような道路条件では速度は控めに
して車間距離を十分にとって運転してください。

知識

- エンジン始動直後、ブレーキペダルに軽いショックを感じるがありますが、これはABSの機能チェックですので異常ではありません。
また、エンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、これはABSポンプの作動音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるため、低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“ON”にしたとき点灯し、エンジン始動後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 運転中に点灯した場合はいったん安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
エンジン再始動後、一度点灯し、その後消灯していれば正常です。
消灯しないときや走行中再び点灯するときでも、通常のブレーキとしての性能は確保されています(ABSとしての作動はしません)が、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。

ビスカスリミテッドスリップデフ(ビスカスLSD) 注文装備

ビスカスLSDは走行条件によって発生する左右駆動輪の回転差に応じて駆動力を最適配分し、駆動力を有効に伝達するための装置です。

アドバイス

- 前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとビスカスLSDに悪影響をあたえます。

知識

- 前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した標準タイヤを前輪に取り付けてください。

その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。

(→21ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●シートベルト未着用警報装置

シートベルトの未着用をランプとブザーで知らせ、ベルトの着用を促します。

(→78ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクブリーザーからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

ドライブを 快適にする装備

ヒーター・エアコン

吹き出し風の調節	113
オートエアコン	114
ヒーター・マニュアル式エアコン	118

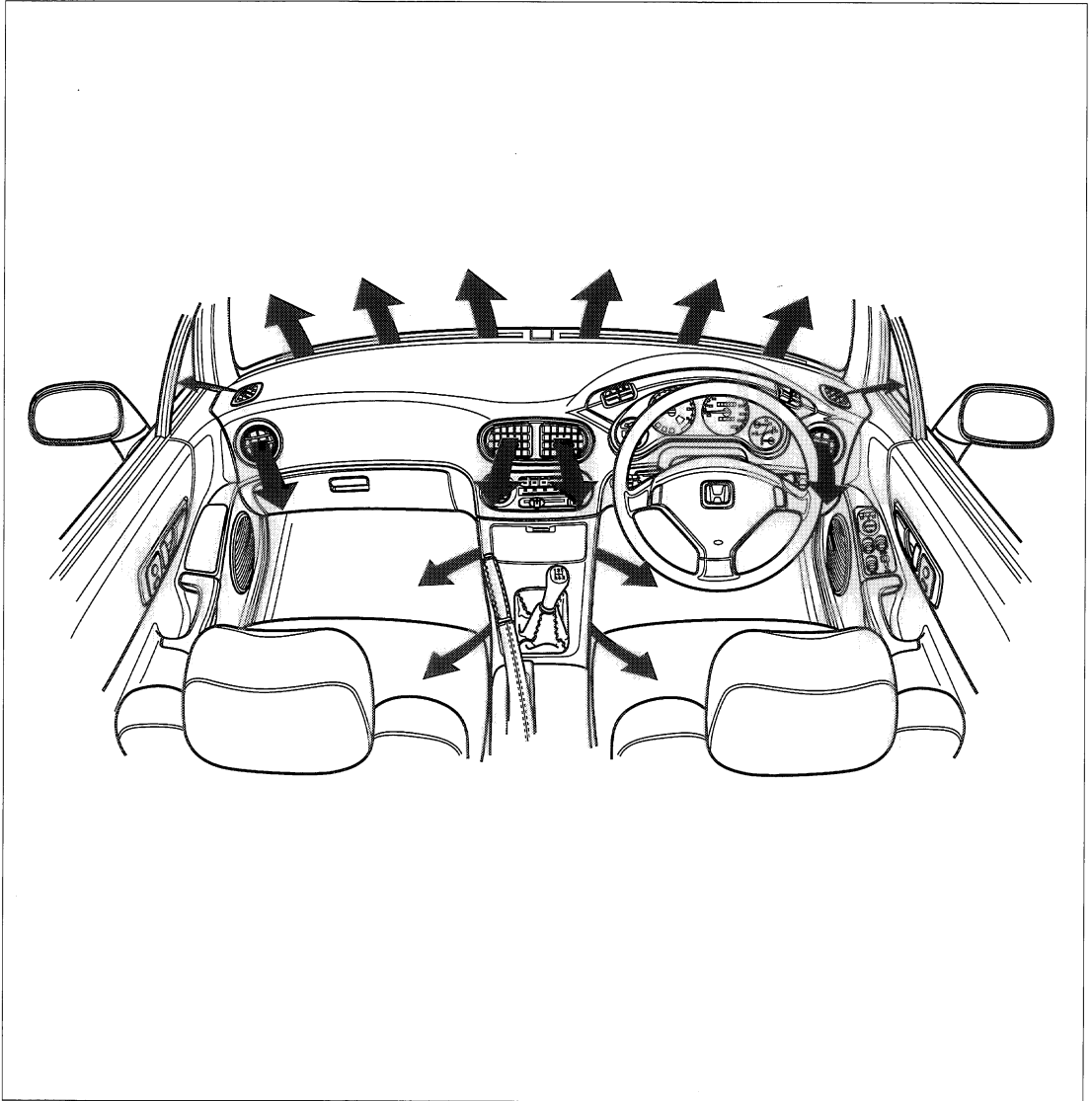
オーディオ

上手な使いかた	126
アンテナ	128

室内装備品

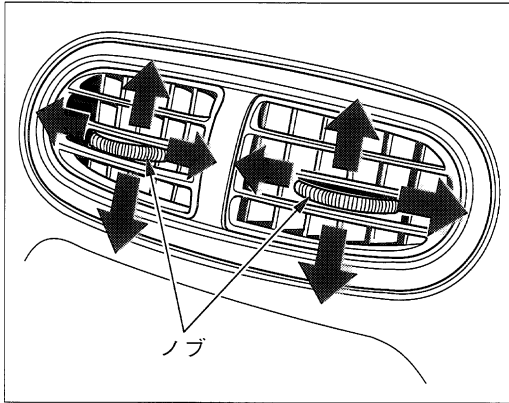
時計	129
室内灯	130
スポットライト	130
シガレットライター	131
灰皿	131
サンバイザー	132
小物入れ	132
カップホルダー	133

ヒーター・エアコン



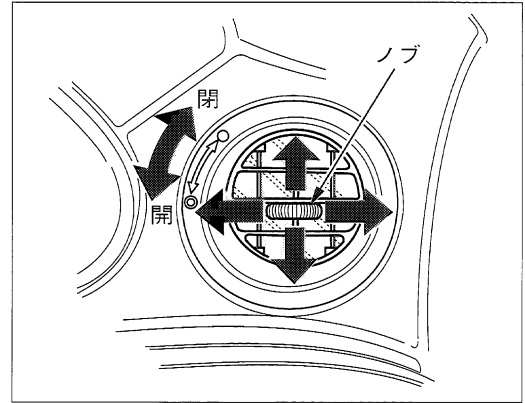
吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。



側面の吹き出し口の開閉は、吹き出し口を回して行います。

送風が必要なときは、“開”のほうに回します。

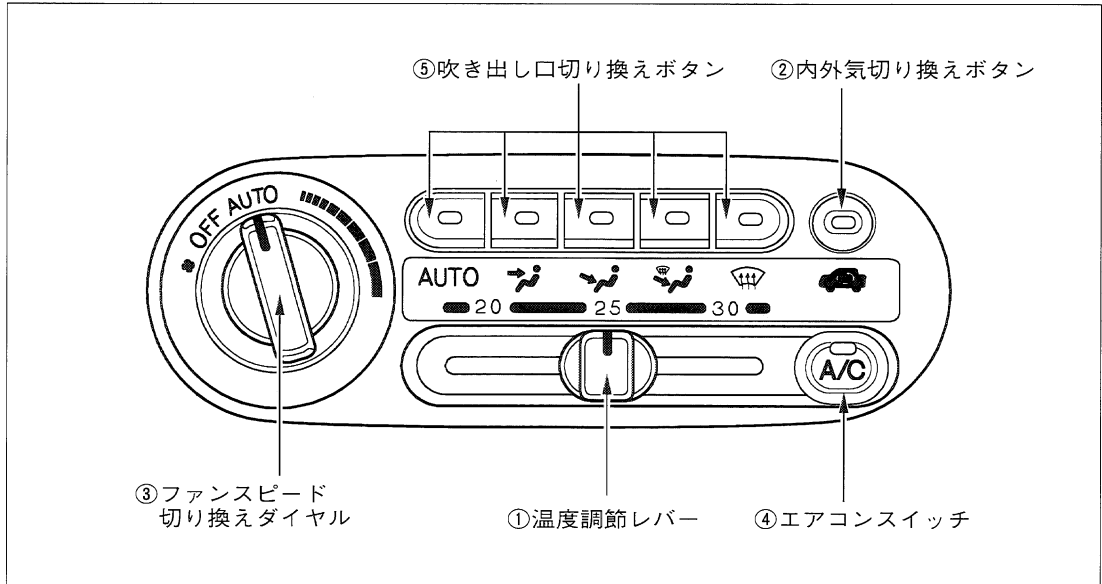


知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

オートエアコン

注文装備



①温度調節レバー

レバーを左右に動かし、室内の温度を調節します。
表示数字は室温設定時のめやすとなります。

②内外気切り換えボタン

ボタンを押してボタン内の表示灯が点灯すると内気循環になり、もう一度ボタンを押して表示灯が消灯すると外気導入になります。通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため外気導入で使い、トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。

③ファンスピード切り換えダイヤル

スイッチの位置	OFF	AUTO	■■■■■■■■
風量	停止	自動切換	弱↔強

④エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、エアコンスイッチを押すと、エアコンが作動し表示灯が点灯します。もう一度押すと切れます。
冷房や除湿暖房をするときに使います。

⑤吹き出し口切り換えボタン

各ボタンを押すことにより吹き出し口が換わり、表示灯が点灯します。

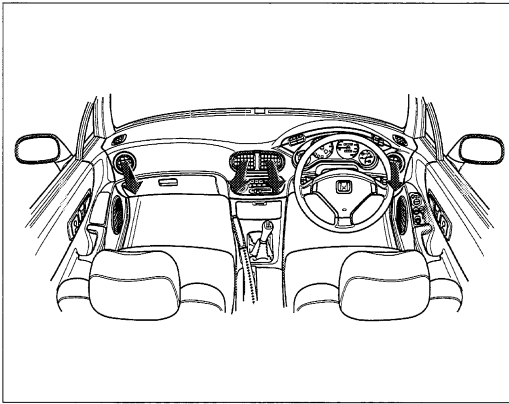


を押すと、吹き出し口は自動で切り換わります。ただし、側面の吹き出し口からはいつでも風が出ます。

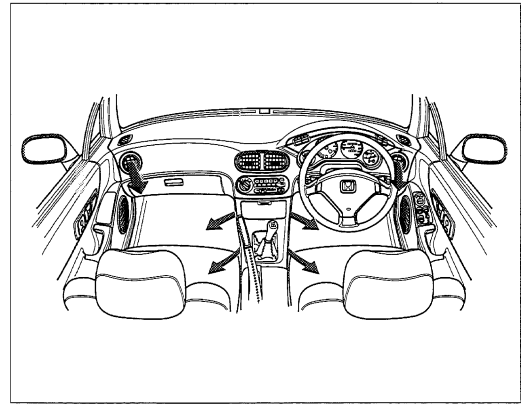
その他のボタンを押すと、吹き出し口は次のようになります。



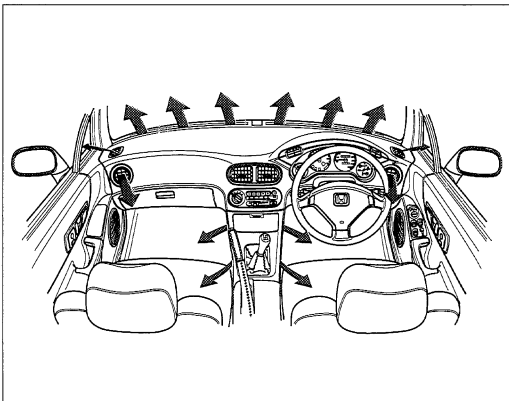
上半身に送風したいとき



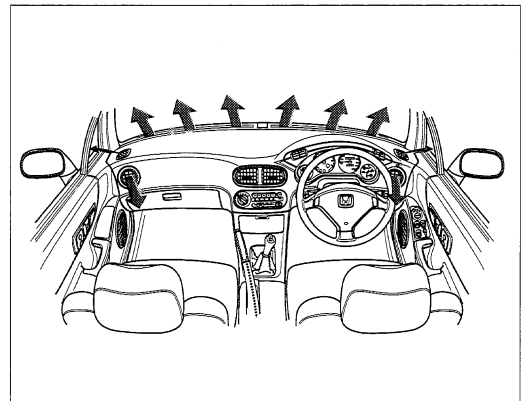
足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



窓ガラスの曇りを取りたいとき



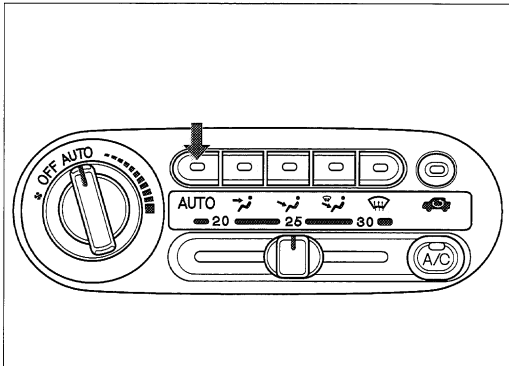
●使いかた

温度調節レバーを希望する温度位置にし、各ボタン、レバー、ダイヤルを図の位置にします。

内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。

冷房や除湿暖房をするときは、エアコンスイッチを入れます。

吹き出し口の切り換えおよび風量、風の温度の調節が自動的に行われます。



◆知識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望の温度に設定したら、温度調節レバーをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなる場合があります。
- ルーフを開けて走行しているときは、オートエアコンの自動調節ができずに最大風量の風が吹き出すことがあります。この場合は、吹き出し口切り換えボタンとファンスピード切り換えダイヤルを好みの位置に合わせてください。

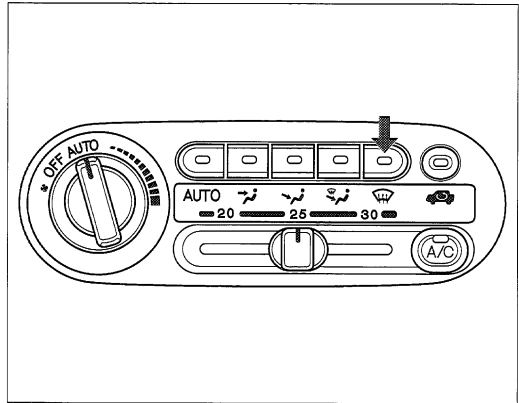
◆知識

- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。

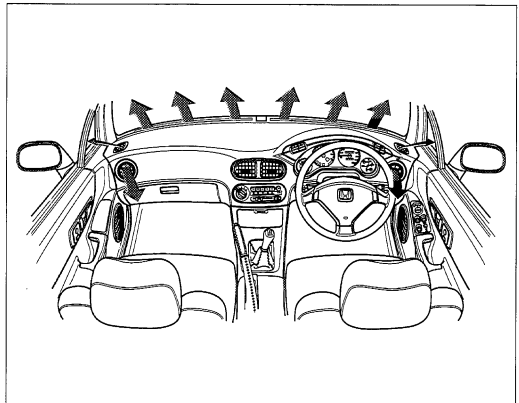
前面／側面ガラスの霜取り (デフロスター)、曇り取り

各ボタン、レバー、ダイヤルを図の位置にします。

内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。



下図のように温風が吹き出してガラスの曇りを取ります。



夏期の曇り止めには温度調節レバーを適度に調節します。

梅雨時など湿度の高いときにエアコンスイッチを入れると除湿された温風が吹き出し前面／側面ガラスの曇り止めに効果があります。

知識

- エアコンスイッチを入れているときは、温度調節レバーを左端(最大冷房)付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇り、視界の妨げになります。

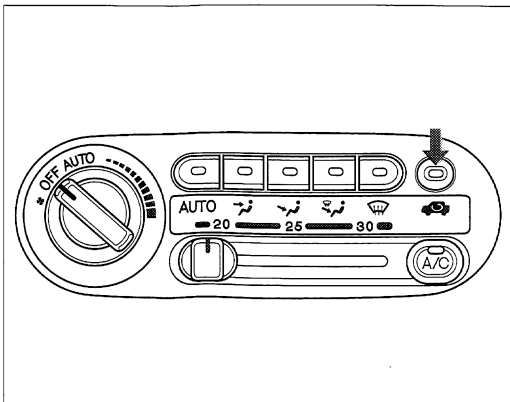
急速に霜を取りたいときは内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、温度調節レバーを右端(最大暖房)にしてファンスピード切り換えダイヤルを右端にします。

知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気が窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

●使用しないとき

内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、ファンスピード切り換えダイヤルを“OFF”にします。



●冷房を常用しないとき

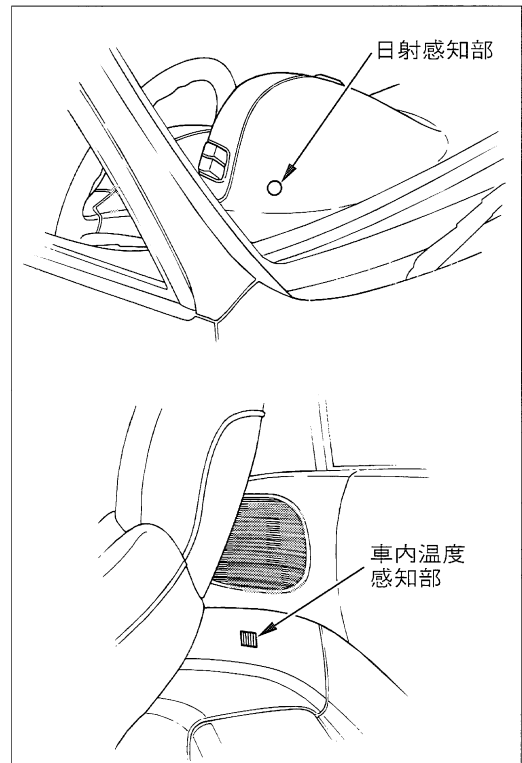
装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

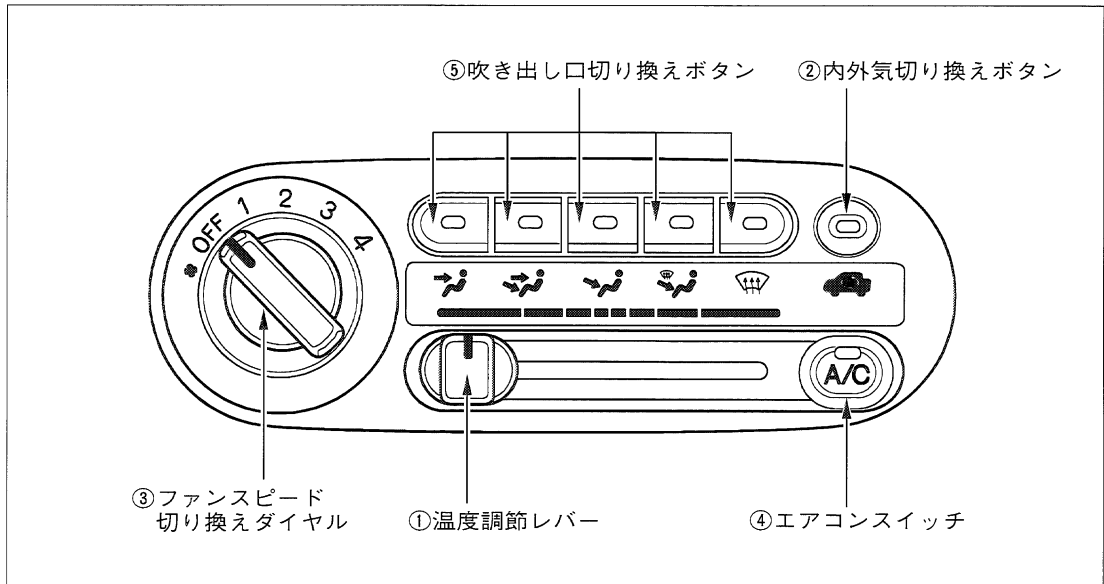
●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置がついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



ヒーター・マニュアル式 エアコン

注文装備



①温度調節レバー

レバーを左右に動かし、吹き出し風の温度を調節します。右に動かすと、吹き出し風の温度が高くなります。

②内外気切り換えボタン

ボタンを押してボタン内の表示灯が点灯すると内気循環になり、もう一度ボタンを押して表示灯が消灯すると外気導入になります。通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため外気導入で使い、トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。

③ファンスピード切り換えダイヤル

レバーの位置	風量
OFF	停止
1	弱
2	中
3	強
4	最強

④エアコンスイッチ


ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、エアコンスイッチを押すと、エアコンが作動し表示灯が点灯します。もう一度押すと切れます。

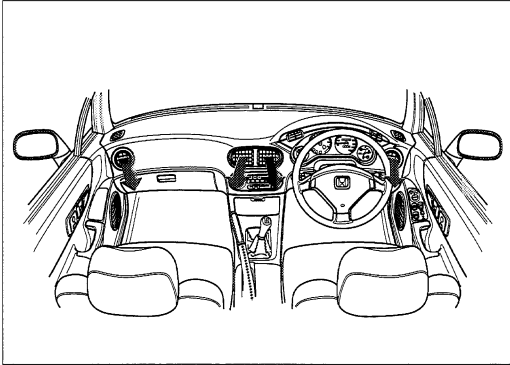
冷房や除湿暖房をするときに使います。


⑤吹き出し口切り換えボタン

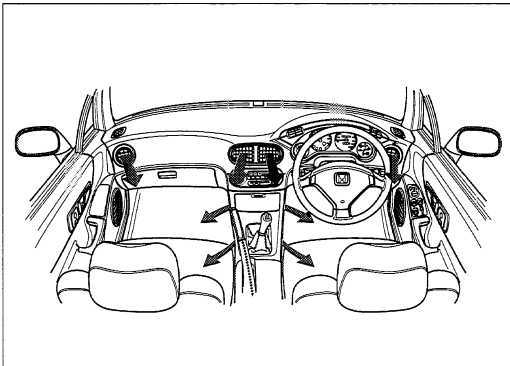
各ボタンを押すことにより吹き出し口が変わり、表示灯が点灯します。


各モードの吹き出し口は次のようになります。

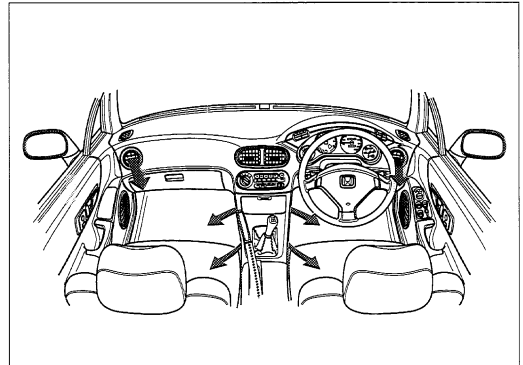
 上半身に送風したいとき




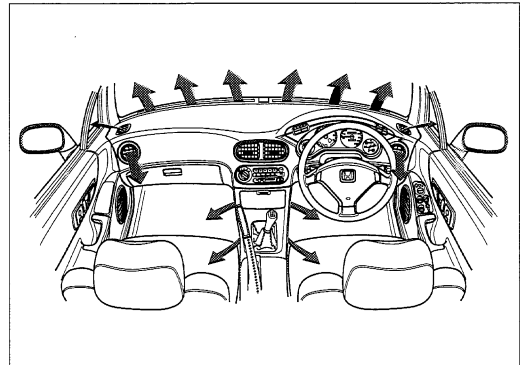
 上半身、足元に送風したいとき



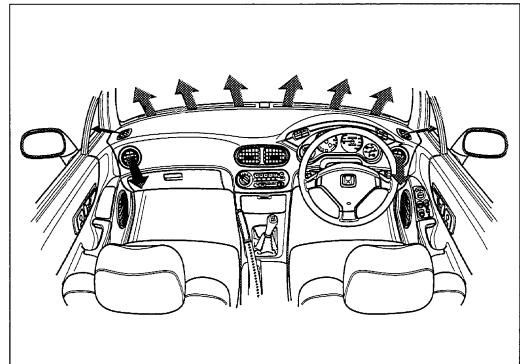
 足元に送風したいとき



 足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



 窓ガラスの曇りを取りたいとき

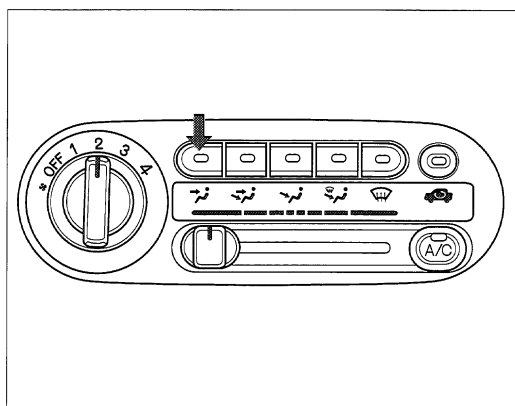


●換気

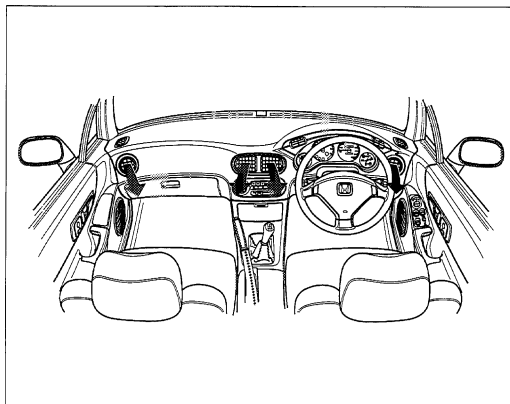
各ボタン、レバー、ダイヤルを図の位置にします。


内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。

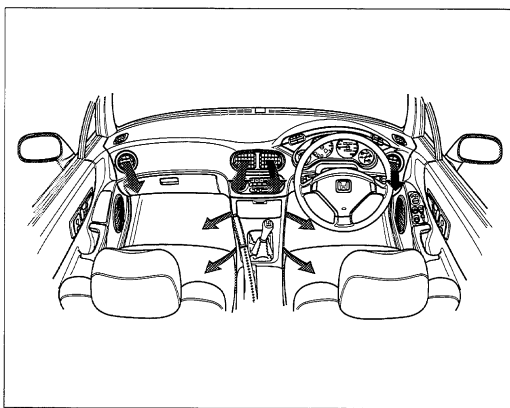
エアコン装備車はエアコンスイッチを切っておきます。



下図のように外気が吹き出します。



吹き出し口切り換えボタンを“”の位置にすると足元からも吹き出します。



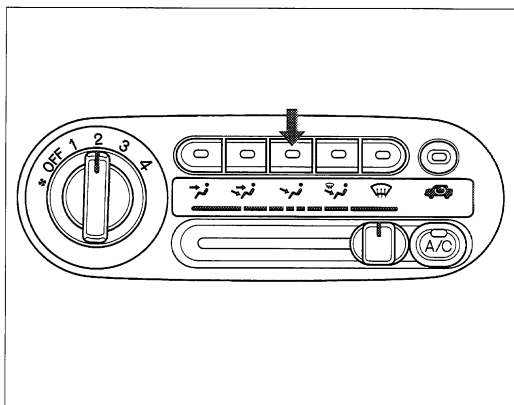
●暖房

各ボタン、レバー、ダイヤルを図の位置にします。

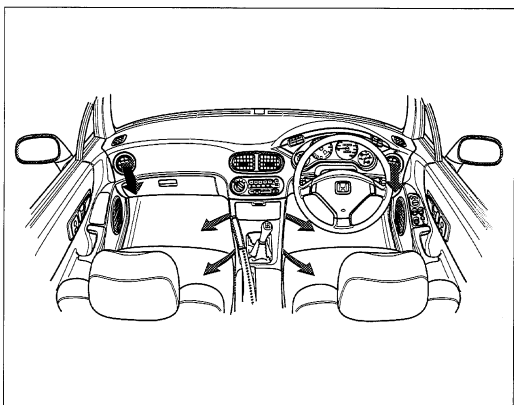
内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。

温度調節レバー、ファンスピード切り換えダイヤルは好みの位置に合わせます。

エアコン装備車はエアコンスイッチを切っておきます。



下図のように温風が吹き出します。



急速に車内を暖めたいときは内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、温度調節レバーを右端(最大暖房)にしてファンスピード切り換えダイヤルを“4”にします。

🎓 知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度暖めた後は外気導入で使ってください。

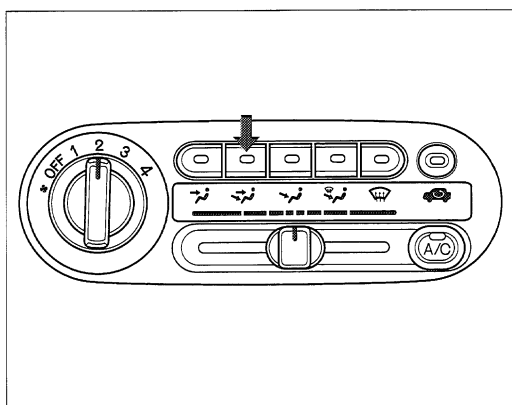
頭寒足熱暖房

各ボタン、レバー、ダイヤルを図の位置にします。

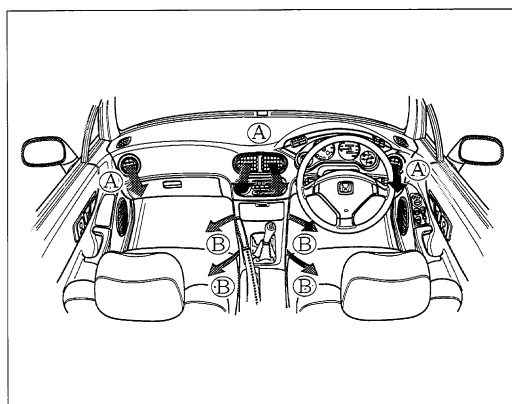
内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。

ファンスピード切り換えダイヤルは好みの位置に合わせます。

エアコン装備車はエアコンスイッチを切っておきます。



下図のように足元(B)からは温風が、インストルメントパネル(A)からは比較的温度的の低い風が吹き出します。

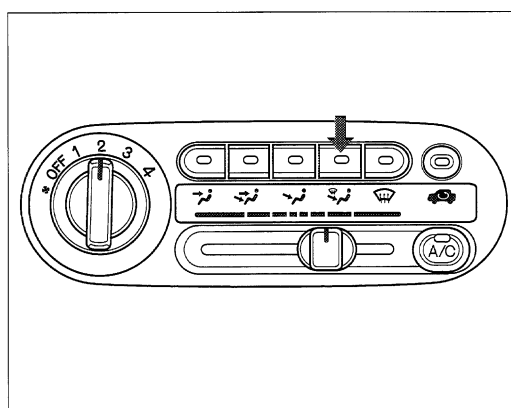


曇り止め暖房

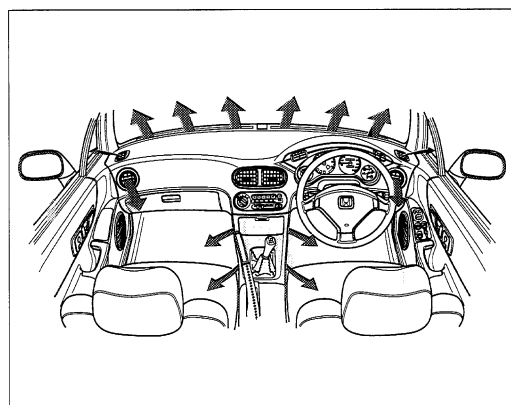
各ボタン、レバー、ダイヤルを図の位置にします。

内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。

温度調節レバー、ファンスピード切り換えダイヤルは好みの位置に合わせます。



下図のように温風が吹き出します。



エアコン装備車は、エアコンスイッチを入れると除湿暖房ができます。

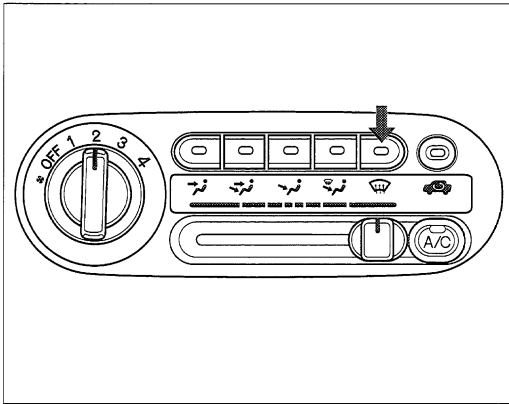
春、秋などの雨天でガラスが曇りやすいときに使います。外気が除湿され、乾燥した空気で暖めますので、曇り止めに役立ちます。

●前面／側面ガラス霜取り (デフロスター)、曇り取り

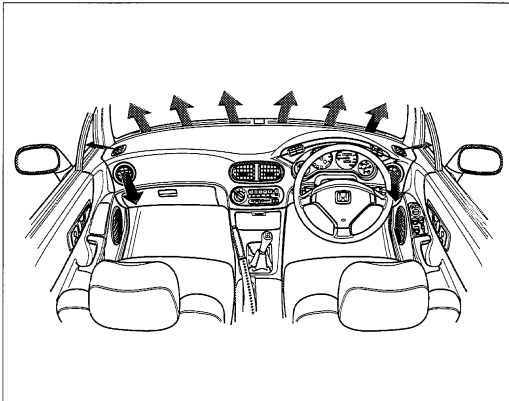
各ボタンを図の位置にします。

内外気切り換えボタンは外気導入(ボタン内の表示灯消灯)にします。

ファンスピード切り換えダイヤルは好みの位置に合わせます。



下図のように温風が吹き出してガラスの曇りを取ります。



夏期の曇り止めには温度調節レバーを適度に調節します。

エアコン装備車は、梅雨時など湿度の高いときにエアコンスイッチを入れると除湿された温風が吹き出し前面／側面ガラスの曇り止めに効果があります。

🎓 知識

- エアコンスイッチを入れているときは、温度調節レバーを左端(最大冷房)付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇り、視界の妨げになります。

急速に霜を取りたいときは内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、温度調節レバーを右端(最大暖房)にしてファンスピード切り換えダイヤルを“4”にします。

🎓 知識

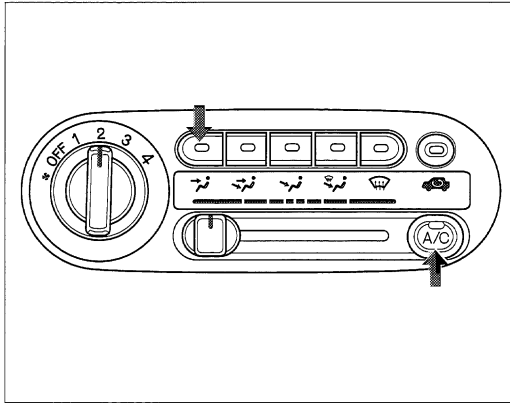
- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

●冷房

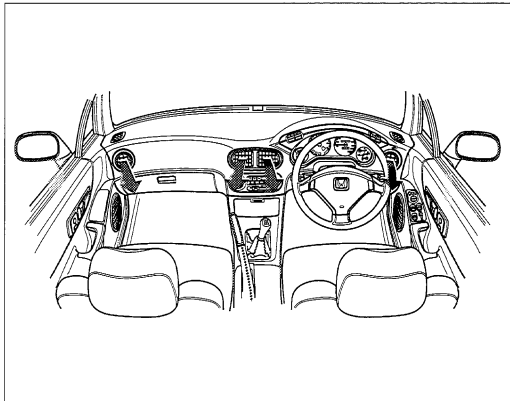
エアコン装備車

各ボタン、レバー、ダイヤルを図の位置にします。

温度調節レバー、ファンスピード切り換えダイヤルは好みの位置に合わせます。



下図のように冷やされた外気が吹き出します。



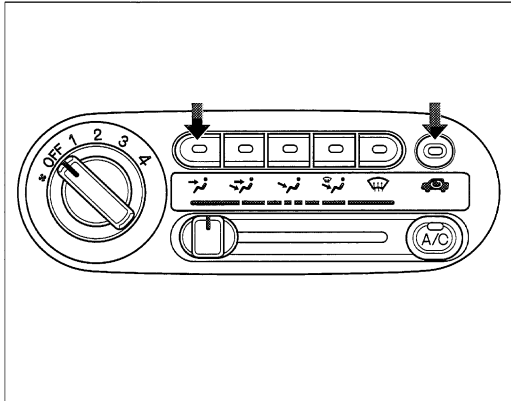
急速に車内を冷やしたいときは内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、温度調節レバーを左端(最大冷房)にしてファンスピード切り換えダイヤルを“4”にします。

📖 知識

- 急速冷房で車内が冷えたら外気導入にしてください。内気循環のまま長時間使うと車内の空気が汚れます。
- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。

●使用しないとき

内外気切り換えボタンを内気循環(ボタン内の表示灯点灯)にし、ファンスピード切り換えダイヤルを“OFF”にします。



●冷房を常用しないとき

エアコン装備車

装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

🎓 知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。

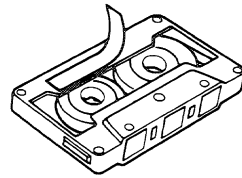
●ラジオについて

ラジオの受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●カセットについて

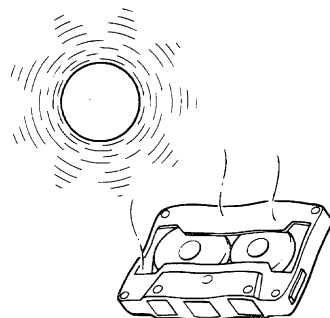
次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良やテープが取り出せなくなる場合があります。

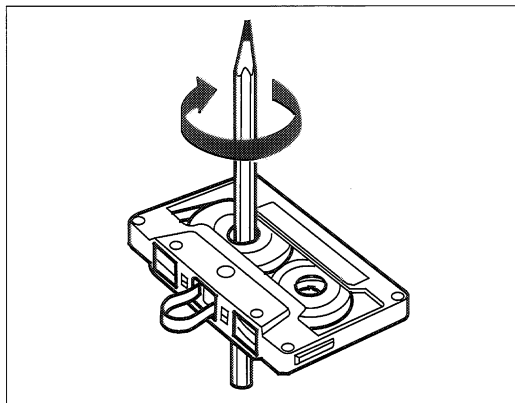


- ・120分テープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープはケースに入れ、ほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けて保管してください。



カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだ場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

●CDについて

下記マークのついているディスク以外は使えません。



ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをする場合があります。

ディスクはケースに入れ、直射日光や高温多湿を避けて保管してください。

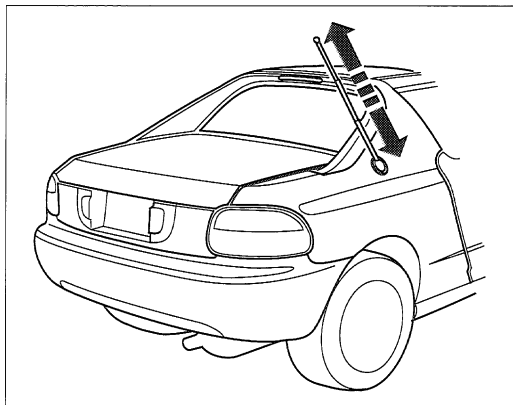
悪路走行などで激しく振動した場合、音とびする場合があります。

アンテナ

●オートアンテナ

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき、ラジオのスイッチを入れるとアンテナが自動的に伸びます。ラジオのスイッチを切るとアンテナは自動的に収納されます。

また、ラジオを聞いている途中でカセットまたはCDに切り換えたときにも、アンテナは自動的に収納されます。この場合、カセットを取り出すかまたはCDをラジオに切り換えるとアンテナは元の位置まで伸びます。



知識

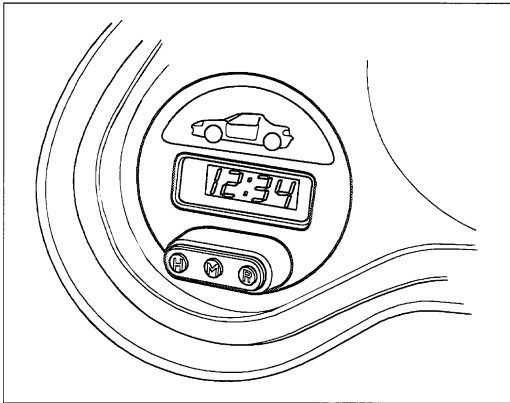
- アンテナの付近に人がいないことを確認してから、アンテナを作動させてください。
- ホンダ純正アクセサリ以外を取り付けると、オートアンテナが正常に作動しない場合があります。
- 故障の原因となりますのでアンテナを手で引き出したり、押し込んだりしないでください。
- 屋根の低い場所、洗車場などではアンテナを伸ばしたままにしないでください。アンテナを曲げたりすると伸縮性を損います。

室内装備品

時計

●時刻表示

エンジンスイッチが“ON”で表示されます。



●表示の合わせかた

エンジンスイッチを“ON”にします。

「時」の調整

“H”ボタンを押している間、「時」の早送りができます。

「分」の調整

“M”ボタンを押している間、「分」の早送りができます。

「時報合わせ」

時報と同時に“R”ボタンを押すと時報に合わせるができます。

(例) 1:01～1:29の場合は1:00に
1:30～1:59の場合は2:00になります。

📖 知識

- 「秒」表示はありませんが、“R”ボタンを押すと0秒から作動を始めます。
- バッテリーの取り外し、ヒューズ切れなどで電源が切れ、再び電源が接続されると“1:00”の表示から始まります。正しい時刻に合わせてください。

室内灯

“ON”

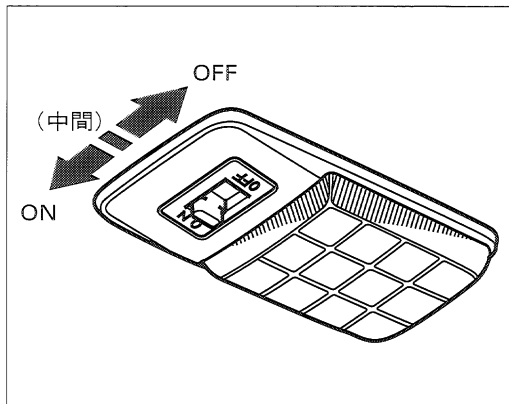
ドアの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

ドアを開いたときのみ点灯します。

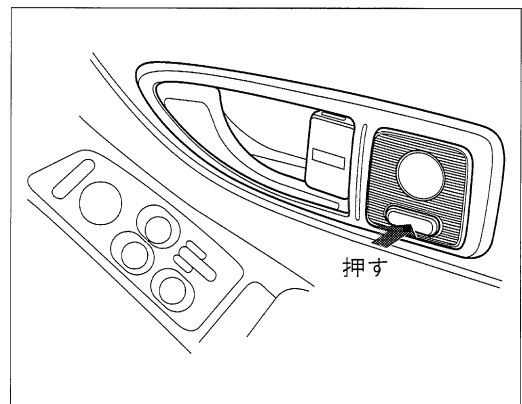
“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。



スポットライト

エンジンスイッチが“ON”のとき、スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。

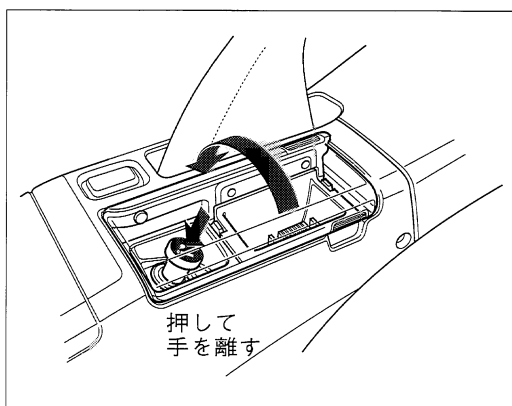


シガレットライター

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときだけ使えます。

ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

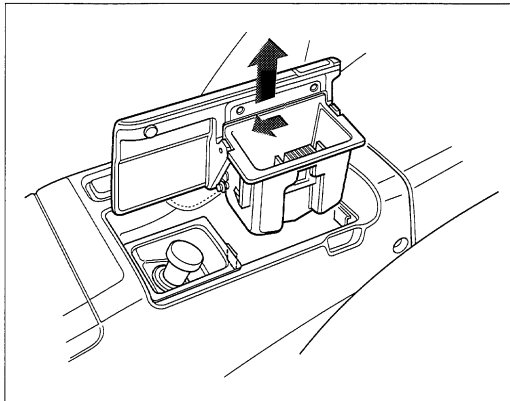
- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

📖 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターのさし込み口からは、ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

灰皿

清掃するときはふたを引き上げて取り外します。



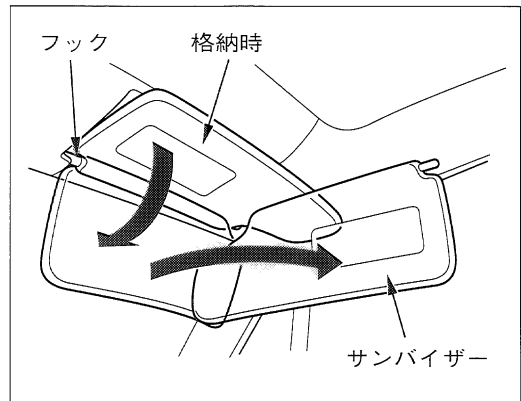
取り付けるときは、ふたを開けた状態で、押し込みます。

⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くずなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコの火が燃え広がるおそれがあります。

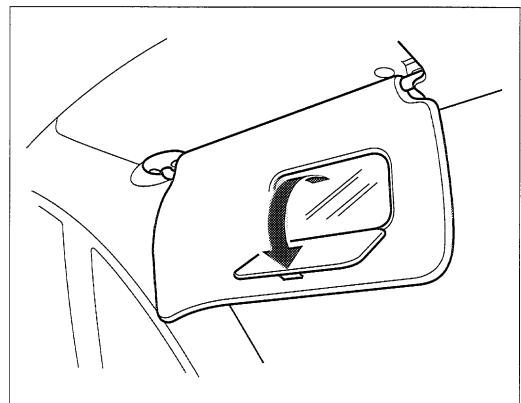
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

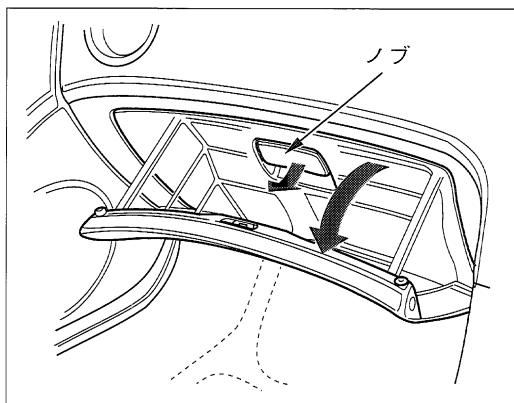
助手席のサンバイザーに鏡があります。
お化粧のときなどに便利です。



小物入れ

●グローブボックス

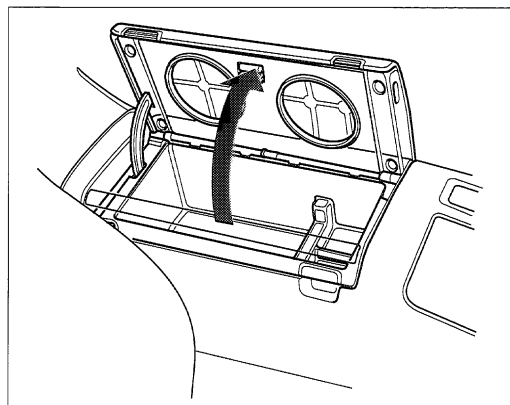
ノブを引くと開きます。



⚠警告

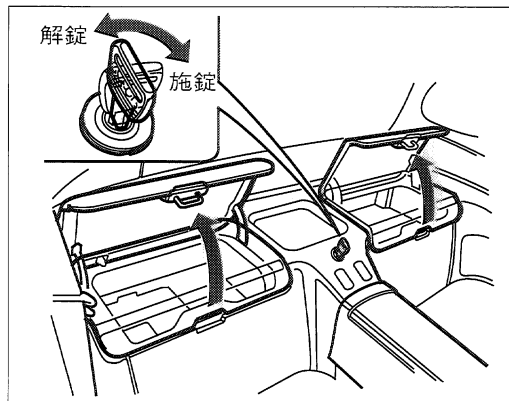
- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。
グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物が飛び出したりして思わぬ事故につながります。

●コンソールボックス



●パーソナルボックス

キーで施錠(解錠)できます。



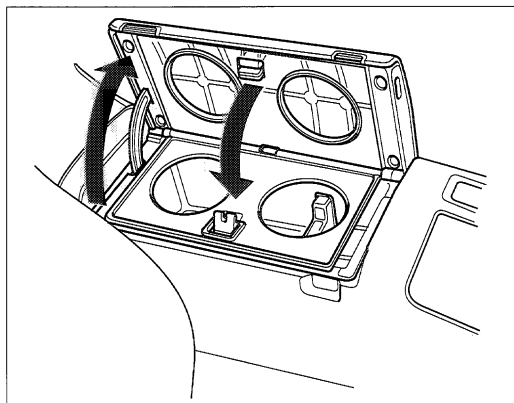
カップホルダー

知識

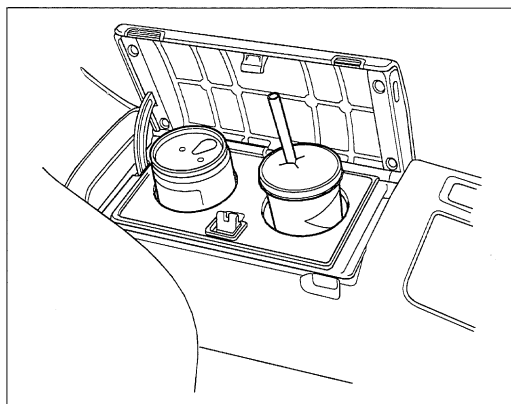
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がラジオ、カセットデッキ等にかかると、故障の原因となりますので注意してください。

カップなどを置くときに使います。

コンソールボックスのふたを開け、ふたからカップホルダーを外します。



カップホルダーをセットします。



カップホルダーを使わないときは、ふたを閉めてください。

5

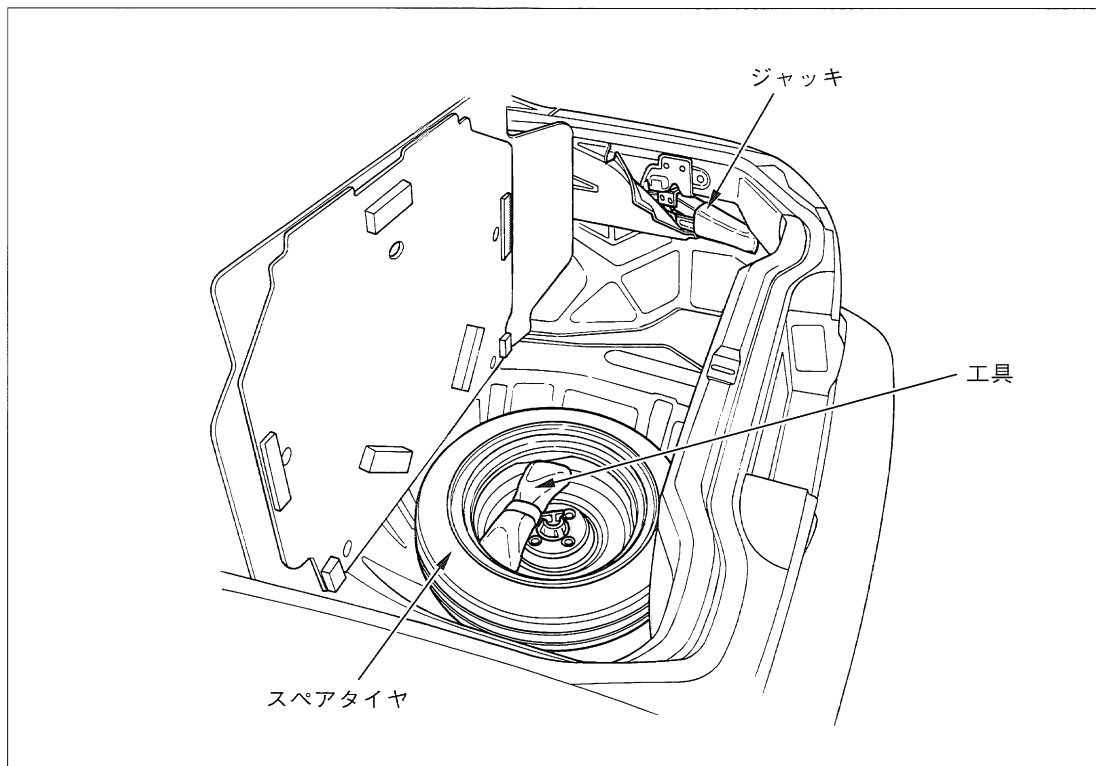
万一のとき

工具・スペアタイヤ・発炎筒	
格納場所	136
工具の種類	137
発炎筒について	137
故障したとき	
踏切で動けなくなったとき	138
高速道路で故障したとき	138
道路で動けなくなったとき	139
故障の修理について	139
事故が起きたとき	140
けん引	
けん引される時	141
故障車をけん引するとき	142
パンクしたとき	
ジャッキの取り扱い	143
応急用スペアタイヤ	144
タイヤ交換	145
警告灯が点灯したとき	150
オーバーヒートしたとき	152
電気系統が異常のとき	
バッテリーあがりのとき	153
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	154
こんなことでお困りのとき	160

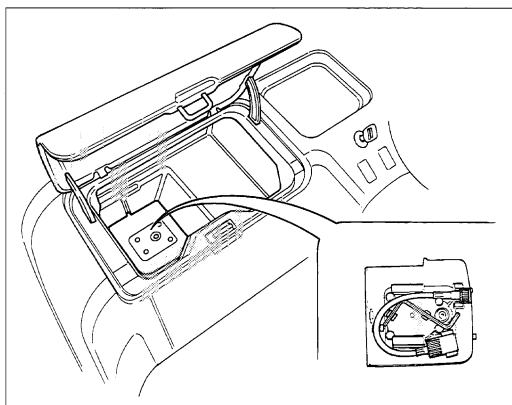
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

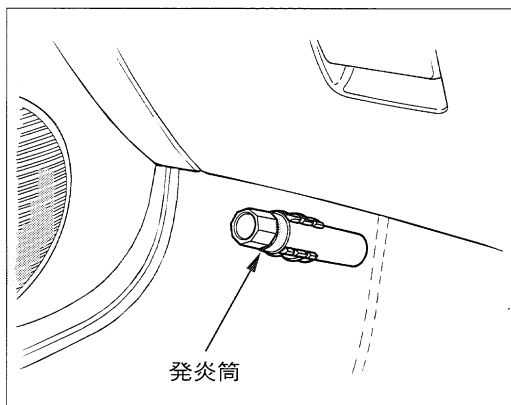
●工具・スペアタイヤ



トランストップ装備車

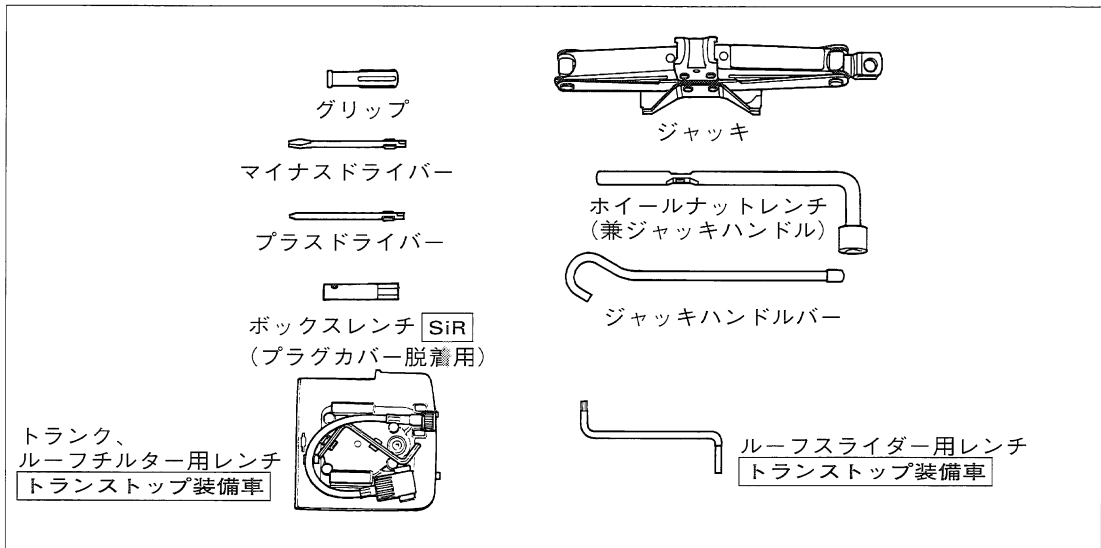


●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。

工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。
火災や爆発のおそれがあります。

注意

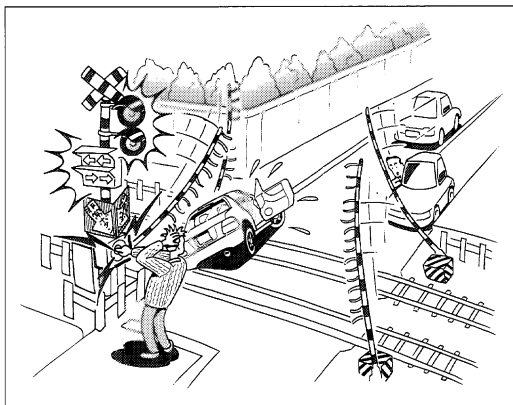
- お子さまにいじらせないでください。
いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けるとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。
トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

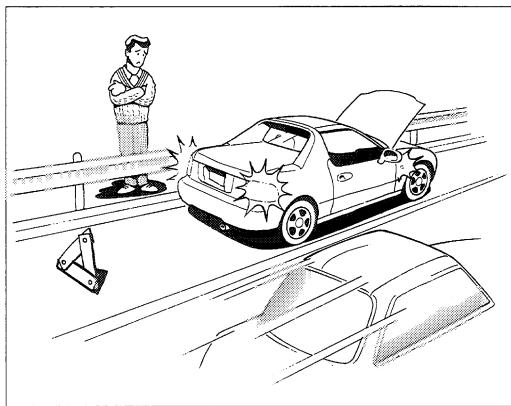
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

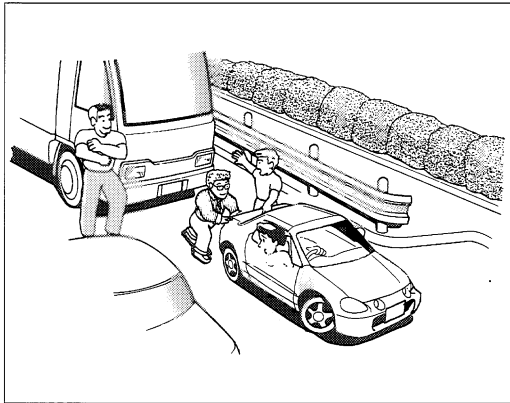
車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。

道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



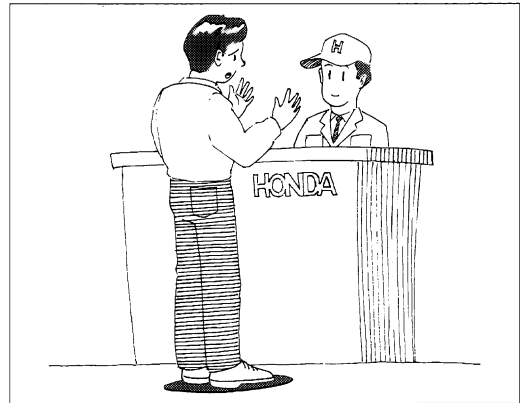
または、マニュアル車の場合は、ギヤを2に入れて、クラッチペダルを踏まずにスターターを回して移動します。

知識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

故障の修理について

ホンダベルノ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもホンダ販売店へご連絡ください。

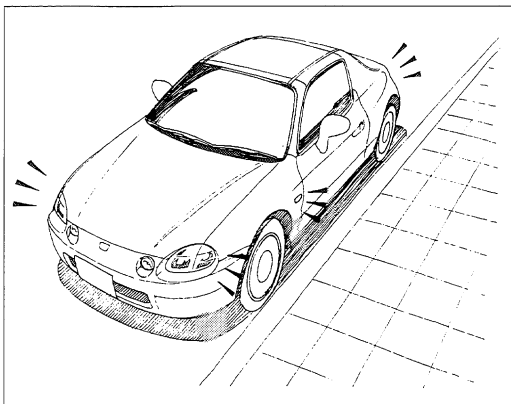
ホンダ販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

①事故の続発を防ぐ。

- ・他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



②負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

- ・医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。
この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。

③警察へ連絡する。

- ・事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



④相手方、事故の状況をメモする。

⑤ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

🚗 アドバイス

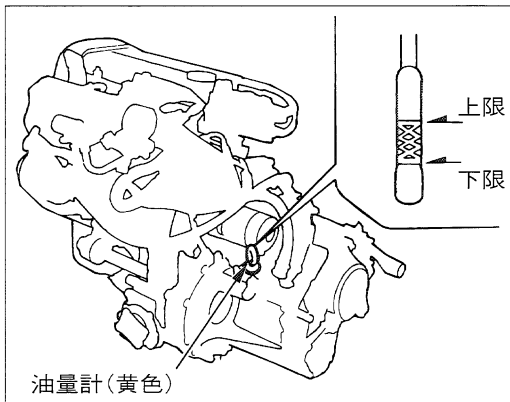
- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

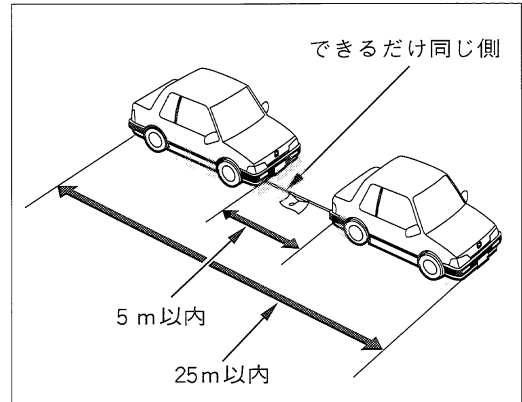
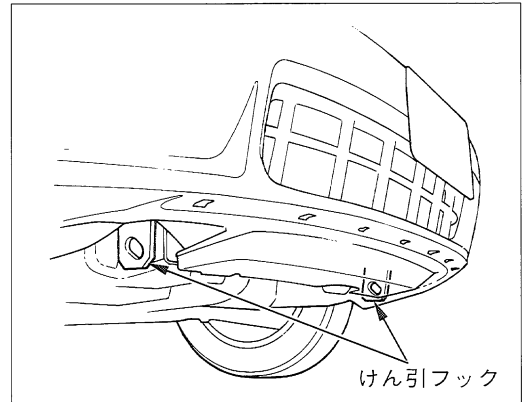
① オートマチック車

トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



③チェンジレバーまたはセレクトレバーはN（ニュートラル）に、エンジンスイッチは“ACC”または“ON”にします。

④駐車ブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

⑤ オートマチック車

速度30 km/h以下、走行距離80 km以内でけん引してください。

アドバイス

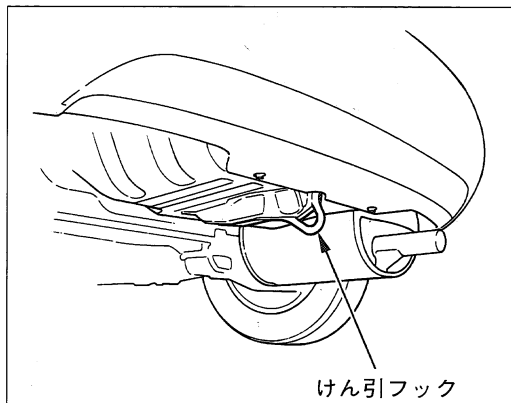
- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属性のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体に当たる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“LOCK”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。

故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、自車より重い車のけん引は避けてください。

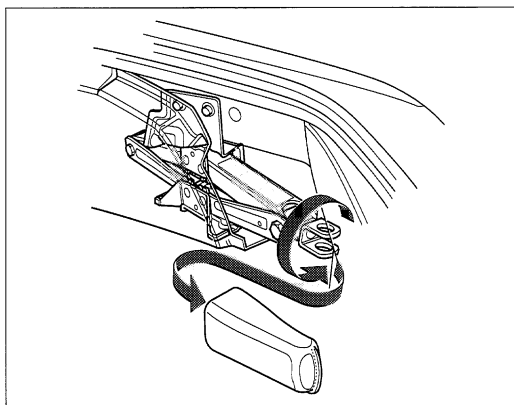


パンクしたとき

ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

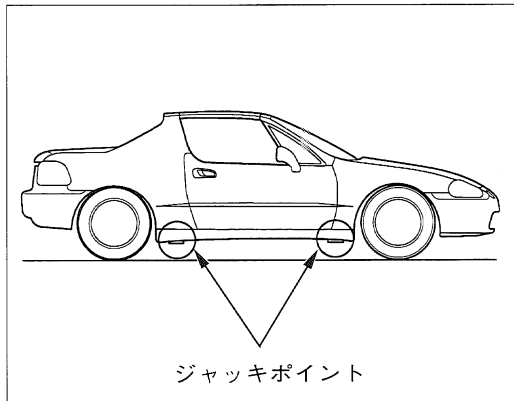
カバーを外し、ジャッキをゆるめて取り出します。



知識

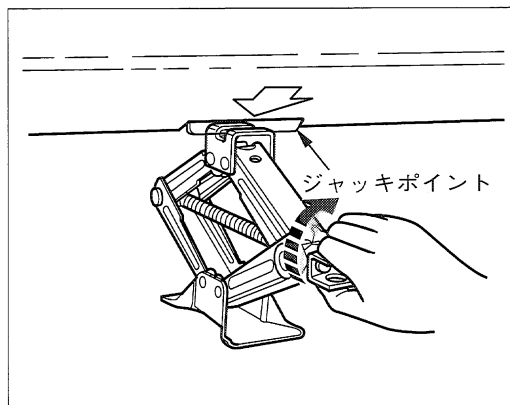
- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

●ジャッキをかける位置

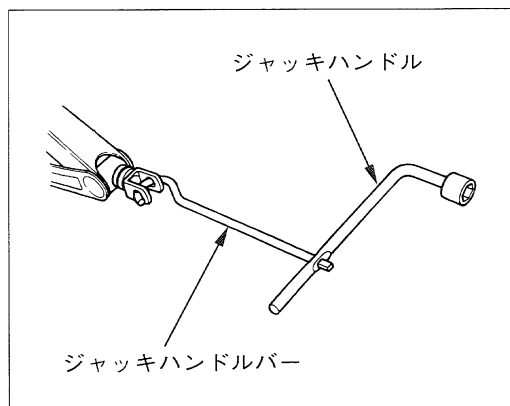


●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②駐車ブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

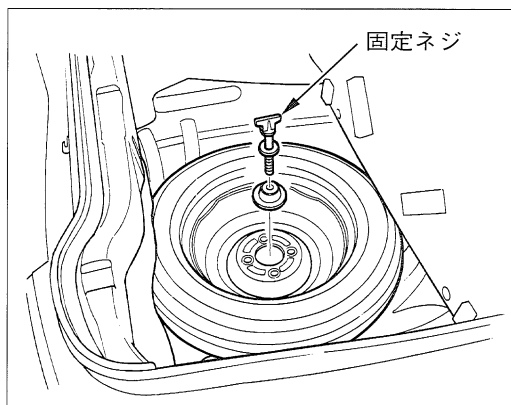
- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

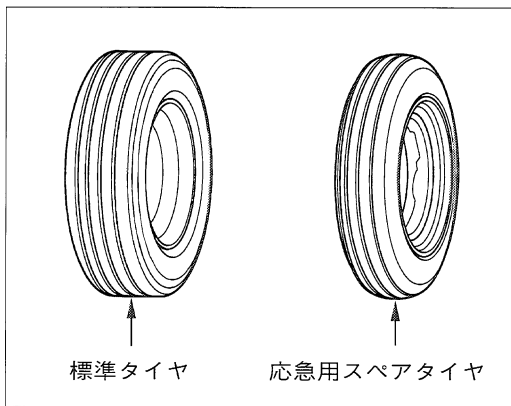
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・エンジンをかけたままにしない。
 - ・指定された位置以外にかけない。
 - ・人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ジャッキの上や下に物をいれたりしない。

応急用スペアタイヤ

固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみを使うタイヤです。応急用スペアタイヤは標準タイヤに比べて、直径がやや小さくできています。



アンチロックブレーキシステム装備車 (ABS 車) およびビスカス LSD 装備車には、専用の応急用スペアタイヤをお使いください。

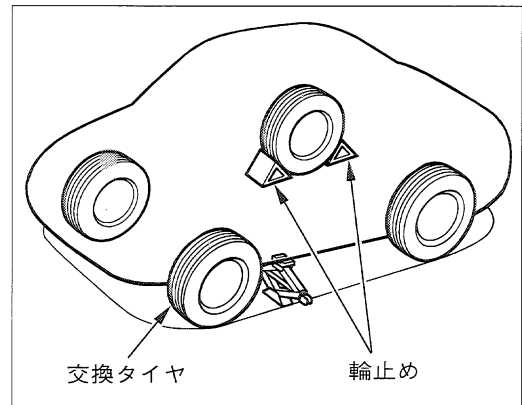
お使いになるときは次のことをお守りください。

知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。
(指定空気圧：4.2kg/cm²)
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。(ABS車、ビスカスLSD車を除く)
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。
- ビスカスLSD装備車は、前輪に応急用スペアタイヤを装着しないでください。

タイヤ交換

- ① 車を安全な場所に止め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ② 駐車ブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。

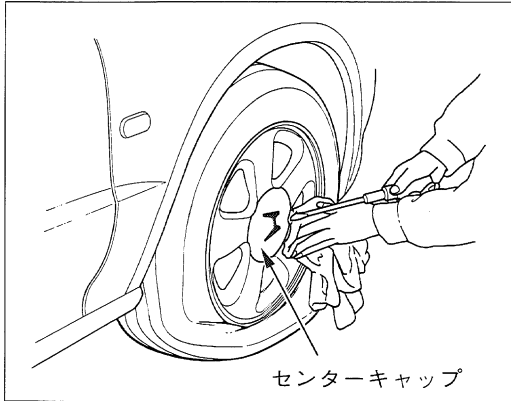


- ③ 応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

④ジャッキをセットします。

→143ページ

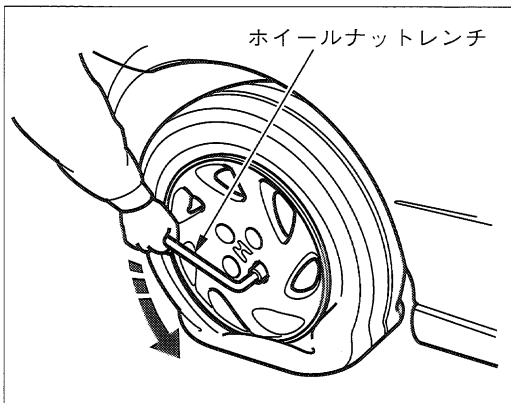
⑤センターキャップ付きのアルミホイール装備車は、センターキャップを外します。



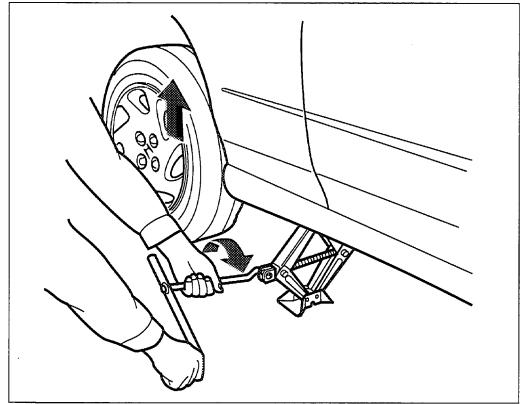
知識

- ホイールの表面を傷つけないようにドライバーの先端に布等を巻いてください。
- センターキャップを取り外すときは、地面に落ちて傷がつかないように手でささえてください。

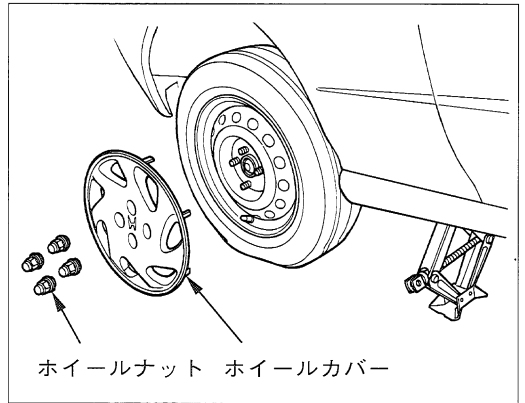
⑥ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。



⑦タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



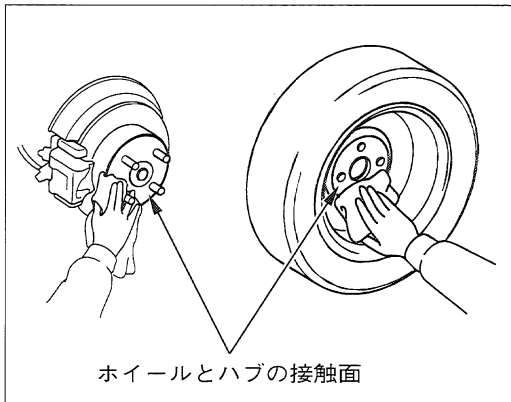
⑧ホイールナット、ホイールカバーを外し、タイヤを外します。



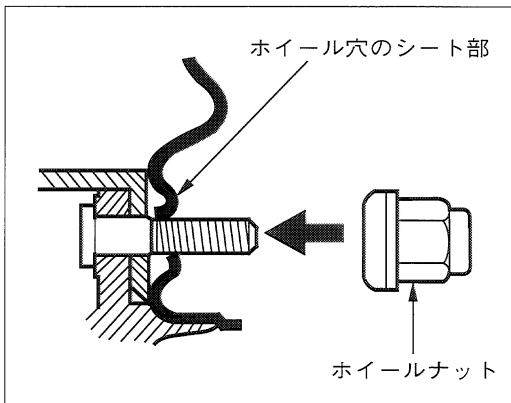
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ⑨ 応急用スペアタイヤのホイールと、ハブの接触面のよごれをふき取ります。



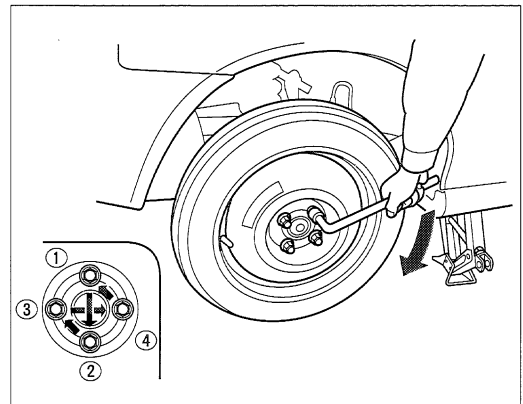
- ⑩ 応急用スペアタイヤを取り付けます。
 ⑪ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



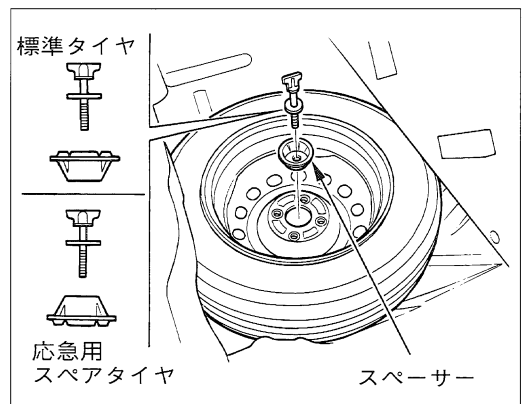
- ⑫ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかりと締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク:

10.0-12.0 kg-m

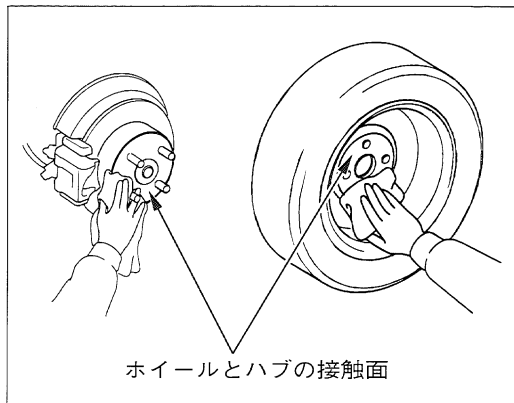


- ⑬ パンクした標準タイヤをしまい、スペーサーを、応急用スペアタイヤを固定していたときとは逆向きにして固定します。



●標準タイヤを取り付けるとき

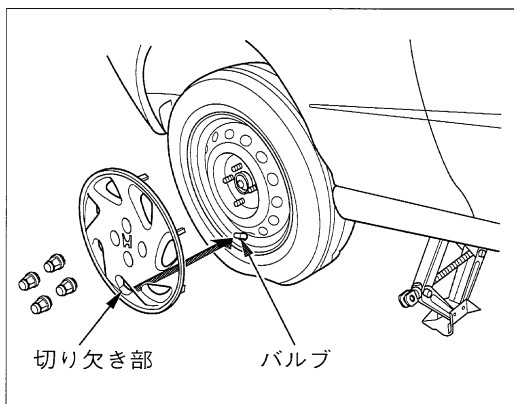
- ①標準タイヤのホイールと、ハブの接触面のよごれをふき取ります。



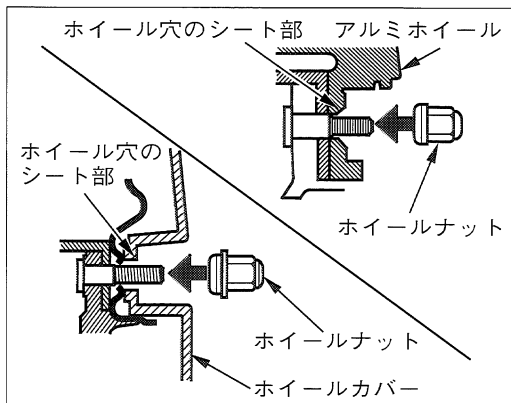
◆知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②ホイールカバーを取り付けるときは、切り欠き部がバルブの位置にくるようにします。



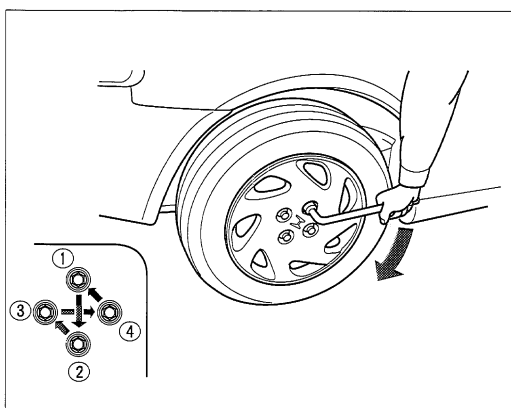
- ③ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ④ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかりと締め付けます。


ホイールナット締め付けトルク:

10.0-12.0 kg-m



 **アドバイス**


- ビスカスLSD装備車の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとビスカスLSDに悪影響をあたえます。




 **知識**

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。
トルクがかかりすぎる場合があります。
- アルミホイール装備車**
パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000 km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダベルノ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損います。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。
タイヤの空気圧 →188ページ
- ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。ドライバーなどで無理にこじらないでください。

警告灯が点灯したとき

運転中、警告灯が点灯したときは安全な場所に停車して下記の処置を行ってください。

警告灯	警告灯の名称	処置
	油圧警告灯	<p>エンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。</p> <p>エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。</p> <p style="text-align: right;">→77ページ</p>
	ブレーキ警告灯	<p>ブレーキ液量を点検し、下限より下がっていたらホンダベルノ店へご連絡ください。</p> <p style="text-align: right;">→77ページ</p>
	PGM-FI警告灯	<p>高速走行を避けてただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。</p> <p style="text-align: right;">→77ページ</p>
	充電警告灯	<p>エアコンを“OFF”にして、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。</p> <p style="text-align: right;">→78ページ</p>
	排気温警告灯	<p>枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを止めて触媒装置を冷やしてください。</p> <p>一度点灯した警告灯は、修理するまで消灯しません。ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。</p> <p style="text-align: right;">→78ページ</p>

警告灯	警告灯の名称	処 置
	SRSエアバッグシステム警告灯	すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。 →104ページ
	トラクションコントロールシステム(TCS)警告灯	エンジンを止めてください。 エンジン再始動後消灯しないときや走行中再び点灯するときは、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。 →107ページ
	アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯	すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。 →108ページ

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

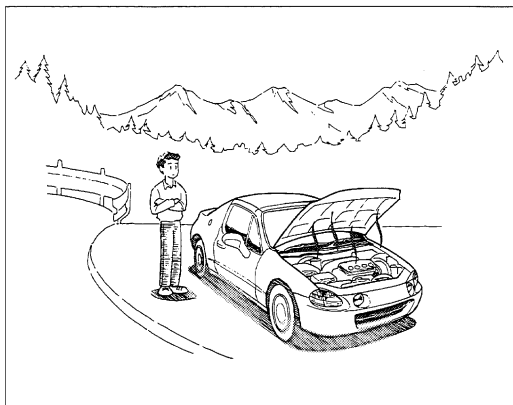
- ・水温計の針が赤いマークに入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

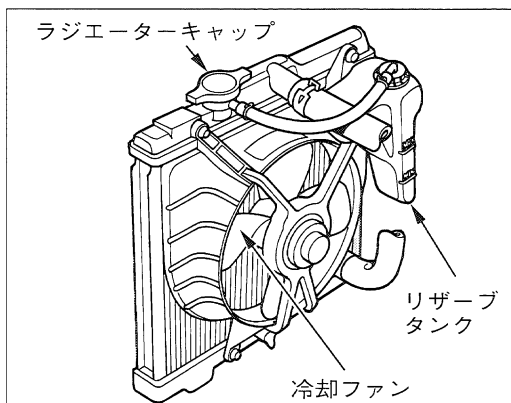
- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。



📖 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気がなくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。

- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



🚗 アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダベルノ店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。
- ⑤冷却水量が不足していたら補給します。

⚠ 警告

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ⑥なるべく早くホンダベルノ店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

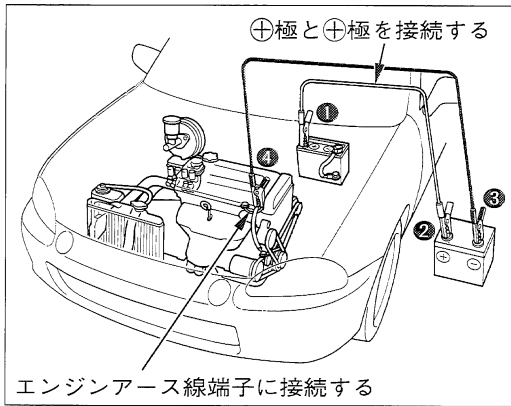
- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

- | | |
|-----|-----------------|
| 1本目 | ①自車のバッテリーの⊕端子 |
| | ②救援車のバッテリーの⊕端子 |
| 2本目 | ③救援車のバッテリーの⊖端子 |
| | ④自車のエンジンのアース線端子 |



- ②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
- ③自車のエンジンをかけます。
- ④ブースターケーブルをつないだときと逆の順序で外します。
- ⑤ホンダ販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

⚠警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーからは可燃性のガスが発生しているため、引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・放電したバッテリーの⊖極に直接コードをつないだり、⊕⊖極を間違えたり、コードの先端どうしを接触させないでください。ショートして火花が出ることがあります。
 - ・バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
 - ・換気に十分注意し、換気の悪い場所では行わないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときは、すぐ多量の水ですくなくとも5分以上洗浄し、専門医の診察を受けてください。

📖知識

- ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- オートマチック車は、押しがけはできません。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

**ライト類が点灯しないとき、
電気装置が作動しないとき**

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

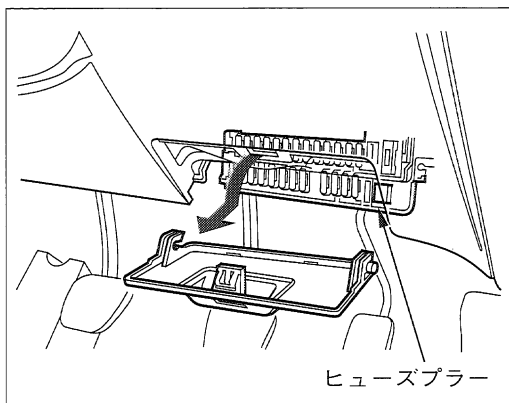
- ①エンジンスイッチを“LOCK”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

●ヒューズの点検、交換

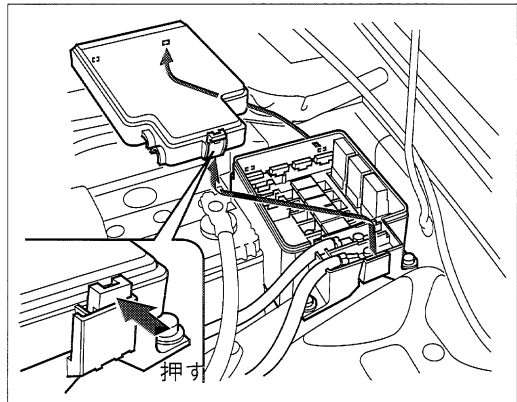
ヒューズボックス

ヒューズボックスは、運転席足元およびエンジンルーム内にあります。

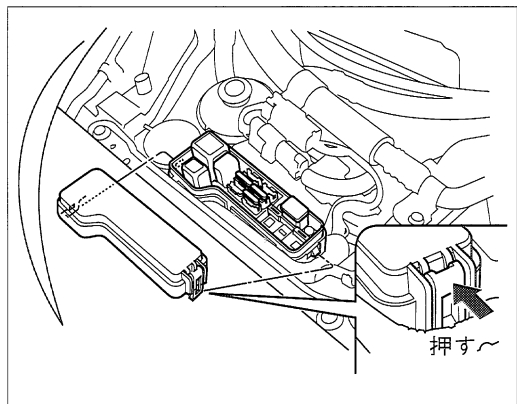
- ・運転席足元



- ・エンジンルーム内

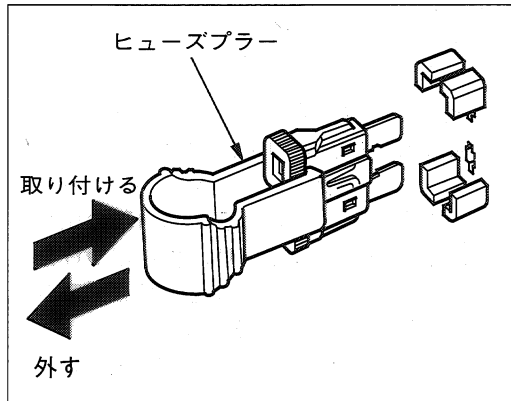


ABS装備車

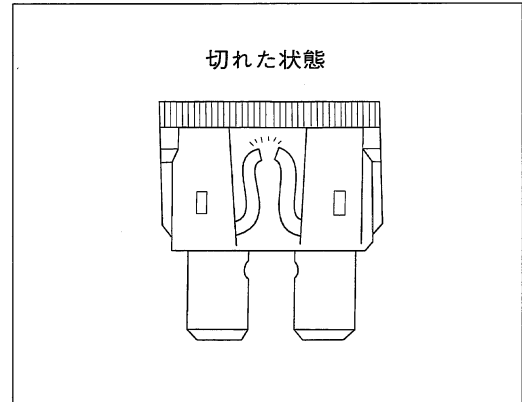


ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

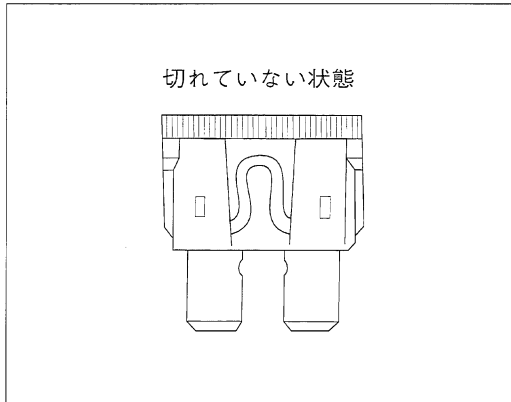
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。
電球を点検し、切れているときは交換してください。

知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

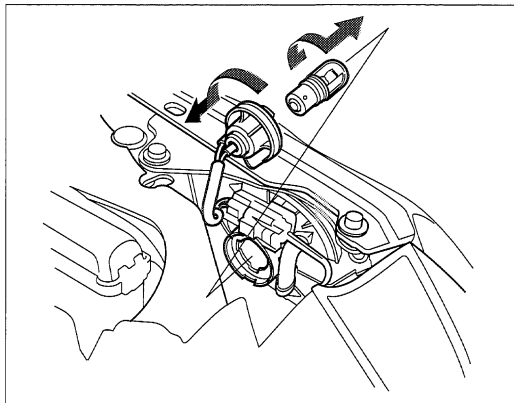
●電球(バルブ)の交換

知識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。
電球のワット数 →184ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶついたり、傷をついたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。
取り扱いには十分に注意してください。
また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが触れないようにしてください。
使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。
触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。

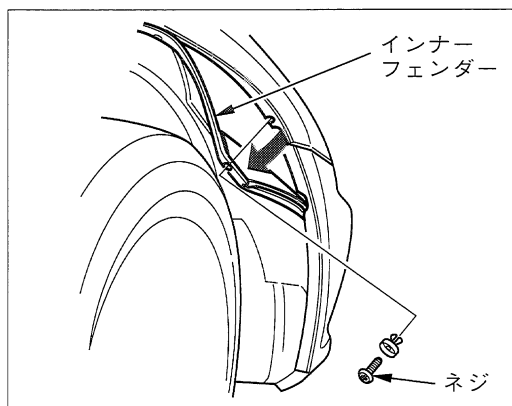
アクセサリライト

ソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回し抜き取ります。

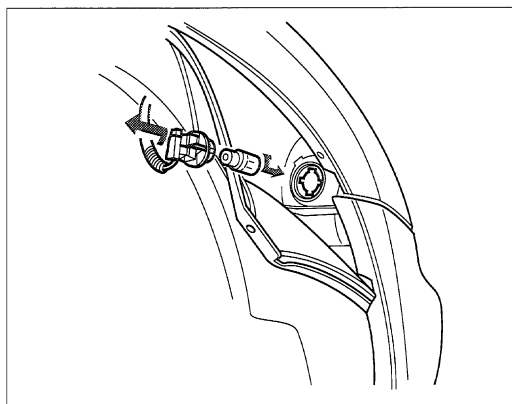


前面方向指示器／前面非常点滅表示灯

- ①ハンドルを交換する側と反対にいっぱいに切ります。
- ②ネジを外してインナーフェンダーをめくります。

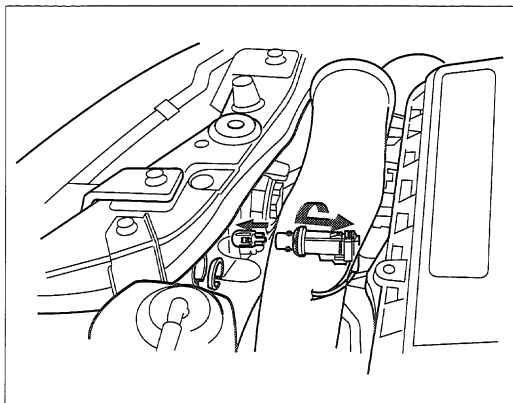


- ③ソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回し抜き取ります。



車幅灯

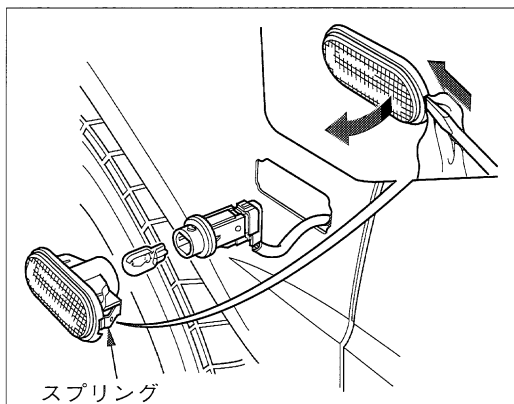
ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

ドライバーの先端に布などを巻き、後方よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



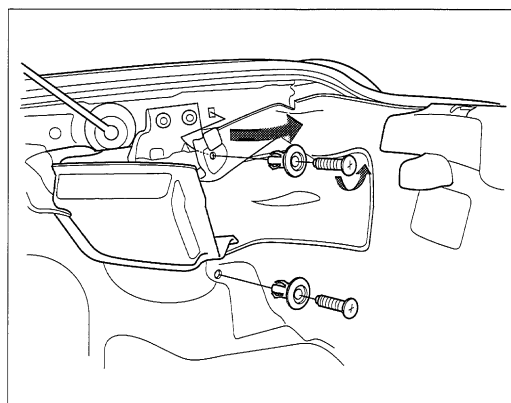
制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

①ネジを外して内張りをめくります。

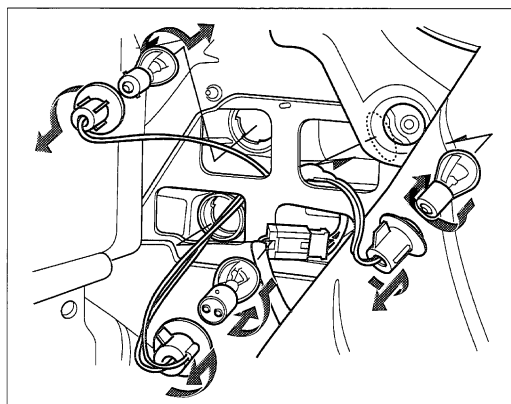
知識

- 右側の電球を交換するときは、ジャッキを外してから行ってください。

ジャッキの取り出ししかた →143ページ

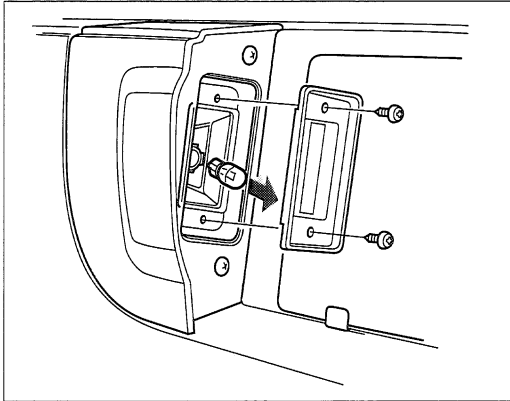


②ソケットを左へ回して外し、電球を押しながらかき回して抜き取ります。



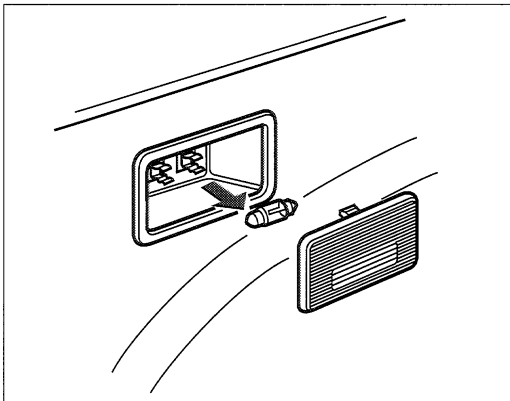
番号灯

ネジをゆるめてレンズを外し、電球を抜き取ります。



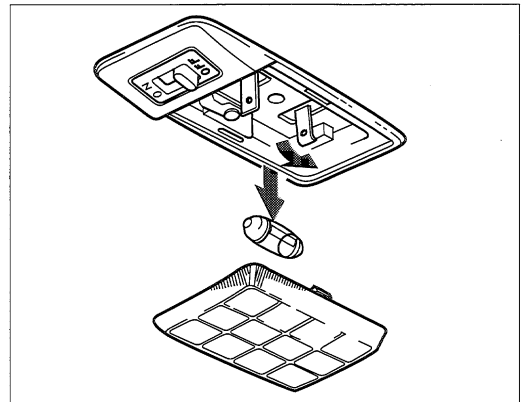
トランク照明灯

レンズを外し、電球を抜き取ります。



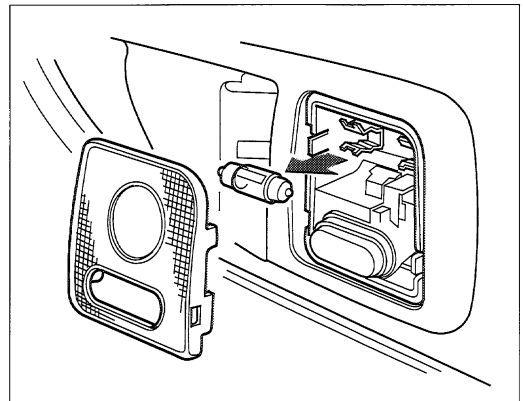
室内灯

レンズを外し、電球を抜き取ります。



スポットライト

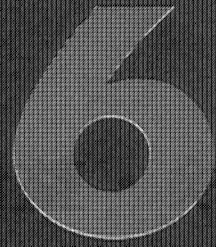
レンズを外し、電球を抜き取ります。



こんなことでお困りのとき

症 状	処 置
キーが回せない	<p>“LOCK”から“ACC”にまわらないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。 <p style="text-align: right;">エンジンスイッチ →81ページ</p> <p>“ACC”から“LOCK”にまわらないとき</p> <p style="text-align: right;">オートマチック車</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セレクトレバーがPに入っていますか。 <p style="text-align: right;">キーインターロックについて →81ページ</p>
エンジンがかからない	<ul style="list-style-type: none"> ・オートマチック車は、セレクトレバーがPかNに入っていますか。 ・ガソリンが入っていますか。 (メーター内の燃料計で確認してください。) ・バッテリーがあがっていませんか。 <p style="text-align: right;">バッテリーあがりのとき →153ページ</p>
セレクトレバーがPから動かせない	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。 (操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み押しながらセレクトレバーを動かしてください。) ・エンジンスイッチを“ON”にしてから操作していますか。 <p style="text-align: right;">シフトロック装置の正しい理解を →21ページ</p>

症 状	処 置
エンジンスイッチを“ON”にすると ブザーが鳴る	・運転席シートベルトを着用しないでエンジンスイッチを“ON”にしていませんか。 シートベルト警告灯 →78ページ
ドアを開けるとブザーが鳴る	・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。 キー抜き忘れ警告ブザー → 81ページ ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。 ライト消し忘れ警告ブザー →82ページ
キーを閉じ込めてしまった	・ホンダ販売店またはJAFへご連絡ください。
水温計の針が赤いマークに入った エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている	・オーバーヒートのおそれがあります。 (安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください) オーバーヒートしたとき →152ページ
走行中にブレーキを踏むと金属的な 摩擦音ができる	・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっている おそれがあります。 (ホンダベルノ店で点検を行ってください。)



車の手入れ

点検・整備について……………164

お車を美しく保つために……………165

外装の手入れ

洗車のしかた……………166

ワックスをかけるとき……………167

樹脂塗装部品の手入れ……………167

ガラスの手入れ……………167

タイヤについて……………168

アルミホイールについて……………170

内装の手入れ

液体芳香剤・

レザークリーナーについて……………171

車にあった部品の使用……………172

点検・整備について

車は走行するにしたがい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー（運転者）は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。

詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。

法定定期点検

標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。

法律で定められているものと、ホンダが指定するものがあります。

その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われ方をしたときの点検整備があります。

お車を美しく保つために

走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落しましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。

保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。
- 台風、大雨のときや屋外に保管しておくときは、室内に水が入るのを防ぐためボディカバーをかけるようにしてください。

洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車してください。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、ホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

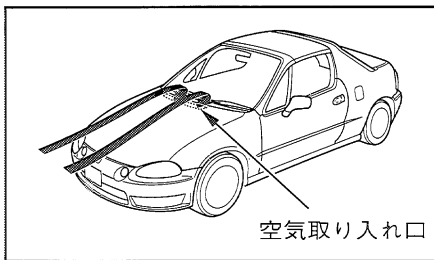
外装の手入れ

洗車のしかた

- ①十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落します。
- ②塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- ③汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ④水が乾かないうちに拭き取ります。

知識

- ドアガラス周りには、ホースの先端を絞るなどして水を強くかけないでください。
室内へ水が侵入することがあります。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。
故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

知識

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

- ・アンテナやドアミラーを格納して洗車してください。
- ・ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。ドアガラスまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

知識

- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。塗装面に細い傷が残ることがあります。

樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

知識

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。

また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。
コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。
 - ・ 摩耗限度を超えたタイヤ
 - ・ 指定空気圧に調整されていないタイヤ

🚗 アドバイス

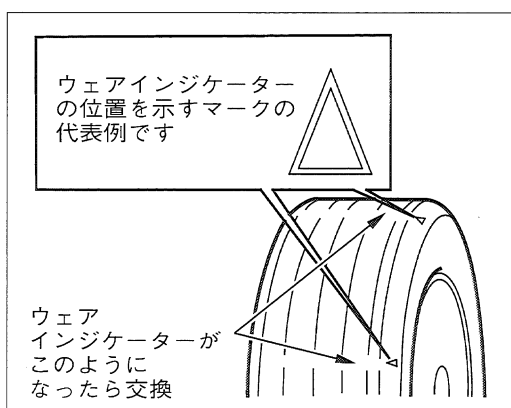
- ビスカスLSD装備車の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとビスカスLSDに悪影響を与えます。

摩耗限界表示

(ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表われたらタイヤを交換してください。

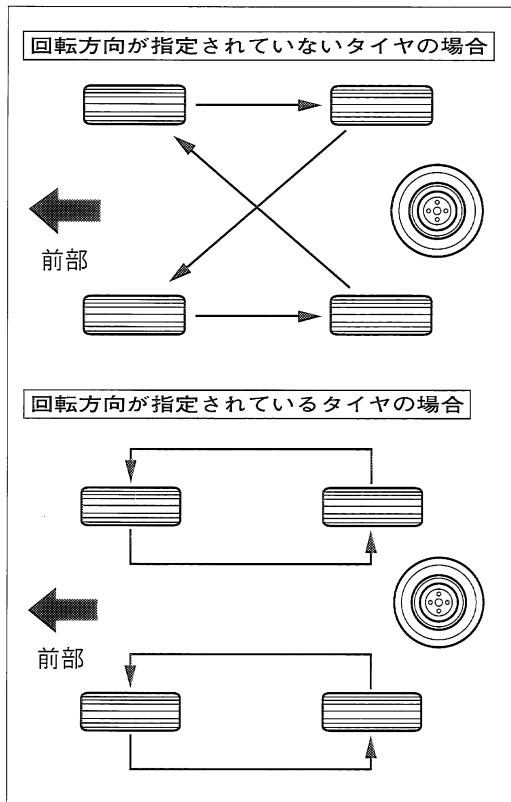
- ・ ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6 mmだけ浅くなっています。



●位置交換(タイヤローテーション)

5,000 kmごとにタイヤの位置を交換します。

- ・同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。



知識

- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

アルミホイールについて

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。

●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000 km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはホンダ純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- アルミホイールにタイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。

●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機(ホイール専用ブラシ付きのもの)によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。光沢を失うおそれがあります。

内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
・飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

知識

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。

液体芳香剤、レザークリーナーについて

液体芳香剤、レザークリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。
取り扱いには十分にご注意ください。

知識

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。
芳香剤のご使用にあたっては固形タイプのもをおすすめします。
- レザークリーナーを使用したあとは、必ずかわいた布で軽くふき取ってください。
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、ホンダ車に最も適したホンダ純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。

お求め、装着に際しては、ホンダベルノ店にご相談ください。

・純正部品には、次のマークがついています。



- ・ホンダ純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ・車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手な つきあいかた

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	174
運転するとき	175
駐車するとき	179
冬期の手入れ	180

こんなときは

雨の日の運転	181
夏場の取り扱い	182
経済走行のために	182

積雪・寒冷時の取り扱い

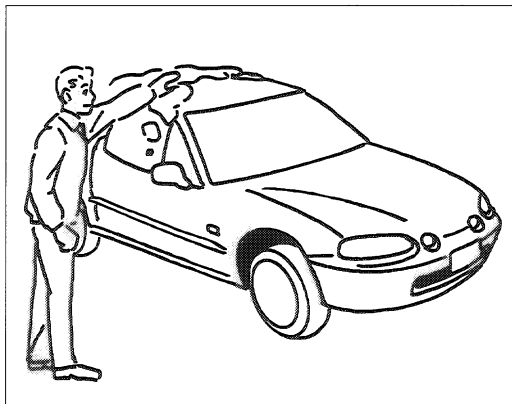
運転するまえ

●車に積った雪や着氷は取り除く

屋根に積った雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界の妨げとなり危険です。走行する前に取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

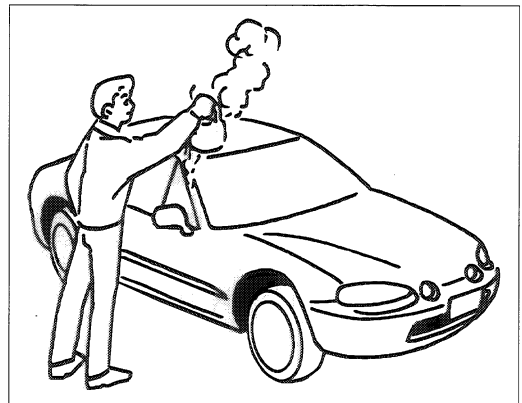
足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよくふき取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。

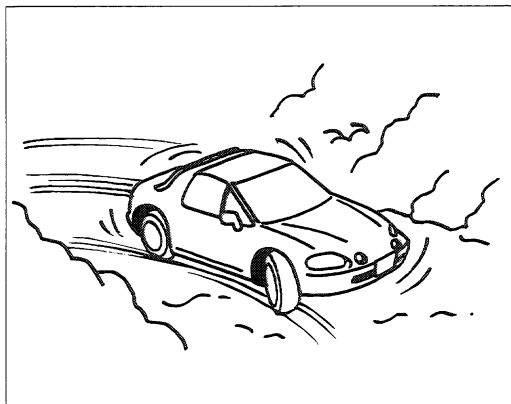


運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているため、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。また、ハンドルやブレーキの操作はとくに慎重にしてください。
 - ・急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失い危険です。



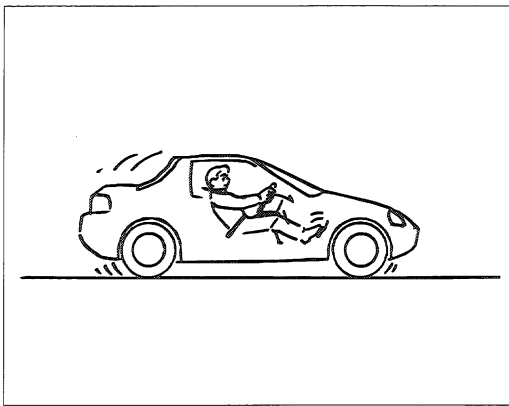
- タイヤチェーン、冬用タイヤを装着して走行してください。
 - チェーンサイズ →177ページ
 - タイヤチェーンの取り付けかた →177ページ
- ・冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

📖 知識

- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。

●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



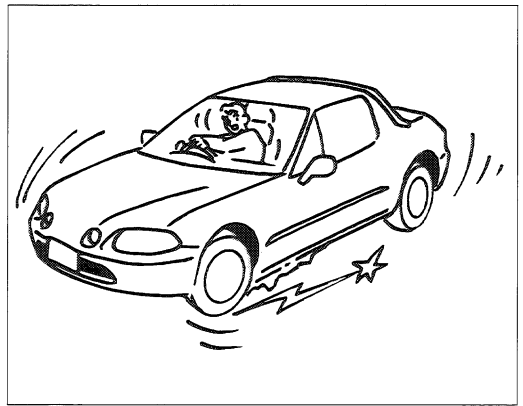
🎓 知識

- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。

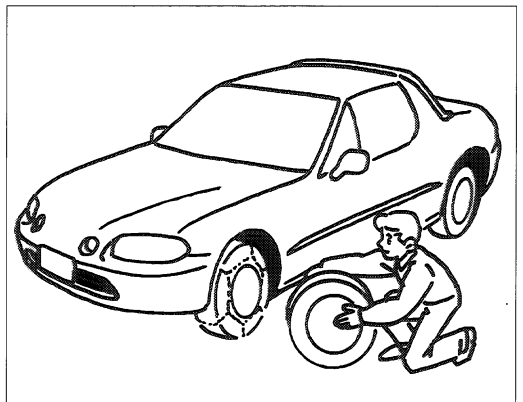
ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪に付けてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



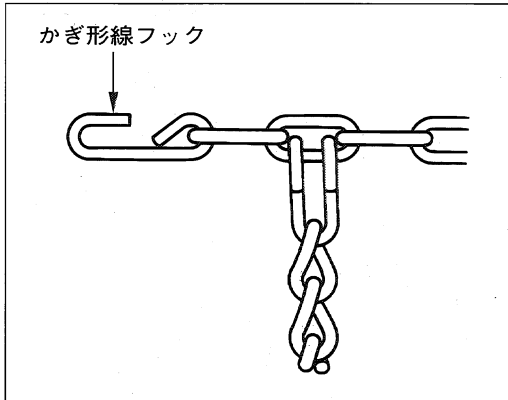
●タイヤチェーンのつけかた

チェーンサイズ

お求めはホンダベルノ店へお申しつけください。

タイヤサイズ	適合チェーンサイズ
175/65R14 82H	スチールチェーン 45181(新JIS)
185/60R14 82H	
195/60R14 85H	スチールチェーン 45191(新JIS)
195/60R14 86H	
195/55R15 83V	
195/55R15 84V	

スチールチェーンは内側のフック形状が、かぎ形線フックのものをお使いください。



🚗 アドバイス

- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なサイズのものをお使いください。サイズの合わないものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

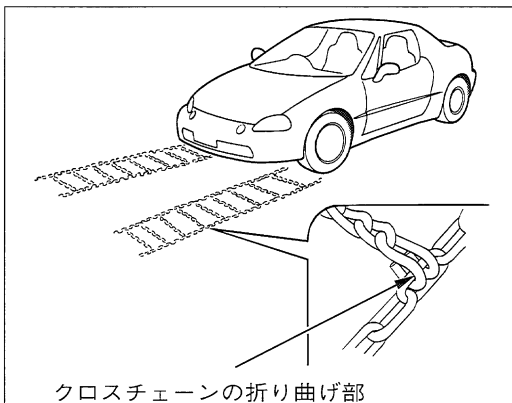
標準的なタイヤチェーンの取り付けかた

前輪駆動車ですので、タイヤチェーンは前輪に装着してください。

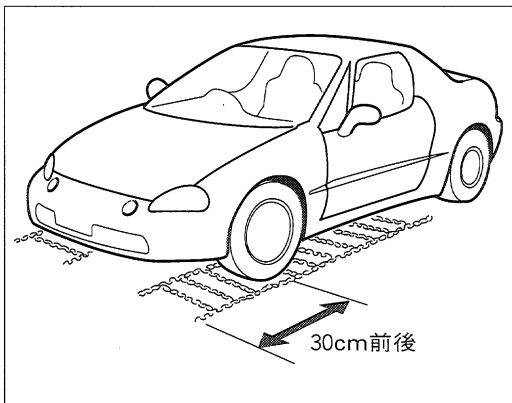
🏠 知識

- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

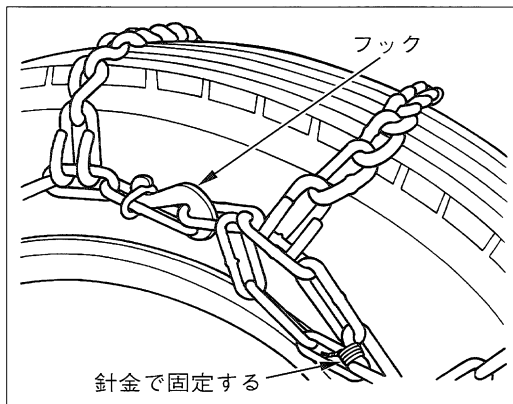
- ①前輪を直進状態にします。
- ②クロスチェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを前輪のすぐ前に敷きます。



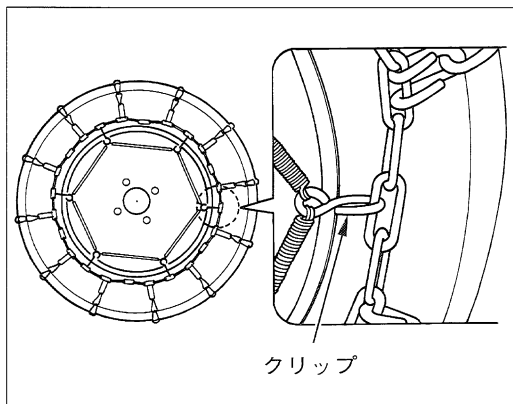
- ③先端のフックから30cm前後の位置まで前輪を移動させます。



- ④チェーンをタイヤにまきつけていっぱい引き、内側のフックを先に連結して次に外側のフックを連結します。
- ⑤連結してチェーンが余った場合は、ボディなどに当たるのを防ぐために針金で固定します。



- ⑥チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンをいっぱいに張ります。



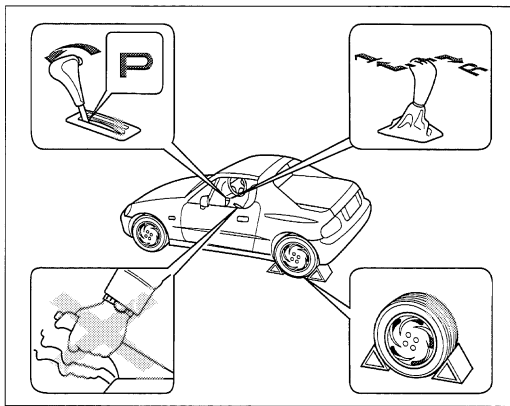
- ⑦試走してチェーンのゆるみ、はずれなどがないかを確認します。

駐車するとき

駐車ブレーキの凍結を防ぐために、駐車ブレーキは使わないでください。

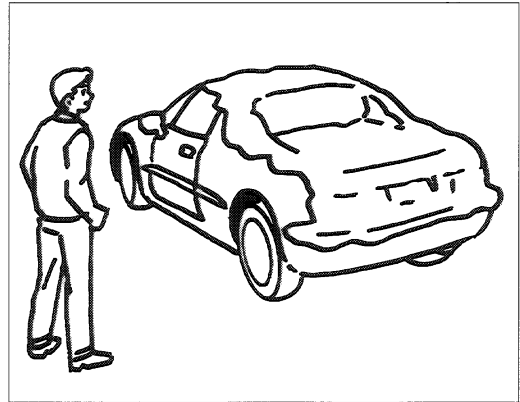
マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車はPに入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて止めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには止めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは起こしてください。
 - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。



- 長期間使わないで屋外におくとき塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠注意

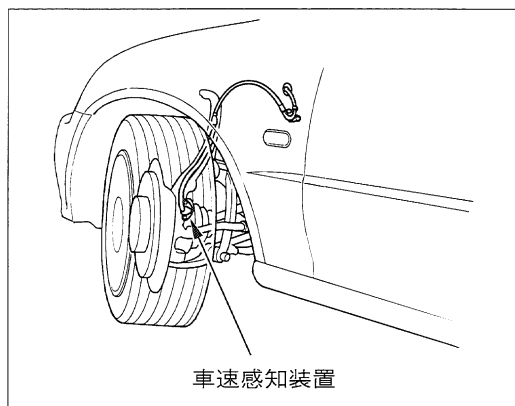
- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、フロントグリル内側に段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- ・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。

ABS装備車は、足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- ・寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。

冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度をあげてください。

知識

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダベルノ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気をつけましょう。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。

●ガラスの曇りをとりたいとき

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターボタンを押して曇りをとります。

●ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

●ワイパーのふきむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界の妨げとなります。また、ウインドーガラスを傷つけることがありますので、早めに交換してください。

夏場の取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷やしすぎに注意しましょう。

知識

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。

●炎天下に駐車するときは

- ・ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。サビの原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、水温計の針が赤いマークに入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき →152ページ


経済走行のために


- unnecessary 急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- マニュアル車のチェンジレバーの操作は、クラッチペダルをいっぱい踏み込んでから確実に行ってください。
 - ・クラッチペダルの足のせ運転、半クラッチの連続使用はしないでください。
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 高速道路でも unnecessary 高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分に取り、 unnecessary 急ブレーキをかけないでください。
- トランクルームには unnecessary 荷物は載せないようにしましょう。

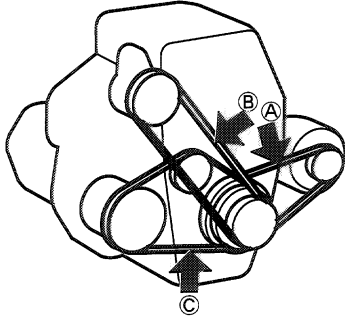
サービスデータ

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
点 火 プ ラ グ ^{※1}	タ イ プ		NGK	NIPPONDENSO
		VXi ^{※2}	ZFR5J-11 ZFR6J-11 ZFR7J-11	KJ16CR-L11 KJ20CR-L11 KJ22CR-L11
	SiR	BKR6E-N11 BKR7E-N11	K20PR-L11 K22PR-L11	
	電 極 の す き 間	1.0-1.1 mm		
電 球 (バ ル ブ)	W (ワ ッ ト) / CP(キャンドルパワー)数 CP: 光度の単位	前照灯(ハロゲンバルブ)..... 12V-65/55W アクセサリーライト..... 12V-45CP(27W) 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯.. 12V-45CP(27W) 車幅灯..... 12V-5W 側面方向指示器/側面非常点滅表示灯.. 12V-5W 後面方向指示器/後面非常点滅表示灯.. 12V-21W 番号灯..... 12V-8W 制動灯/尾灯..... 12V-27/5W 後退灯..... 12V-21W 室内灯..... 12V-5W スポットライト..... 12V-5W トランク照明灯..... 12V-3.4W		

内は標準装備

※1: ISO(国際標準化機構)規格品を使用しています。 のマークがついています。

※2: 突出しタイプのプラグを使用しています。 のマークがついています。

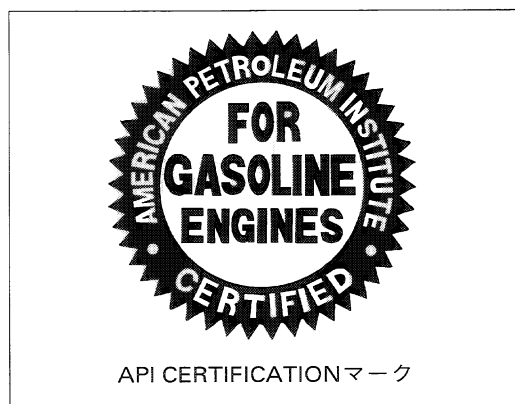
項	目	サービスデータ	
ベルトのたわみ量	 <p data-bbox="864 685 1159 753"> ①: 発電機ベルト ②: パワーステアリングベルト ③: エアコンディショナーベルト </p>		
		発電機ベルト	7.0-10.5 mm (約10kgの力)
		パワーステアリングベルト	8.0-12.0 mm (約10kgの力)
		エアコンディショナーベルト	6.5-10.5 mm (約10kgの力)
ブレーキペダル	遊び	1-5 mm	
	床板とのすき間	107 mm 以上(約20kgの力)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	78 mm 以上(約20kgの力)	
クラッチペダル	遊び	12-21 mm	
	床板とのすき間	83 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	55 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
駐車ブレーキ	引きしろ	6-10回(約20kgの力)	
ウォッシャータンク	容量	2.5 ℓ	
バッテリー	容量	38(5)Ah	

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
エ ン ジ ン オ イ ル	推 奨 オ イ ル	ホンダ純正オイル(4サイクル四輪車用)		
		ウルトラMILD (API SG級 SAE 10W-30) ウルトラGOLD SPECIAL (API SG級 SAE 10W-30) ウルトラGOLD (API SG級 SAE 5W-30)* ウルトラLIMITED SH (API SH級 SAE 10W-30)		
	規 定 量	オイル交換時	VXi	3.0 ℓ
			SiR	3.7 ℓ
	オイル、オイル フィルター同時 交換時	VXi	3.3 ℓ	
		SiR	4.0 ℓ	

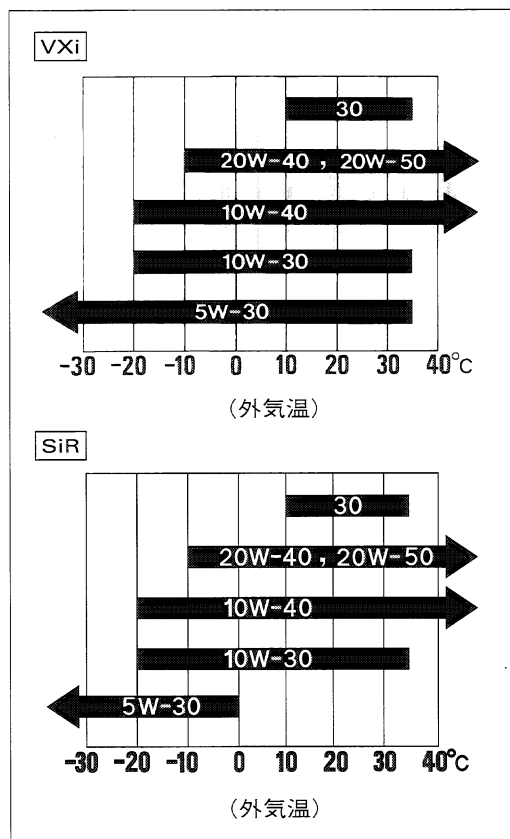
※：ウルトラGOLDは、SiRには使用できません。

推奨エンジンオイル

ホンダ純正エンジンオイルまたはAPI SG級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION (エーピーアイ サーティフィケーション) マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
燃 料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン		
	タ ン ク 容 量	SiRタイプは無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)仕様車です。 45 ℓ		
トランスミッション オ イ ル	指 定 液	マニュアル	ホンダ純正オイルウルトラMTF-II	
	規 定 量	オートマチック	ホンダ純正ウルトラATF	
		マニュアル (交換時)	VXi	1.8 ℓ
	オートマチック (交換時)	SiR	2.3 ℓ	
冷 却 水	指 定 液	ホンダ純正ウルトララジエーター液		
	規 定 濃 度	50%		
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.4ℓ含む)	マニュアル (交換時)	VXi	3.6 ℓ
		オートマチック (交換時)	SiR	3.7 ℓ
		オートマチック (交換時)	VXi	3.5 ℓ
SiR			3.8 ℓ	
ブ レ ー キ 液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4		
ク ラ ッ チ 液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4		
パ ワ ー ス テ ア リ ン グ 液	指 定 液	ホンダ純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II		

サービスデータ

タイプ	タイヤ	標準タイヤ	応急用スペアタイヤ
VXi		175/65R14 82H	T115/70D14
		185/60R14 82H	* T135/70D15
SiR		195/60R14 85H	T125/70D14 * T135/70D15
		195/60R14 86H	
		195/55R15 83V	
		195/55R15 84V	

* : ABS装備車、ビスカスLSD装備車

項目	タイヤサイズ	タイヤ空気圧 (空車時 : kg/cm ²)				※リムサイズ		タイヤの 残溝の深さ	位置交換時期 (タイヤロー テーション)
		前輪		後輪		スチール ホイール	アルミ ホイール		
		一般	高速	一般	高速				
標準タイヤ	175/65R14 82H	2.0	2.0			14×5J	14×5½JJ	1.6 mm 以上	5,000kmごと
	185/60R14 82H	2.0	2.0			14×5J	14×5½JJ		
	195/60R14 85H	2.0	1.9			/	14×5½JJ		
	195/60R14 86H					/			
	195/55R15 83V 195/55R15 84V	2.4	2.3			15×5½JJ	15×5½JJ		
応急用 スペアタイヤ	T115/70D14	4.2				14×4T	/	/	
	T125/70D14					/			
	T135/70D15					15×4T	/		

※ : この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。

ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

名 称	型 式	エンジン型式	排気量 (cm ³)	車体形状	タイプ
CR-X デルソル	E-EG1	D15B	1,493	2 ドアクーペ	VXi
	E-EG2	B16A	1,595		SiR

ア

アクセサリライト
 スイッチ.....84
 電球の交換.....157
 W(ワット)数.....184
 アルミホイール.....170
 アンチロックブレーキシステム
 (ABS)
 警告灯.....108
 装置について.....107
 アンテナ.....128

イ

イグニッション(エンジン)
 キー.....54
 スイッチ.....81

ウ

ウィンドー.....62
 ウォッシャー液
 スイッチ.....85
 タンクの容量.....185
 冬期の手入れ.....180
 運転のしかた.....89

エ

エアコン
 スイッチ.....114・118
 使いかた.....116・124
 SRSエアバッグシステム
 警告灯.....104
 装置について.....102
 エンジンオイル・フィルター
 オイル量.....186
 冬期の手入れ.....180
 エンジンキー(キー).....54
 エンジンスイッチ.....81
 エンジンのかけかた.....88
 エンジンブレーキ.....15・97
 エンジンをかける前に.....87

オ

応急用スペアタイヤ
 格納場所.....136
 空気圧.....188
 サイズ.....188
 スペアタイヤについて.....144
 オーディオ.....126
 オートエアコン.....114
 オートマチック
 トランスミッション
 運転のしかた.....94
 オイル.....141・187
 セレクトレバー.....91
 オーバーヒートしたとき.....152
 オドメーター.....73
 温度感知装置.....117
 温度調節レバー.....114・118

カ

カップホルダー.....134
 換気.....12
 寒冷時の取り扱い.....174

キ

キー.....54
 キーインターロック.....81
 キックダウン.....18

ク

曇り止め.....122
 クラッチ
 ペダル.....185
 クリープ現象.....18
 車にあった部品の使用.....172
 車の積雪について.....174
 グローブボックス.....133

ケ

警告灯
 警告灯が点灯したとき.....150
 警告灯類.....76
 電球切れの点検.....80
 経済走行.....196
 けん引
 けん引されるとき.....141
 故障車をけん引するとき.....142

コ

工具(ツール)	
格納場所	136
種類	137
高速道路で故障したとき	138
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	158
W(ワット)数	184
後部ウィンドー	
開閉	63
開閉表示灯	79・80
故障したとき	138
故障の修理について	139
小物入れ	133
コンソールボックス	133

サ

サービスデータ	184
サンバイザー	132

シ

シート	64
シートベルト	67
警告灯	78
シガレットライター	131
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	130
電球の交換	159
W(ワット)数	184
シフトロック装置	21・91・96
霜取り・曇り止め	
前面/側面ガラス	116・123
ジャッキの取り扱い	143
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	158
W(ワット)数	184
充電警告灯	78
樹脂塗装部品	167
純正部品	172

ス

水温計	72
スイッチの使いかた	81
スノータイヤ	175
スパークプラグ(点火プラグ)	184
スピードメーター	73
スポットライト	
使いかた	130
電球の交換	159
W(ワット)数	184

セ

セーフティインジケーター	79・80
制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	158
W(ワット)数	184
整備	164
積雪・寒冷時の取り扱い	174
セレクトレバー	
操作	91
ポジション表示灯	75
洗車	165
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	83
上向き表示灯	75
追い越し合図(パッシング)	83
スイッチ	82
W(ワット)数	184

ソ

速度計	73
速度範囲	89・93
その他の安全装備	109

タ

タイヤ
位置交換
(ローテーション).....169
応急用スペアタイヤ.....144
空気圧.....188
交換.....145
サイズ.....188
スノータイヤ.....175
チェーン.....177
タコメーター.....73
暖房.....121

チ

チェーン.....177
チェンジレバーの操作.....89
チャイルドシート.....67
駐車
坂道.....23
積雪・寒冷時の取り扱い.....179
駐車ブレーキ
(パーキングブレーキ)
警告灯.....77
積雪・寒冷時の取り扱い.....179
操作.....87
チルトステアリング
(上下調節式ハンドル).....65

テ

点火プラグ.....184
電気系統が異常のとき.....153
電気装置が作動しないとき.....154
電球(バルブ)
交換.....156
W(ワット)数.....184
点検・整備について.....164
電動リモコンドアミラー.....66

ト

ドア
施錠・解錠.....54
積雪・寒冷時の取り扱い.....174
ドアミラー.....66
冬期の手入れ.....180
道路で動けなくなったとき.....139
時計.....129
トラクションコントロール
システム(TCS)
OFF表示灯.....106
警告灯.....107
作動表示灯.....105
スイッチ.....106
装置について.....105
トランク
開閉.....57・59
開閉警告灯.....79・80
トランク照明灯
電球の交換.....159
W(ワット)数.....184
トランストップ
(電動オープンルーフ)
開閉のしかた.....31
各部の名称.....30
作動しないとき.....38
トランスミッション
オイルの容量.....187
トリップメーター.....73

ナ

内外気切り換えボタン.....114・118
内装の手入れ.....171

ネ

燃料(ガソリン)
使用燃料.....61・187
タンク容量.....61・187
燃料計.....73
燃料残量警告灯.....78
補給口.....61

ハ

- パーソナルボックス.....133
- 排気温警告灯.....78
- 灰皿.....132
- ハイドロプレーニング現象...181
- ハイビーム表示灯.....75
- ハイマントストップランプ...109
- 発炎筒
 - 格納場所.....136
 - 発炎筒について.....137
- バックミラー(後写鏡)
 - 使いかた.....66
- バッテリー
 - 充電.....153
 - 冬期の手入れ.....180
 - バッテリーあがり.....153
 - 容量.....185
- 発電機ベルト.....185
- バニティミラー(化粧鏡).....132
- パワーウィンドー.....62
- パワードアロック
 - (オートドアロック).....55
- バンク
 - 積雪・寒冷時の取り扱い...176
 - バンクしたとき.....143
- 番号灯(ライセンスランプ)
 - 電球の交換.....159
 - W(ワット)数.....184

ヒ

- PGM-FI警告灯.....77
- ヒーター・エアコン
 - オート.....114
 - マニュアル.....118
- 非常点滅表示灯(ハザードランプ)
 - スイッチ.....84
 - 電球の交換.....157・158
 - W(ワット)数.....184
- ビスカスリミテッドスリップデフ
 - (ビスカスLSD).....109
- 尾灯
 - 電球の交換.....158
 - W(ワット)数.....184
- ヒューズ.....154
- 表示灯.....74

フ

- ファンスピード
 - 切り換えダイヤル.....114・118
- 吹き出し口
 - 切り換えボタン.....115・119
 - 吹き出し風の調節.....113
- 踏切で動けなくなったとき...138
- フューエルリッド.....61
- プラグ.....184
- ブレーキ
 - 警告灯.....77
 - 積雪・寒冷時の取り扱い...176
 - 倍力装置.....14
 - ペダル.....185

ホ

- ホーンスイッチ.....86
- ホイールサイズ.....188
- ホイールの交換について.....149
- 芳香剤.....171
- 方向指示器
 - スイッチ.....83
 - 電球の交換.....157・158
 - 表示灯.....75
 - W(ワット)数.....184
- ボンネット.....56

マ

マニュアルルーフ
(手動オープンルーフ)
各部の名称……………46
脱着のしかた……………47
万一の時……………135

ミ

ミラー
ドアミラー……………66
ルームミラー……………66

ム

無線装置……………26

メ

メーター(計器類)……………72

ユ

油圧警告灯……………77

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー……………82
ライトスイッチ……………82
ライト類が点灯しないとき……………154

リ

リムサイズ……………188
リモートコントロール
ドアミラー……………66

ル

ルーフ開閉警告灯……………79・80
ルーフの取り扱い
トランストップ……………29
マニュアルルーフ……………45
ルームミラー
(防眩式室内後写鏡)……………66

レ

冷却水(ラジエーター液)
水量……………187
冬期の手入れ……………180
冷房……………116・124
レーザークリーナー……………171

ワ

ワイパー
スイッチ……………85
積雪・寒冷時の取り扱い……………174
ワックスがけ……………167

お問い合わせ、ご相談はお買い求めのバルノ店もしくは全国共通のフリーダイヤル0120-112010イイスレブイオで下記のお客様相談センターがお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター
受付時間 9:00~17:00(12:00~13:00昼休み)
〒107 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

